

令和 6 年度
就労困難者訓練支援モデル事業
報告書

令和 7 年3月

福岡県就労支援協同組合



事例集①

事例 1

地 区	筑豊地区	支援機関名	ジョブサポートみろく
性 別	男	年 齢	30代
紹介機関等	田川地区障がい基幹相談支援センター		
支援開始年月日	2023年1月16日～2024年4月30日 就職		
就労困難要因	ひきこもり		
学 歴	短大・高専・専門学校卒		
就労経験	その他一般就労の経験あり（パート・アルバイトなど）		
無業期間（年）	5年	通算勤務年数（年）	3年
具体的な職歴 就労経験（備考）	鉄道作業員		

困っていたこと	対人関係、緊張、疲れやすさ、睡眠がとれない
課 題	・継続就労に向けた通所日数の増加 ・コンディション調整（睡眠の安定、生活リズム改善） ・自身の状態を正しく認識する（気力や体力が持たず疲れる等）
支援内容・詳細	・新しい環境に慣れるため、自身の思いを確認しながらすすめる ・相談がしやすいよう適宜声かけや状況に応じて面談を行う ・関係機関との連携をはかる
事業所での活動に期待していること	・働く勘を取り戻したい
支援状況 1カ月目 (2023年1月31日)	状況 ・週2日 9：30～15：30 ・健康状態：体力は問題ないが睡眠は不安定／毎晩飲酒をしている 本人の発言 ・体調を見極めながら施設外の作業もしていこうかと思っている 支援員の発言 ・本人は施設内作業をしっかりと行ってから施設外訓練を考えたいと話されている ・休憩時間は作業場所に座り、うまく休憩が取れていない ・食事もありとれていない様子
支援状況 2カ月目 (2023年2月28日)	状況 ・週2日 変わりなし ・訓練内容：（施設内訓練）部品の組立・封入 （施設外訓練）美化活動 ・健康状態：変わりなし 本人の発言 ・目が乱視で手にしびれがあるので、細かい作業は苦手。封入やシール貼りは楽しい。施設外訓練の美化活動は、適度な疲労で丁度良い ・（施設外作業や企業体験等で外に出ることについて）通所自体が外に出ることなので、行き場所が変わるだけだから問題ない 支援員の発言 ・よく話すようになり、施設外訓練にも意欲的 ・工賃がもらえる訓練をしたいと思っているようだが、こちらから提案するのではなく、本人の言葉を待つようにしている

支援状況 3カ月目 (2023年3月24日)	状況 ・週2日 変わりなし ・訓練内容：施設内と施設外訓練を1日ずつ（美化活動や企業体験） ・健康状態：変わりなし 本人の発言 ・目や手が悪いから机で行う作業全般が苦手。他の人の素早い作業を見ると焦る ・施設外の企業体験を増やしたい 支援員からの発言 ・ミスに対して、慣れてきたから起こったことだと前向きに捉えることができる ・通所日数を増やしていきたいが、無理にはできないので様子を見ている
支援状況 4カ月目 (2023年4月27日)	状況 ・週2日 変わりなし ・訓練内容：施設外訓練が増えている 施設提携先の工場で作業 ・健康状態：変わりなし 本人の発言 ・訓練日数増加は、家の事情や体調不良もあり、できない ・今後の目標は施設外訓練を増やす 支援員の発言 ・訓練日は休むことなく、その日の訓練内容に合わせた段取りをして取り組むことができる ・会話量が増えた
支援状況 5カ月目 (2023年5月30日)	状況 ・週2日 変わりなし ・訓練内容：施設外の作業 ・健康状態：精神症状がでている 本人の発言 ・訓練に慣れていないので、病院受診や投薬を行う事に抵抗がある ・訓練前日は意識して寝るようにしている 支援員の発言 ・家の作業で通所ができなくなると言っていたが通所はできている ・ご本人からの相談ごとはない
支援状況 7カ月目 (2023年7月28日)	状況 ・週2日 変わりなし ・訓練内容：施設外訓練 工場作業が多い ・健康状態：変わりなし 本人の発言 ・工場での作業が向いているかもしれない ・体調が不安定なことが不安。訓練日に合わせて他の日は何もしないようにしている 支援員の発言 ・通所は休むことなく安定していて仕事内容も安定
支援状況 8カ月目 (2023年8月29日)	状況 ・週2日 変わりなし ・訓練内容：施設外訓練（工場作業）ペンキ塗りと板の釘打ち ・健康状態：変わりなし 本人の発言 ・（訓練は）腕や手のリハビリと思って作業していて、どれだけ不安感を解消できるかで就職も変わってくると思ってる

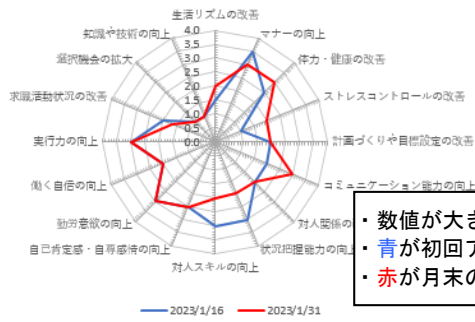
支援状況 10ヵ月目 (2023年11月7日)	状況 ・週3日 ・訓練内容：変わりなし ・健康状態：精神症状は不明だがタバコや酒量が増えている様子 本人の発言 ・この冬の手のこわばり、可動域がどれくらいで仕事を見つけていきたいと思っている 支援員の発言 ・農繁期にライスセンター（収穫施設）で毎日手伝ったことで自信がつき、通所日数が1日増えた
支援状況 11ヵ月目 (2023年12月18日)	状況 ・日数：週3日～4日 ・訓練内容：変わりなし ・健康状態：睡眠の質は悪いようだが精神症状は不明 本人の発言 ・手のしびれの原因は心因性だと思う ・（1年を振り返り）体調をみながらの1年だった ・（自信がついた？）どうですかね、と笑顔で話す 支援員の発言 ・利用日数が増えてからも休むことなく通所できている ・夏の通所と家の仕事をやり遂げた事で体力に自信が持てた様子 ・冗談もよく言い、明るくなった。この冬を超えれば変わると思う
支援状況 13ヵ月目 (2024年2月1日)	状況 ・日数：週3～4日 ・訓練内容：変わりなし ・健康状態：変わりなし 本人の発言 ・とりあえず情報収集のためにハローワークに行こうと思っている ・（ストレスサインについて）無駄に手の込んだ料理をしている。落ち込まないように何かしている方がいい 支援員の発言 ・自分からではないが、利用者から話かけられると話をしている ・本人を理解してくれる企業に就職をと考えている
終了面談 15ヵ月目 (2024年5月15日)	【就職】 ・5月1日から米穀販売事業の企業にて就労 ・パート職 週4日7時間勤務 本人の発言 （就職をここに決めた理由） ・ライスセンター（収穫施設）での経験があったから （WDを利用したの感想・意識していたこと） ・訓練で時間管理が出来て、実際に働く（練習する）ことが出来てワンクッションおけた ・規則的な睡眠を心がけた 支援員の発言 ・条件の交渉をして見学を提案する辺りから背中を押した

K P S ツールを活用した利用者自己評価結果 (GN-25)

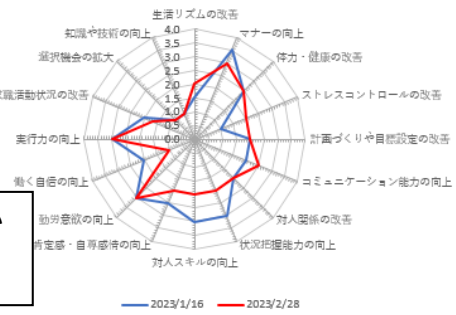
2023年1月末

2023年2月末

1回目と2回目の比較



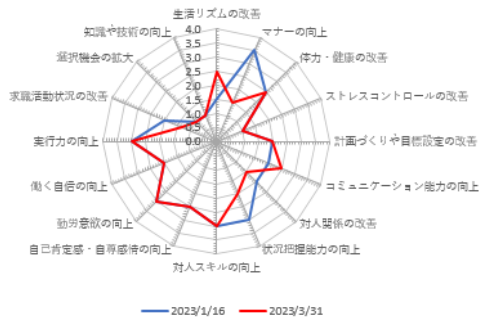
1回目と3回目の比較



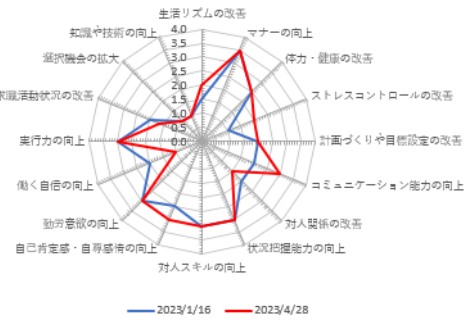
2023年3月末

2023年4月末

1回目と4回目の比較



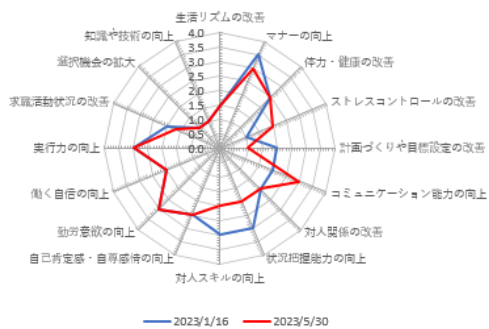
1回目と5回目の比較



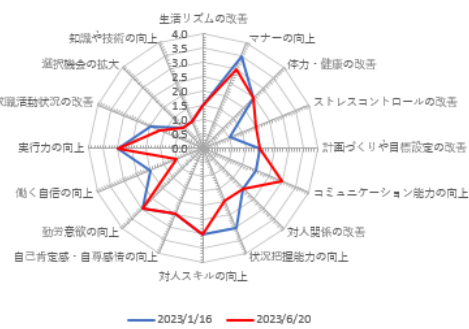
2023年5月末

2023年6月末

1回目と6回目の比較



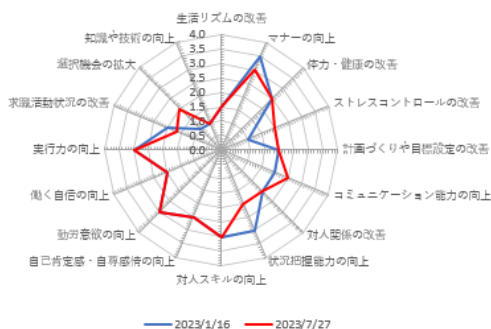
1回目と7回目の比較



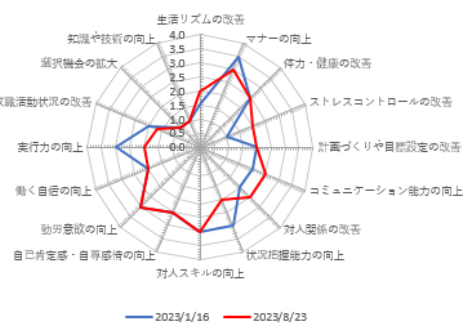
2023年7月末

2023年8月末

1回目と8回目の比較



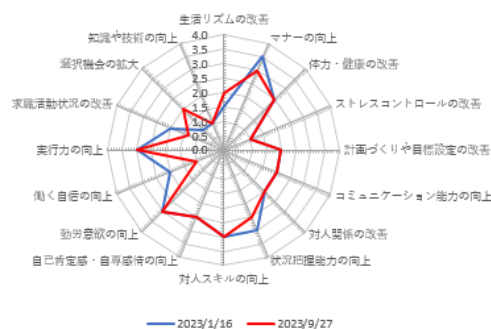
1回目と9回目の比較



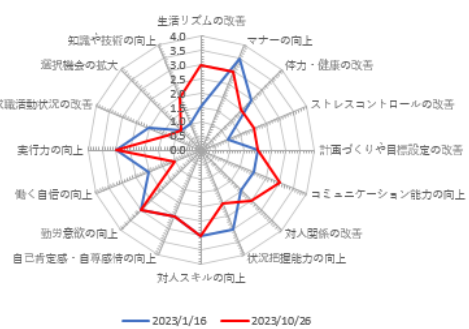
2023年9月末

2023年10月末

1回目と10回目の比較



1回目と11回目の比較

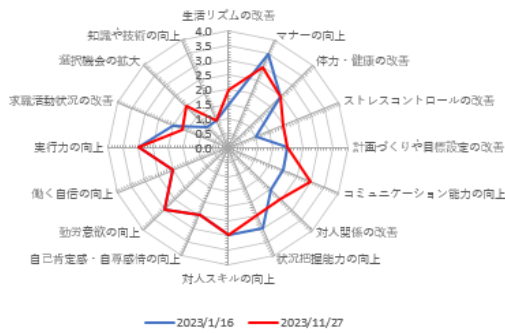


K P S ツールを活用した利用者自己評価結果（GN-25）

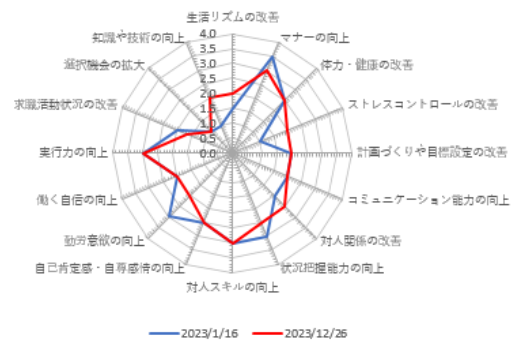
2023年11月末

2023年12月末

1回目と12回目の比較



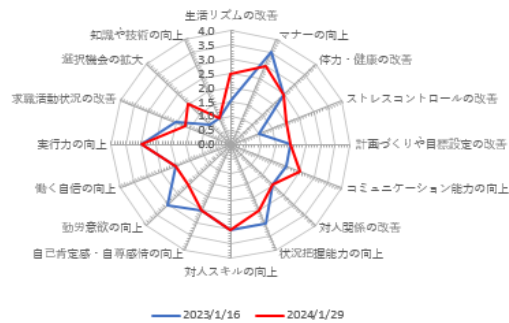
1回目と2回目の比較



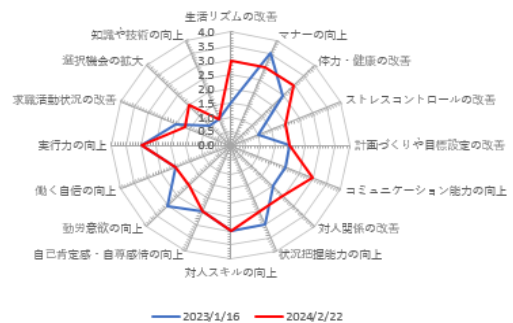
2024年1月末

2024年2月末

1回目と3回目の比較



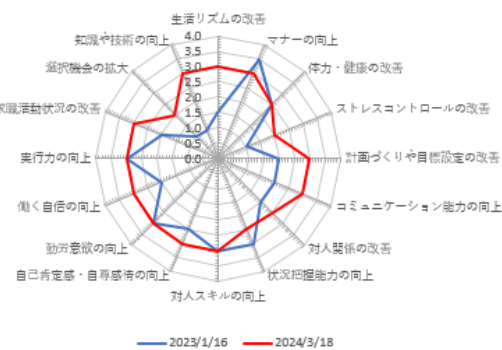
1回目と4回目の比較



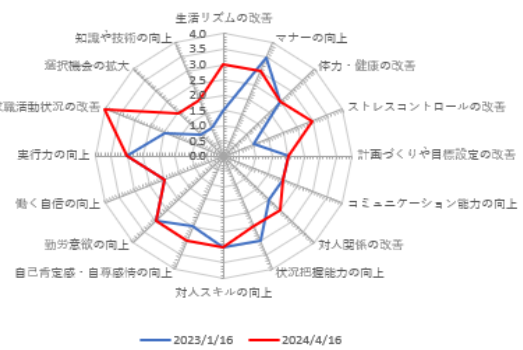
2024年3月末

2024年4月末

1回目と5回目の比較



1回目と6回目の比較

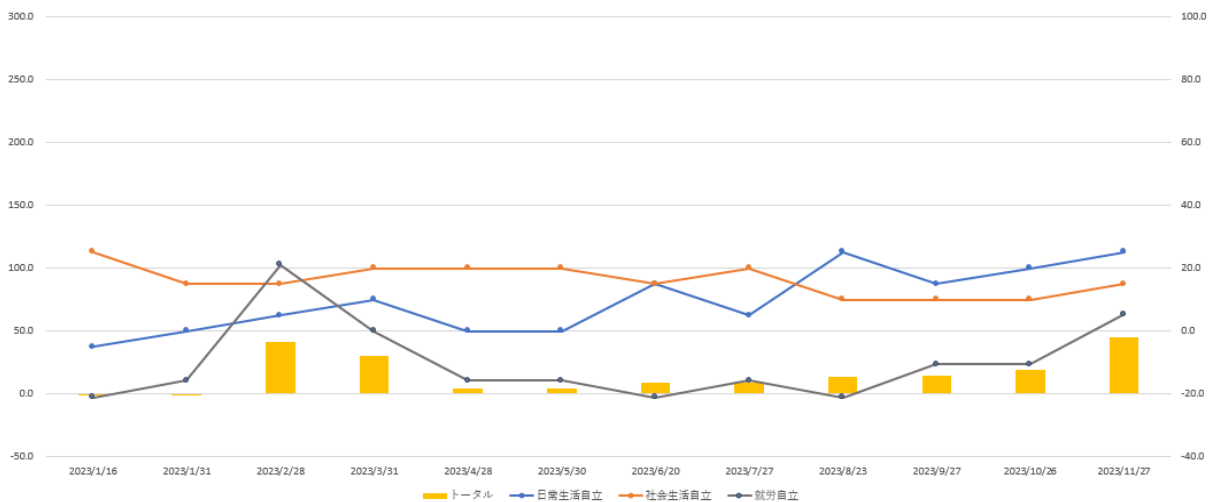


KPSツールを活用した利用者自己評価結果（TS-59）

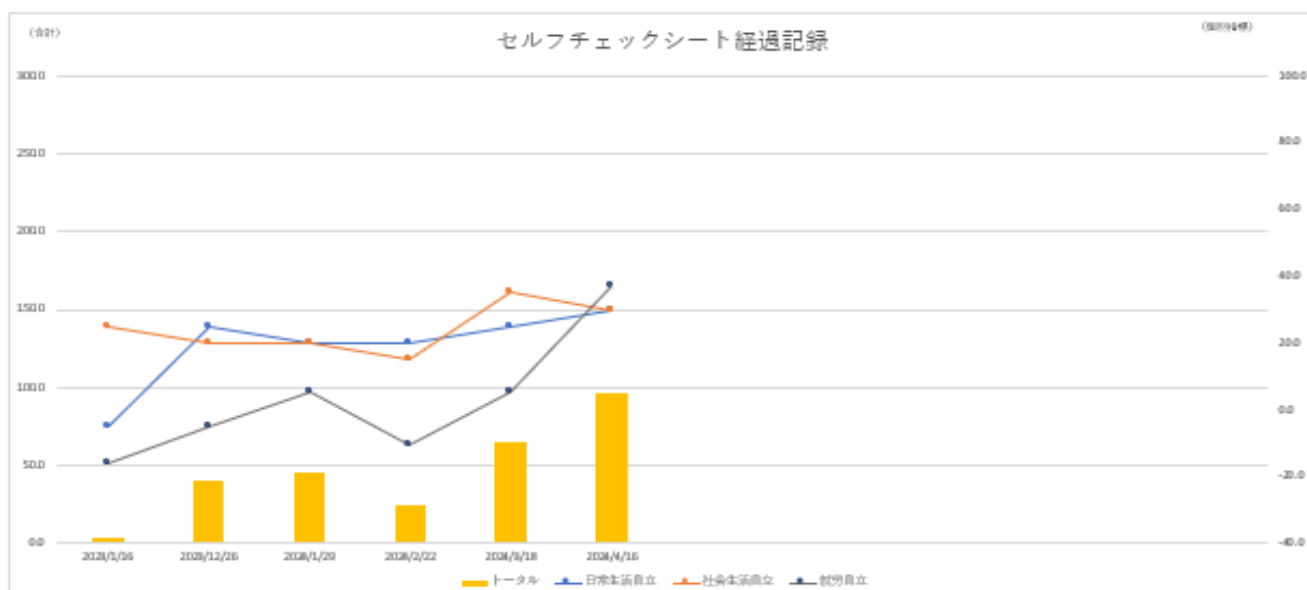
(合計)

セルフチェックシート経過記録

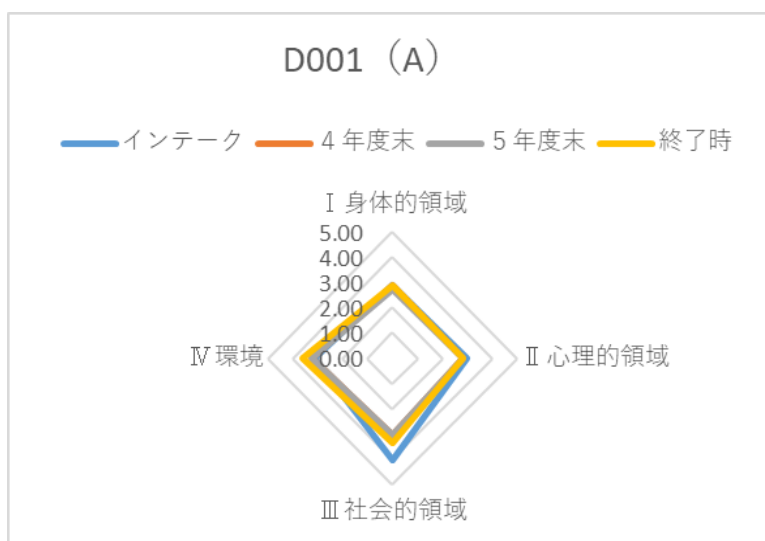
(対割合率)



KPSツールを活用した利用者自己評価結果（TS-59）



QOLを活用した生活水準の推移



事業アドバイザーのコメント

<R4年度>

プログラムに参加したことにより、これまでよりも対人関係が広がったことが想定される。これまででは限られた人間関係の中での満足感を評価していたが、対人関係の広がりが影響を及ぼし、社会的関係領域の得点が低下したと考えられる。

<R5年度>

全体として前年度からの結果を概ね維持しているが、心理的領域に低下が見られる。不安・緊張による影響があると思われ、手の痺れなども身体化によるものだと考えられる。睡眠状況を確認しつつ、負荷が過剰にならないように配慮する必要がある。

<R6年度>

支援状況より、前年度までの段階的な活動量の増加が見られる。本人自身が生活習慣に配慮している様子も窺える。QOLの身体領域と環境領域における変化は、活動の増加や睡眠の安定、と一致する。

事例 3

地 区	北九州地区	支援機関名	インクル春ヶ丘
性 別	女	年 齢	30代
紹介機関等	北九州障害者しごとサポートセンター		
支援開始年月日	2023年1月4日～2023年8月28日 障害福祉サービス（就労継続支援B型）へ移行		
就労困難要因	その他の困難要因		
学 歴	高校卒		
就労経験	正社員経験あり		
無業期間(年)	0年	通算勤務年数(年)	11年
具体的な職歴 就労経験(備考)	デイサービス、介護施設、病院、工場、ガス器具の製造		

困っていたこと	対人関係がうまくいかない、自信がない、周囲の人が気になる、コミュニケーションに不安がある、自分に合う仕事が見つからない
課 題	・自分の気持ちや考えを伝えること ・焦って無理をしやすい ・継続就労に向けた通所日数の増加 ・他人の言葉に傷つきやすくなっている
支援内容・詳細	・OA・事務・実務など様々な訓練を行い、できることを確認 ・週課を決めて訓練を提供 ・毎週の面談、作業時に適宜声掛けを行う ・毎月、作業習得状況、日々の変化の振り返り面談を行う ・面談の結果を踏まえて、適職を一緒に考える
事業所での活動に期待していること	・自信をつけたい ・対人スキルを身につけたい
支援状況 1カ月目 (2023年1月30日)	状況 ・週2～3日 午前中 ・訓練内容：ワークサンプル幕張版 ・健康状態：訓練開始2週間後、身体症状が出現し医療機関受診 本人の発言 ・慣れるまでの不安や緊張から体がこわばってると言われて薬を飲んで楽になったが、副作用で眠気がある ・ミスしたところをミスしないように集中すると他のところでミスが出てしまう ・自分の気持ちを伝えるのが苦手 支援員の発言 ・日を重ねるごとに作業能力も上がっているが、ミスの指摘には理由を聞けないでいる

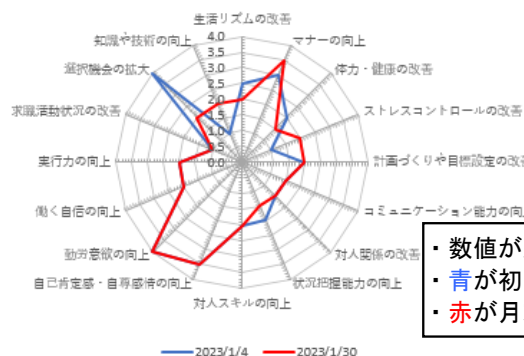
支援状況 2カ月目 (2023年2月27日)	状況 ・週3日 午前中 ・訓練内容：変わりなし ・健康状態：身体症状は軽くなっている 本人の発言 ・軽度精神遅滞の診断で手帳の話があったが、気持ち的に受け止められていない。びっくりしたのと原因が分かって安心した ・他の利用者とまだ話をする事が出来ない 支援員の発言 ・利用者と話せるきっかけを作ったが話されなかった ・診断名がついて今後手帳取得になるかと思うが、本人は障害受容に戸惑っており、まだそこまで考えられない様子
支援状況 3カ月目 (2023年3月31日)	状況 ・週3日 変わりなし ・訓練内容：変わりなし ・健康状態：体調安定してきている 本人の発言 ・（手帳取得）最初は抵抗があったが、先生からこれから先のことを考えると持っていた方がいいと言われて考えるようになった ・相変わらず人付き合いが苦手。自分からは話かけれない ・介護福祉士の資格を取りたいと思っている。人間関係は怖い、離れて今思うと楽しかったなと思う 支援員の発言 ・自分から話しかける事は他の方と比べて倍くらい緊張している ・訓練後や訓練がない日に資格取得の自主学習は対応可能
支援状況 4カ月目 (2023年4月24日)	状況 ・週3日 変わりなし ・訓練内容：請求事務 介護の資格取得の勉強開始 ・健康状態：復調している 本人の発言 ・（手帳取得について）まだ完全には受け止めれてはない ・（事務作業）手先を動かすのが好きだから良い 支援員の発言 ・手帳取得後の障害福祉サービス利用の意向はある
支援状況 7カ月目 (2023年7月25日)	状況 ・週1日 午前中2時間 ・訓練内容：介護の資格取得の自己学習 ・健康状態：パニック症状が落ち着いてきたが体調優れず 本人の発言 ・薬が増えて意欲や集中力が低下していて、介護の勉強も進んでいない ・徐々に通常の訓練に戻したい
終了面談 8カ月目 (2023年8月28日)	状況 ・療育手帳取得により、障害福祉サービスへ移行。自宅近くの就労継続支援B型事業所を利用予定 本人の発言 ・母が家から近いB型事業所の情報を見つけて見学に行った。クッキーやお菓子作り、お弁当もやってみたいで雰囲気良かった。出かける幅を広げたいと思ったし、作りながら人と関わっていけたらと思って利用することを決めた ・障害のことは今も納得はできていない

K P S ツールを活用した利用者自己評価結果（GN-25）

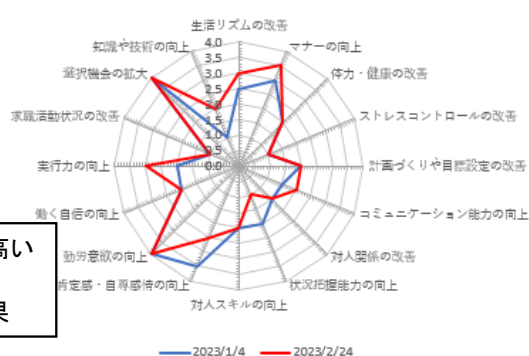
2023年1月末

2023年2月末

1回目と2回目の比較



1回目と3回目の比較

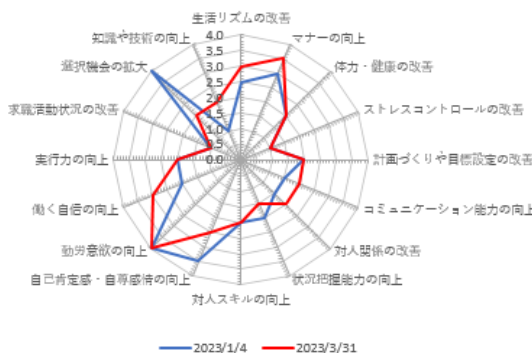


- ・数値が大きいほど評価が高い
- ・青が初回アンケート結果
- ・赤が月末のアンケート結果

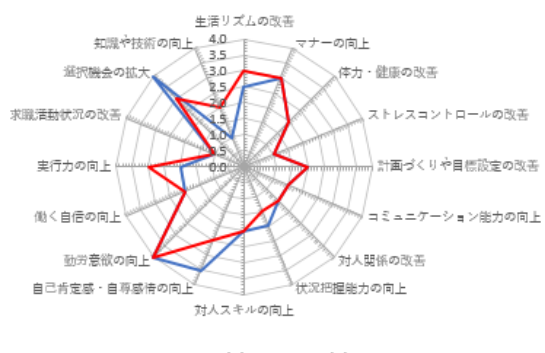
2023年3月末

2023年4月末

1回目と4回目の比較



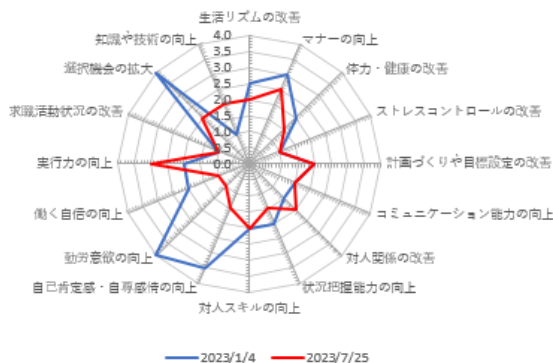
1回目と5回目の比較



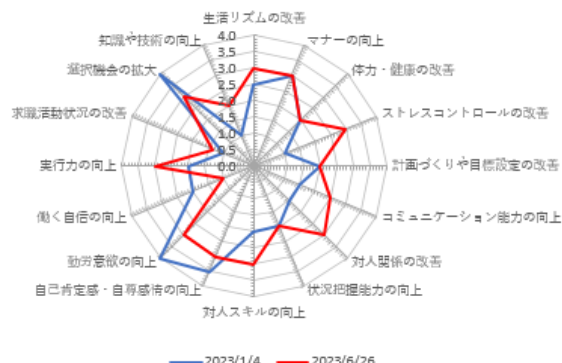
2023年5月末

2023年6月末

1回目と8回目の比較



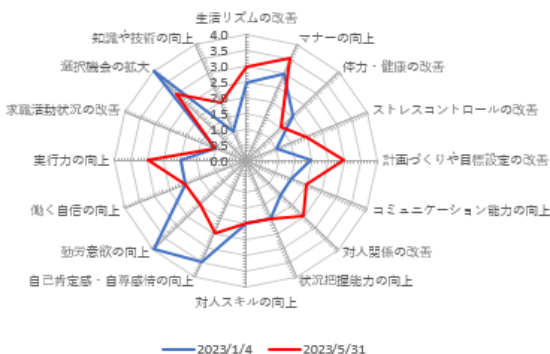
1回目と7回目の比較



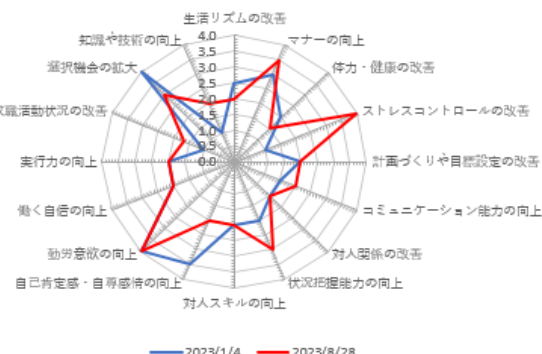
2023年7月末

2023年8月末

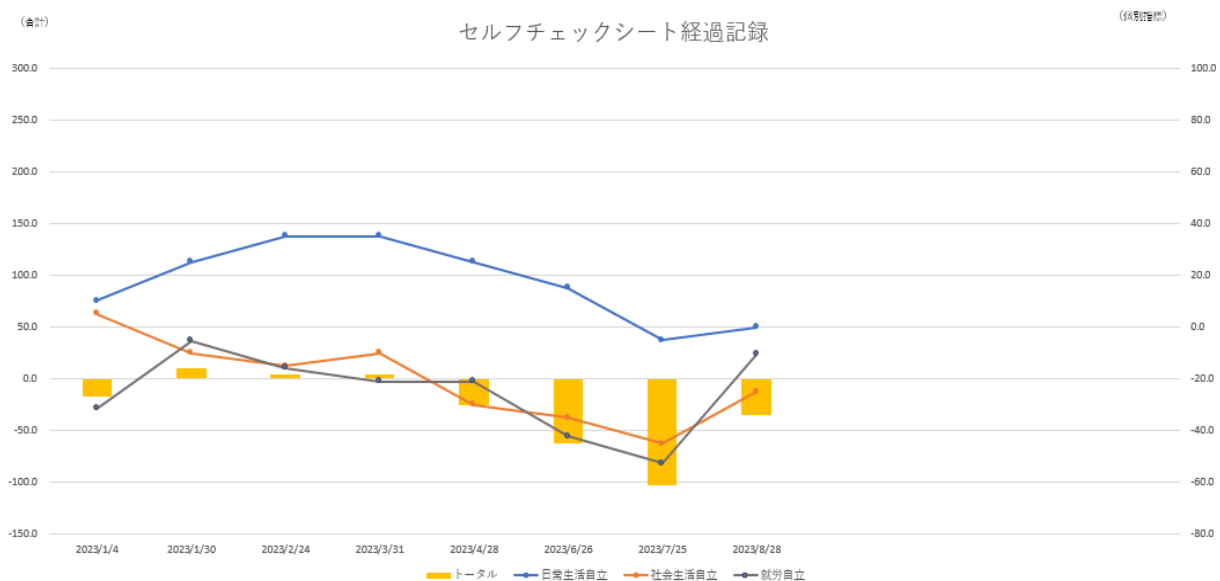
1回目と6回目の比較



1回目と9回目の比較



K P S ツールを活用した利用者自己評価結果 (TS-59)



Q O L を活用した生活水準の推移



事業アドバイザーのコメント

<R4年度>

全体としてQOLが向上していることが窺える。心理的領域が高まっていることから、支援者からの関わりにより、自信を深めることができていると考えられる。

<R5年度>

※QOLデータなし

事例 4

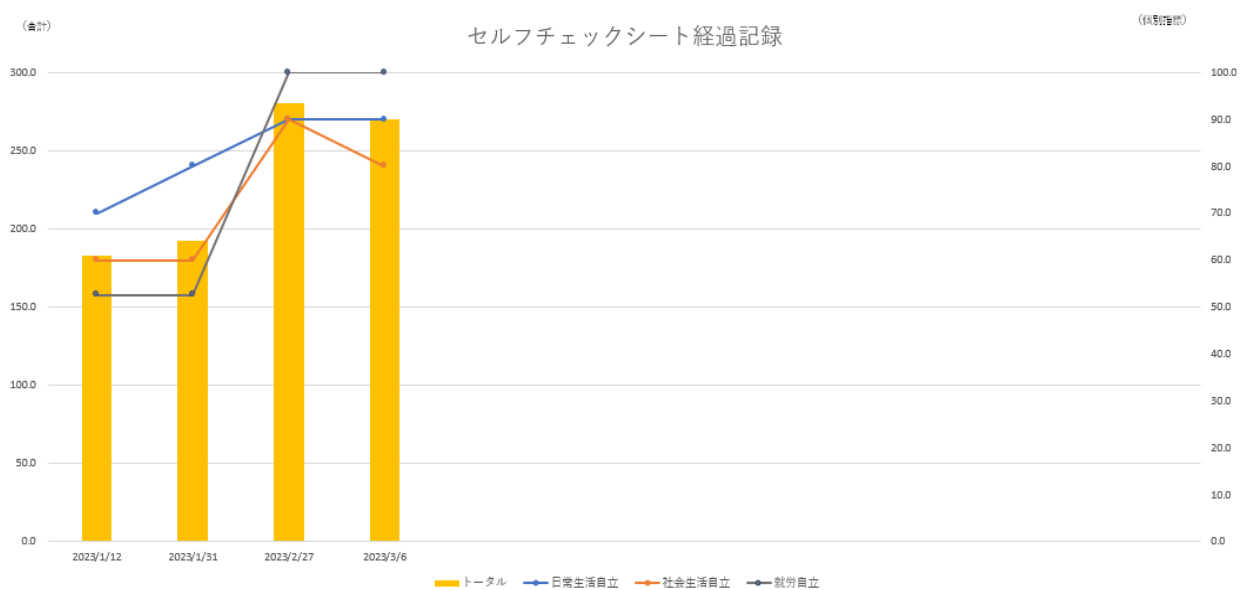
地 区	福岡地区	支援機関名	キャリアサポート福岡
性 別	女	年 齢	30代
紹介機関等	子育て支援事業系		
支援開始年月日	2023年1月12日～2023年3月6日 就職		
就労困難要因	その他の困難要因		
学 歴	短大・高専・専門学校中退		
就労経験	正社員経験あり		
無業期間(年)	10年	通算勤務年数(年)	9年
具体的な職歴 就労経験(備考)	バイト：5年（ファストフード） 派遣：2年（ガス会社） 派遣：2年（印刷会社）		

困っていたこと	仕事のブランク 人混み（大人数の声）が苦手 気分障害の経験による再就職への不安
課 題	・意思表示があまりなく、考えや希望が分かりにくい ・訓練時間帯に福岡市内まで通所すること
支援内容・詳細	・利用日数を決め、通所リズムを整える ・作業訓練を通して、現在の能力を確認 ・就職に向けた希望条件の整理 ・定期的に面談を行い、不安や悩みの聞き取りを行う
事業所での活動に期待していること	・自信をつけたい ・対人スキルを身につけたい ・働く勘を取り戻したい ・職場実習をしたい ・P C系（E x c e l ・ W o r d）の訓練を希望
支援状況 1カ月目 (2023年1月31日)	状況 ・週1～2日 10時～12時半 ・訓練状況：P C学習 Excel ※通所時間の人混みが辛い、P C学習がイメージと違った等の理由から、通所2日目で退所希望の連絡が入る ⇒面談を行い、混雑する時間を避ける、Excelの自主学習中心に訓練を行う事で通所継続 本人の発言 ・午前中だけにしたことにより、14時の子どものお迎えに間に合うようになった ・図書館でテキストを借り、Excelを自己学習をしている 支援員の発言 ・何度も意思の確認を行い問題ないとの事だったが、急に退所の申し出があり驚いた

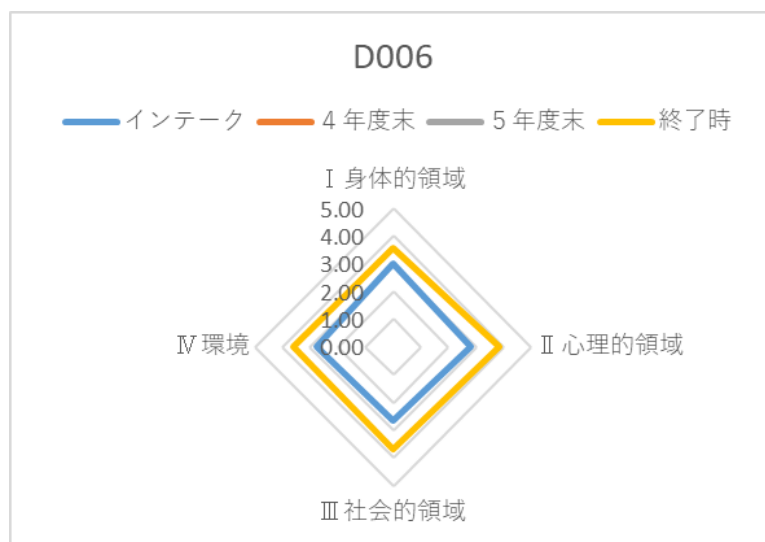
支援状況 2カ月目 (2023年2月27日)	状況 ・週1～2日 変わりなし ・訓練内容：P C学習 Excel, Word 、面接練習 ・健康状態：問題なし 本人の発言 ・Excel Word 1冊全部終わり、サンプルのフォーマットをアレンジしたり、自分なりに勉強している ・（事業所まで）父に送ってもらっている 支援員の発言 ・面談中に目を合わせて話せるようになり、笑顔が増えた
終了面談 3カ月目 (2023年3月6日)	【就職】 ・3月20日から給食センター（調理補助業務）にて就労 ・パート 週5日 8:00～15:00 本人の発言 ・2年頑張って調理師免許をとりたい。食生活アドバイザーや野菜ソムリエの資格など生活や家事に活かせる資格をとって独立したいと思う ・自宅から遠かったので、朝は時間に追われたが、仕事を始めた時の良い練習になった ・時間が決まっていることでメリハリがあってよかった ・他の人たちが頑張っているのを見て、自分も頑張らないと思えた

K P S ツールを活用した利用者自己評価結果（GN-25）	
2023年1月末 1回目と2回目の比較 2023/1/12 2023/1/31	2023年2月末 1回目と3回目の比較 2023/1/12 2023/2/27
2023年3月末 1回目と4回目の比較 2023/1/12 2023/3/6	・数値が大きいほど評価が高い ・青が初回アンケート結果 ・赤が月末のアンケート結果

KPSツールを活用した利用者自己評価結果（TS-59）



QOLを活用した生活水準の推移



事業アドバイザーのコメント

<R4年度>

全体としてQOLが向上していることが窺える。心理、社会的関係、環境での高まりから、プログラムへの参加が就職に向けての自信を深めるきっかけになったと考えられる。

事例5

地 区	筑後地区	支援機関名	たんぽぽ
性 別	女	年 齢	10代
紹介機関等	筑後若者サポートステーション		
支援開始年月日	2023/1/4 ～ 2024/7/31 障害福祉サービスへ移行		
就労困難要因	ニート・フリーター その他の困難要因		
学 歴	高校卒		
就労経験	就労経験なし		
無業期間(年)	0年	通算勤務年数(年)	0年
具体的な職歴 就労経験(備考)	なし		

困っていたこと	・働きたいが受け入れてくれるところがない ・喋ることができない
課 題	・場面緘黙のためニーズが把握しにくい ・仕事を行う上で必要な報告・連絡・相談を適切に行う
支援内容・詳細	・決められた場所・時間での挨拶をルール化 ・訓練時の報連相タイミングを明確にして報連相を促す ・様々な作業を行い、利用者に合う職種を見つける ・振返りを行い出来ることを確認
事業所での活動に期待していること	いつまでに働きたいという明確な目標はないが、いろいろと体験して決めたい
支援状況 1カ月目 (2023年1月26日)	状況 ・週5日 9時～16時 遅刻無し ・訓練内容：部品の配線コード取り付け 医療用カットメンにジェルをぬる作業 ・慣れた特定の職員に限るが、返事や終礼時に「お疲れさまでした」と言葉を発する 本人との対話 ・「仕事は楽しいか？」の質問に頷く ・「睡眠・健康状態に変化はないか？」との質問に頷く 支援員の発言 ・集中力が高く丁寧で作業能力も高い ・就労に対する意思が強いことが感じらる ・場面緘黙の状態が長いため、就労に有利になるのであれば手帳取得の支援も検討
支援状況 2カ月目 (2023年2月22日)	状況 ・週5日 変わりなし ・スタッフに一声かけて動けるようになってきた ・健康状態：変わりなし 本人との筆談 ・頑張っていることは「報告をすること」と記載 ・発言はないが頷きなどの意思表示にバリエーションが感じられた 支援員の発言 ・作業能力が非常に高い ・今は施設内でしっかりやってもらって、それから施設外にと考えている

支援状況 8カ月目 (2023年8月28日)	状況 ・週5日 変わりなし ・訓練内容：変わりなし 本人の発言 ・なし ・筆記と意思表示確認の併用で面談 ・訓練や実習した作業の中で、就きたいと思う仕事はあるか？「図書館のしごと」と記載 支援員の発言 ・訓練も報告も頑張っている。最近は職員の名前を呼んでもらうようにしている
支援状況 9カ月目 (2023年9月28日)	状況 ・週5日 変わりなし ・訓練内容：変わりなし 本人の発言 ・なし ・筆記と意思表示確認の併用で面談 ・伝えておきたいところに「障害者手帳を取得するか」と記載
支援状況 11カ月目 (2023年11月22日)	状況 ・週5日 変わりなし ・訓練内容：A型事業所に2週間実習（パン製造） ・健康状態：変わりなし 本人の発言 ・実習の様子を見学。面談なし 支援員の発言 ・一般就労は難しいと本人も思い始めている ・実習後、働きやすさの違いや意向を確認して進めていく
支援状況 12カ月目 (2023年12月27日)	状況 ・週5日 変わりなし ・訓練内容：変わりなし ・健康状態：変わりなし 本人の発言 ・なし ・筆記と意思表示確認の併用で面談 ・パン製造の実習で頑張ったこと「挨拶を頑張った」と記載 ・実習は目標通りにいったか？の間に「いかなかった」に反応があった ・手帳取得についての間には「まだ悩んでいる」に反応があった
支援状況 15カ月目 (2024年3月27日)	状況 ・週日・訓練内容：変わりなし ・健康状態：変わりなし 本人の発言 ・なし ・筆記と意思表示確認の併用で面談 ・心がけて頑張っていること「分からないことは確認した」と記載 ・1年訓練をして働きたいという気持ちが強くなったか？の間に「前と変わらない」に反応があった 支援員の発言 ・ご両親と面談し、本人が場面緘黙を治したいと思っていて病院受診を希望しているとの事。今後医療機関につなげる支援を行う予定

支援状況 8カ月目 (2023年8月28日)	状況 ・週5日 変わりなし ・訓練内容：変わりなし 本人の発言 ・なし ・筆記と意思表示確認の併用で面談 ・訓練や実習した作業の中で、就きたいと思う仕事はあるか？「図書館のしごと」と記載 支援員の発言 ・訓練も報告も頑張っている。最近は職員の名前を呼んでもらうようにしている
支援状況 9カ月目 (2023年9月28日)	状況 ・週5日 変わりなし ・訓練内容：変わりなし 本人の発言 ・なし ・筆記と意思表示確認の併用で面談 ・伝えておきたいところに「障害者手帳を取得するか」と記載
支援状況 11カ月目 (2023年11月22日)	状況 ・週5日 変わりなし ・訓練内容：A型事業所に2週間実習（パン製造） ・健康状態：変わりなし 本人の発言 ・実習の様子を見学。面談なし 支援員の発言 ・一般就労は難しいと本人も思い始めている ・実習後、働きやすさの違いや意向を確認して進めていく
支援状況 12カ月目 (2023年12月27日)	状況 ・週5日 変わりなし ・訓練内容：変わりなし ・健康状態：変わりなし 本人の発言 ・なし ・筆記と意思表示確認の併用で面談 ・パン製造の実習で頑張ったこと「挨拶を頑張った」と記載 ・実習は目標通りにいったか？の問に「いかなかった」に反応があった ・手帳取得についての問には「まだ悩んでいる」に反応があった
支援状況 15カ月目 (2024年3月27日)	状況 ・週日・訓練内容：変わりなし ・健康状態：変わりなし 本人の発言 ・なし ・筆記と意思表示確認の併用で面談 ・心がけて頑張っていること「分からないことは確認した」と記載 ・1年訓練をして働きたいという気持ちが強くなったか？の問に「前と変わらない」に反応があった 支援員の発言 ・ご両親と面談し、本人が場面緘黙を治したいと思っていて病院受診を希望しているとの事。今後医療機関につなげる支援を行う予定

支援状況
17カ月目
(2024年5月15日)

状況

- ・日数・訓練内容：変わりなし
- ・健康状態：変わりなし

本人の発言

- ・なし
- ・筆記と意思表示確認の併用で面談
- ・訓練で身についたこと「報告をすることができるようになった」と記載

支援員の発言

- ・4月病院受診済み。今後診断名がおりれば、受給者証を取得し福祉サービスへ移行する予定

終了面談
19カ月目
(2024年7月29日)

状況

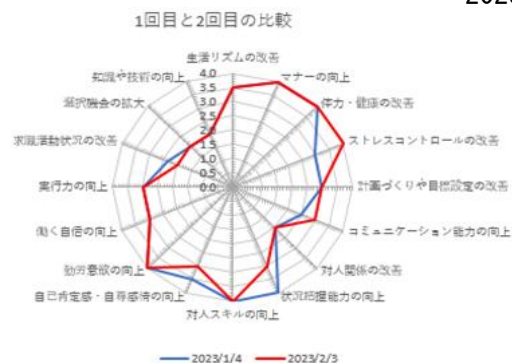
- ・自閉症、軽度知的障がい診断名がついたため、障害福祉サービスへ移行し、同事業所にて支援を継続

本人との筆談

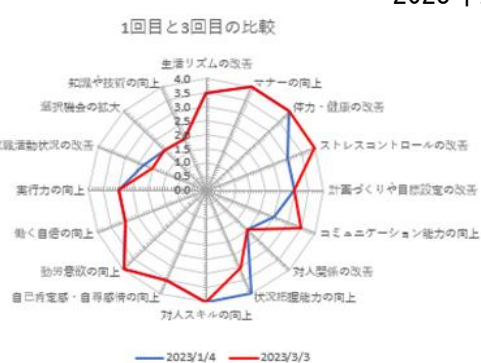
- ・WDに参加したこと「良かった」
- ・訓練を受けて変わったこと「報告ができるようになった」
- ・これから頑張りたいこと「挨拶ができるようになること」

KPSツールを活用した利用者自己評価結果 (GN-25)

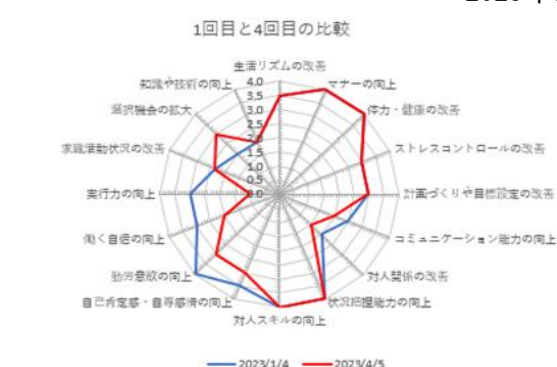
2023年1月末



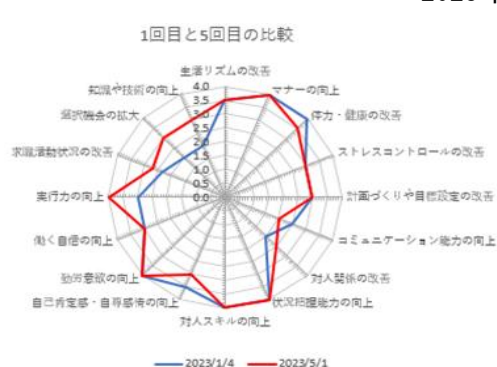
2023年2月末



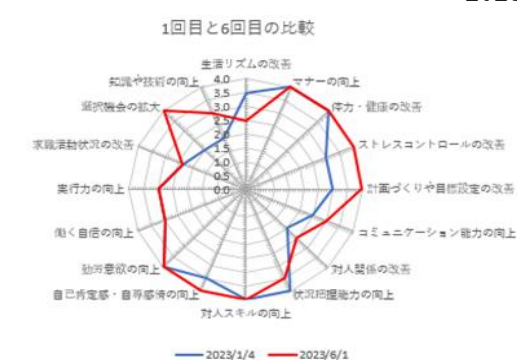
2023年3月末



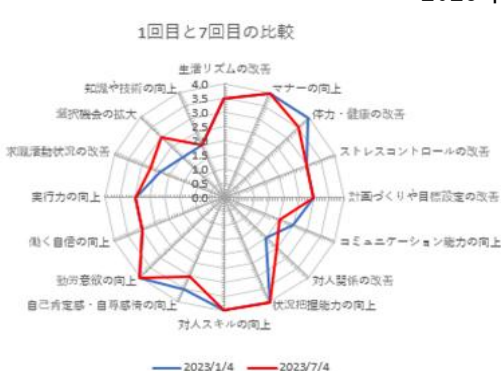
2023年4月末



2023年5月末



2023年6月末



ＫＰＳツールを活用した利用者自己評価結果（GN-25）

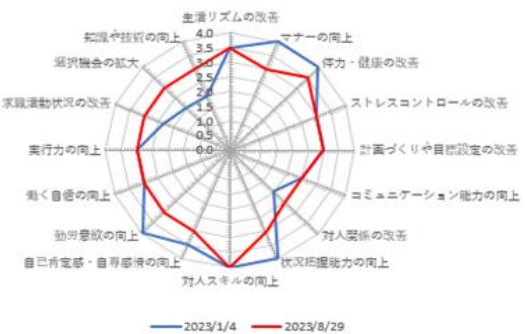
2023年7月末

2023年8月末

1回目と8回目の比較



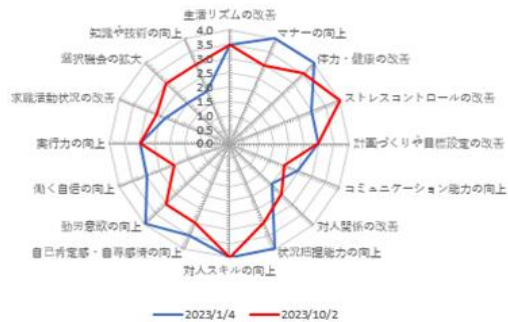
1回目と9回目の比較



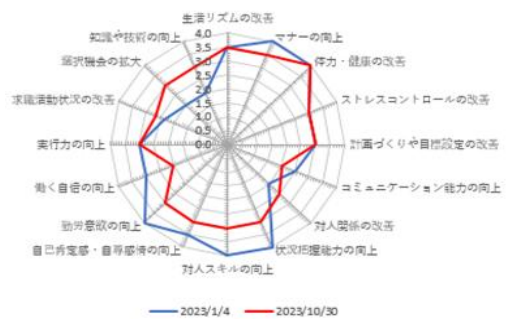
2023年9月末

2023年10月末

1回目と10回目の比較



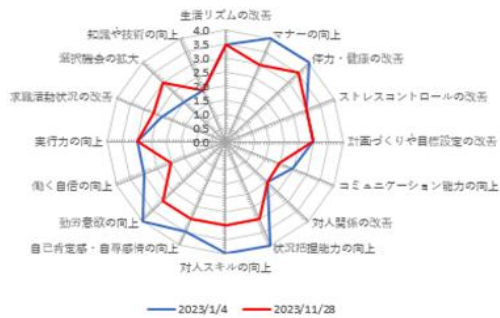
1回目と11回目の比較



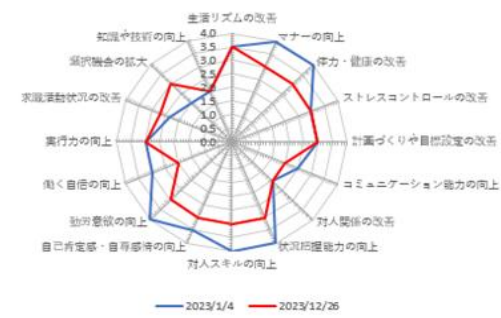
2023年11月末

2023年12月末

1回目と12回目の比較



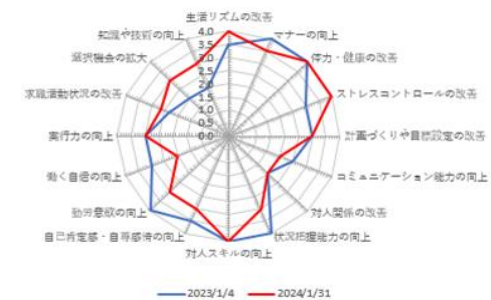
1回目と2回目の比較



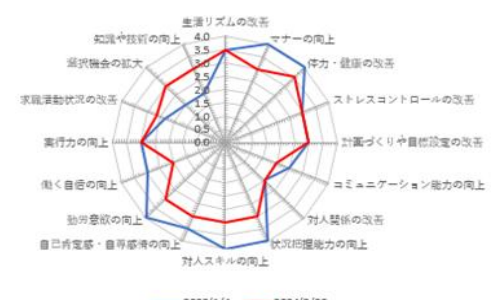
2024年1月末

2024年2月末

1回目と3回目の比較



1回目と4回目の比較



2024年3月末

2024年4月末

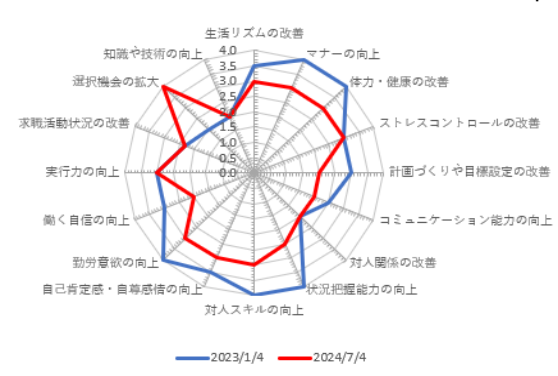
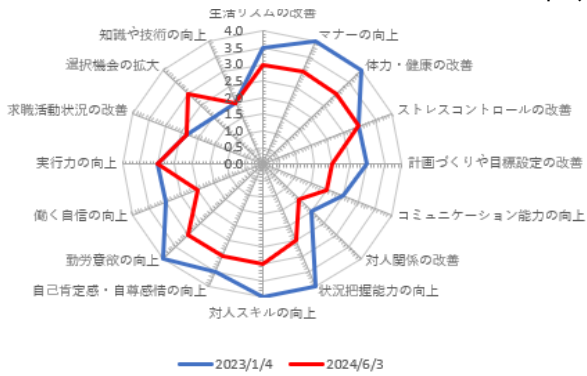
1回目と5回目の比較



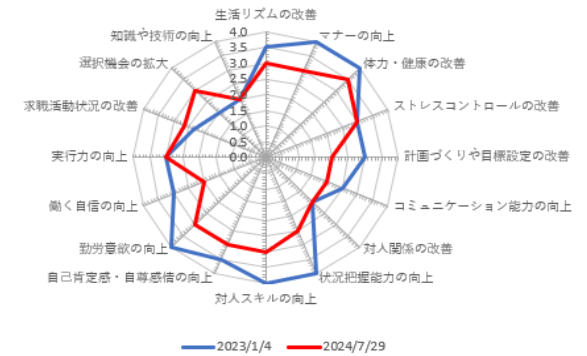
K P S ツールを活用した利用者自己評価結果 (GN-25)

2024年5月末

2024年6月末

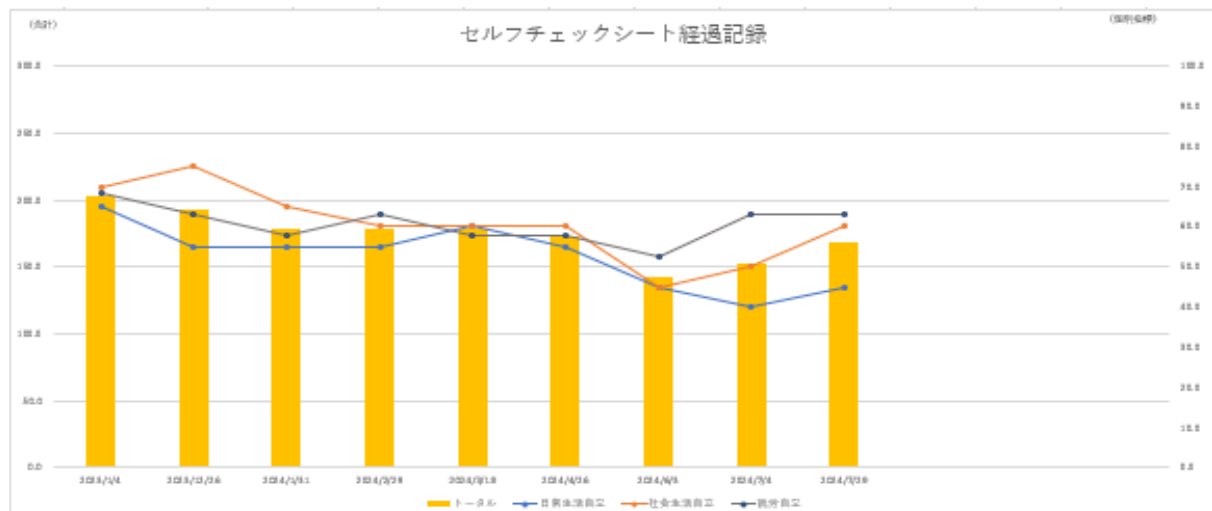
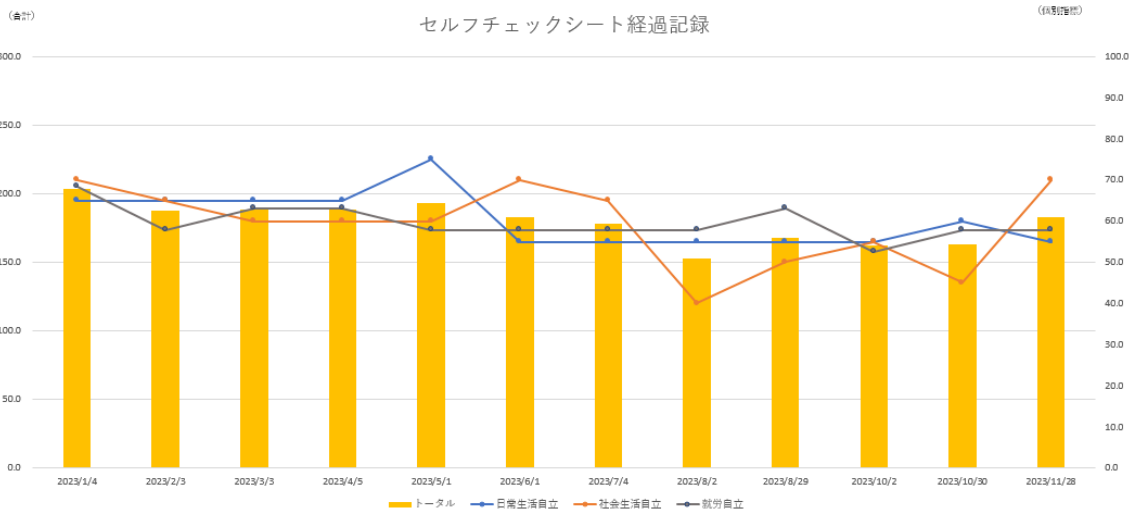


2024年7月末

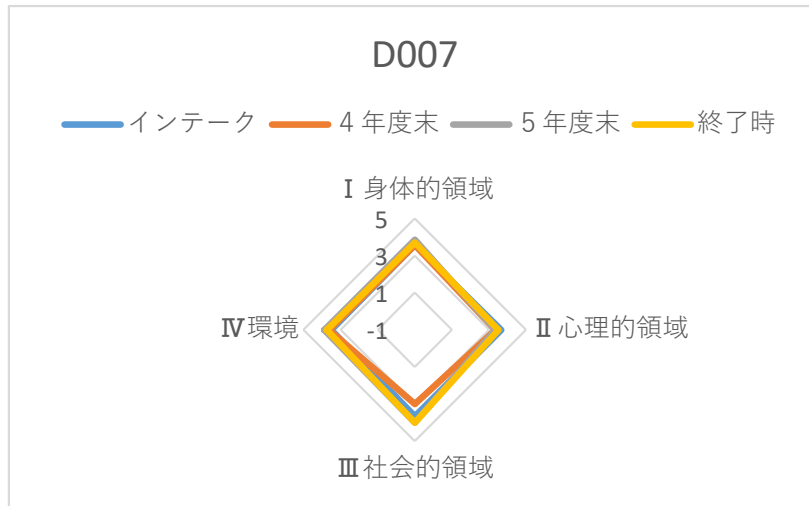


- ・数値が大きいほど評価が高い
- ・青が初回アンケート結果
- ・赤が月末のアンケート結果

K P S ツールを活用した利用者自己評価結果 (TS-59)



QOLを活用した生活水準の推移



事業アドバイザーのコメント

<R4年度>

参加時より高いQOLであり、年度末時点でも維持することができている。社会的関係が低下しているように見えるが、同年代男性と同程度である。

<R5年度>

支援員の記録にもあるように、本人の自己理解の深まりが窺える。QOLの社会的領域における低下は、訓練等で社会的交流を求められる場面が増えたことも一因ではないかと推察する。挨拶やスタッフへの声かけについては、緘黙症のある者に対してそれらを支援目標とすべきか、今一度検討が必要である。

<R6年度>

本事業での経験が、障害福祉サービス利用の決断につながったことが窺える。QOLでは身体領域と社会的領域の高まりが見られ、支援者とのつながりや就労訓練の経験が効果的であったと推察される。

事例 6

地 区	北九州地区	支援機関名	インクル春ヶ丘
性 別	女	年 齢	40代
紹介機関等	北九州障害者しごとサポートセンター		
支援開始年月日	2023年1月6日～2023年7月31日 事業利用終了		
就労困難要因	その他の困難要因		
学 歴	短大・高専・専門学校卒		
就労経験	正社員経験あり		
無業期間(年)	0年	通算勤務年数(年)	28年
具体的な職歴 就労経験(備考)	1～2年で転職を繰り返し、40代半ばから3か月前まで清掃の仕事をしていた		

困っていたこと	・体力がない ・コミュニケーションに不安がある ・仕事が長続きしない ・自分にできることや、何を頑張ったらいいいのか分からない
課 題	・心身の不調に対する自己受容、偏見 ・家族環境 ・医療機関との連携の必要性を感じるが、本人が望まない
支援内容・詳細	・通所を継続する事で体力をつける ・毎週の面談、作業ごとに気になったことがあれば適宜確認を行う ・OA、事務、実務など様々な訓練を行っていく中で出来ることを確認、適職を一緒に考える
事業所での活動に期待していること	・勤務時間と同じスケジュールで動けるようになりたい ・体力をつけたい
支援状況 1カ月目 (2023年1月30日)	状況 ・週3～4日 午前中 ・訓練内容：幕張ワークサンプル ・健康状態：倦怠感はあるが問題なし 本人の発言 ・訓練日以外に、サポステの講座を受講している ・フルタイムで働けるのか、短時間の方がいいのか、何がベストなのかと思っている 支援員の発言 ・障害受容のところで戸惑っている ・作業はミスを指摘するとそこが気になり確認行動となって結果スピードがあがらない
支援状況 2カ月目 (2023年2月27日)	状況 ・週3～4日 ・サポステ：金曜午後 グループワーク（感情のコントロール コミュニケーション等） 本人の発言 ・サポステ、訓練事業所の人も優しいので人に恵まれている ・自分を整えたいと思って2週間前くらいから日記を書くようになった ・座ってする作業よりも、体を動かして働く方が自分に合っていると思う 支援員の発言 ・前回やったことを忘れていたり、記憶が途切れる ・家族間の問題があり「何を優先したらいいのか分からなくなって」と相談があった

支援状況 3カ月目 (2023年3月31日)	状況 ・週3～4日 午前中 本人の発言 ・午後までの1日訓練や1～2時間の延長をやってみたが翌日疲れた ・前は8時間働いていたが自分の体力がないことに気づいた ・自分ができる範囲で、体力と能力にあった仕事ができたらいいと思う 支援員の発言 ・しばらくは午前中のみで訓練日数を増やしていくようにし、次の3ヶ月で体験実習にいくことも提案してみようと思う
支援状況 4カ月目 (2023年4月24日)	状況 ・週3～4日 午前中 週4日利用が目標 ・訓練内容：請求事務 金曜はサポステ利用 本人の発言 ・請求事務は苦手 ・前は週5日働いてたが、今は週5日はきつい 支援員の発言 ・4月は気持ちも体調もアップダウンがあり、休むこともある
支援状況 5カ月目 (2023年5月29日)	状況 ・週4～5日 午前中が基本 ・訓練内容：事務作業 ・健康状態：体調の波がある。睡眠は問題なし 本人の発言 ・今の状態では企業体験も無理だと思う。自分のペースでやるしかない ・良いことだけを書く日記をつけている。当たり前のこととっていたことが良いことだと気づいた 支援員の発言 ・体調の波がある ・家族関係で変化が起きている様子
支援状況 6カ月目 (2023年6月28日)	状況 ・週3～4日 ・体調が悪く、先月より日数訓練時間が減少 本人の発言 ・6月より体調を崩し、訓練に来て横になって何もせずに帰ることがある ・体調が悪いので、今は焦らずにぼちぼちやるしかない 支援員の発言 ・訓練を続けているが変わらず、体調、精神面も落ちている ・かかりつけ医や家庭内で変動が起きている様子
支援状況 7カ月目 (2023年7月25日)	状況 ・体調不良により欠席のため面談未実施 支援員の発言 ・めまいのため7/13より休んでいる。1日きたがフラフラの状態です早退した
利用終了 (2023年9月)	・2ヶ月通所がないため、マネジメントセンターから架電。体調不良により復帰の目途がたたないため、遡って7月31日付利用終了とした

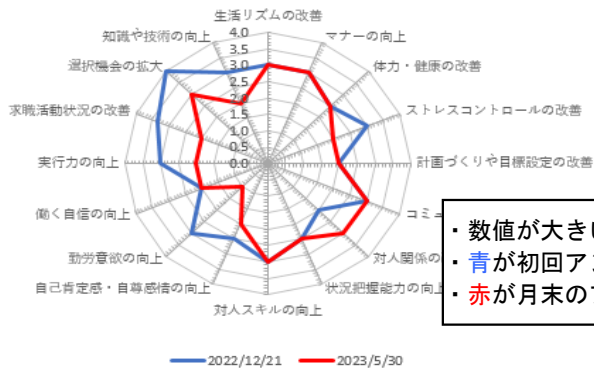
K P S ツールを活用した利用者自己評価結果 (GN-25)

2022年11月

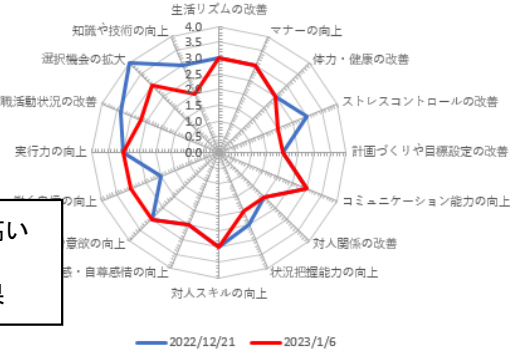
2022年12月末

1回目と7回目の比較

1回目と2回目の比較



・数値が大きいほど評価が高い
・青が初回アンケート結果
・赤が月末のアンケート結果

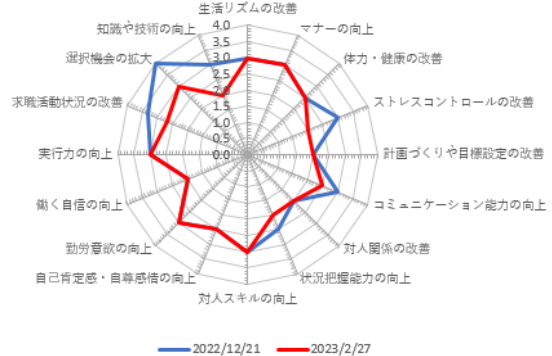
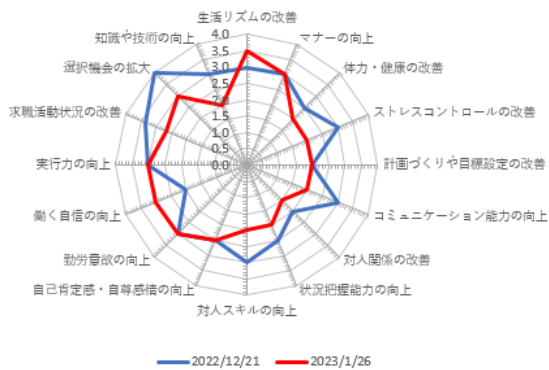


2023年1月末

2023年2月末

1回目と3回目の比較

1回目と4回目の比較

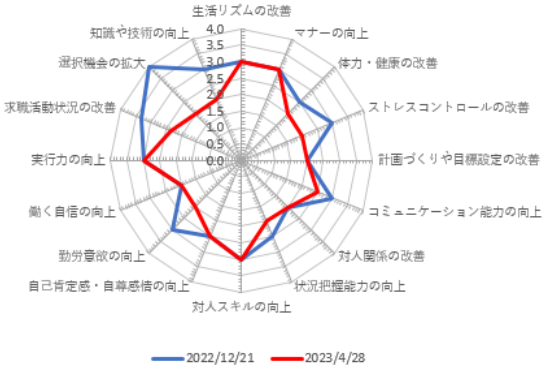
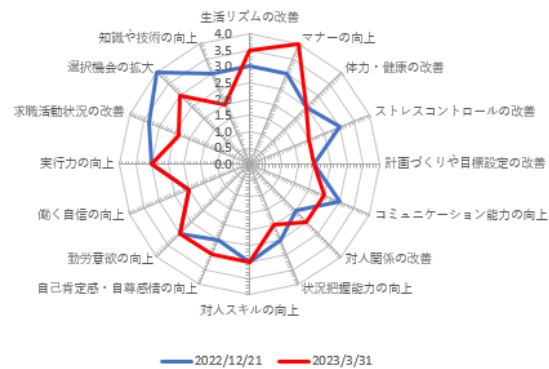


2023年3月末

2023年4月末

1回目と5回目の比較

1回目と6回目の比較

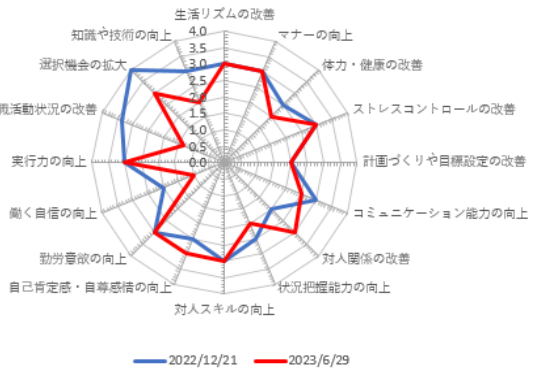
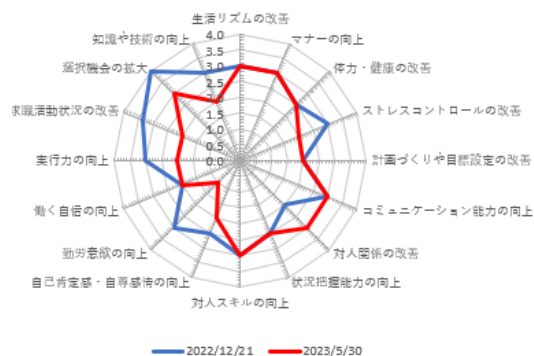


2023年5月末

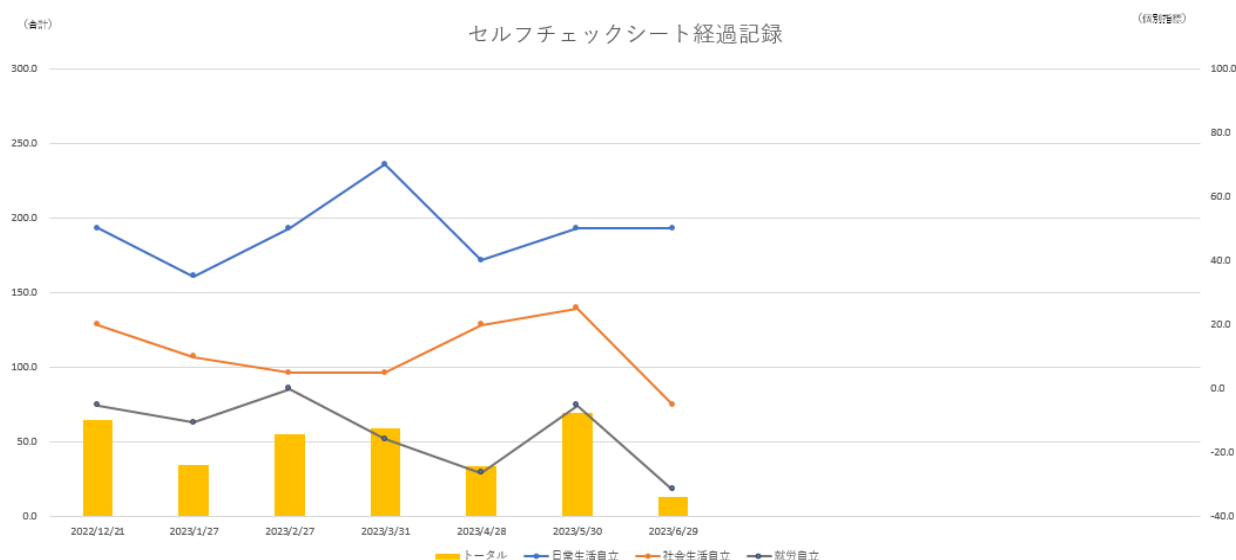
2023年6月末

1回目と7回目の比較

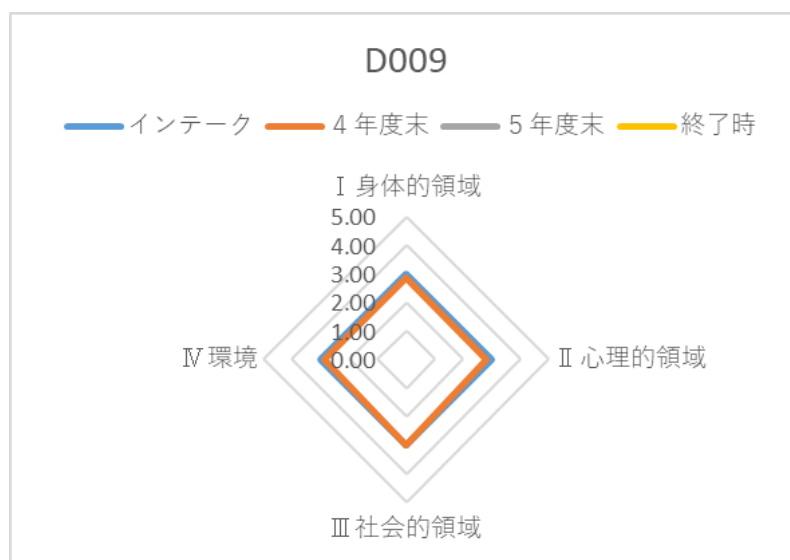
1回目と8回目の比較



K P S ツールを活用した利用者自己評価結果 (TS-59)



Q O L を活用した生活水準の推移



事業アドバイザーのコメント

<R4年度>

全体的に同年代女性のスコアよりも低い傾向にあるが、特に身体と心理の低さが目立つ。身体機能を考慮した働き方の模索、自信の回復が求められる。

<R5年度>

身体、心理、環境の領域に加え、全体的なQOLも低下している。利用日数の設定が難しい事例であったと考える。中断は別の事例でも想定されることであり、このような場合にいかに再開まで支援するか知見の蓄積が求められる。そのような観点から、本事例の振り返りが肝要であると考ええる。

事例7

地 区	福岡地区	支援機関名	キャリアサポート福岡
性 別	男	年 齢	30代
紹介機関等	ホームレス支援福岡おにぎりの会		
支援開始年月日	2023年2月6日～2023年8月30日 就職		
就労困難要因	生活困窮 ひきこもり		
学 歴	高校中退		
就労経験	正社員経験あり		
無業期間(年)	4年	通算勤務年数(年)	4年
具体的な職歴 就労経験(備考)	造船所の現場作業員（船内配管工） コンビニエンスストア		

困っていたこと	・人混みが苦手 ・人間関係や強い口調が苦手 ・集団に圧迫感を感じる
課 題	・訓練時間帯に通所すること ・グループ活動 ・継続就労に向けた通所日数の増加 ・生活習慣の改善
支援内容・詳細	・実際に通所してみ、通所日数や時間を調整 ・働く上で必要な条件を整理 ・様々な作業を通して得意な事や苦手な事を探る ・必要に応じて訓練内容の提案や助言を行う
事業所での活動に期待していること	・P C操作 ・人混み、集団に慣れること
支援状況 1カ月目 (2023年2月27日)	状況 ・週3日 10:00～16:00 ・訓練内容：伝票のサンプル、集計、仕分け ・健康状態：睡眠は不安定 体調は波がある 本人の発言 ・当初は通所が不安だったが、体調が多少悪くても頑張って通所できるようになって一歩進んだ ・ひきこもり状態から一歩踏み出せたのがうれしい ・すぐにでも就職したいが、朝起きて通所するのは辛い ・就職してやっていけるか不安
支援状況 2カ月目 (2023年3月29日)	状況 ・週3日 変わりなし ・訓練内容：事務作業、就活準備（履歴書、職務経歴書、送付状作成、面接練習） ・健康状態：睡眠時間や体調は落ち着いてきた 本人の発言 ・人と話すこともない生活から、会話のある生活になって気分が軽くなった ・前向きな気持ちが出てきて不安感がなくなった ・こうしたいという気持ち、意欲が出てきた

支援状況 3カ月目 (2023年4月26日)	状況 ・週3日 変わりなし ・訓練内容：ペーパークラフト、就活準備 ・健康状態：たまに頭痛がある程度で問題なし 本人の発言 ・会社見学をし履歴書を出す予定（ハローワーク紹介） ・就職に向けてできることをやっていく。一回でうまくいかないかもしれないので、過剰に期待せず冷静に進めて行きたい
支援状況 4カ月目 (2023年5月31日)	状況 ・週3日 変わりなし ・訓練内容：変わりなし（就職活動準備を優先） ・健康状態：体調も気持ちも安定している 本人の発言 ・常に就職したいと思っている。できるだけ早くしたい ・お金貯めてやりたいことが色々あるから、仕事して色々やってみたい 支援員の発言 ・他の利用者に声をかけ、不調や悩み聞きいている。（言葉をかけられた利用者が喜んでいた） ・計画立てて就職活動を行い、自己の状態を感じながらバランスをとっている
支援状況 5カ月目 (2023年6月23日)	状況 ・週3日 変わりなし ・就職活動：2週間に1回ハローワークへ行き求職活動をおこなっている ・健康状態：変わりなし 本人の発言 ・気になる求人があるって紹介状を出してもらった（1社応募準備中） ・工場や手先を動かす作業で仕事を探している
支援状況 6カ月目 (2023年7月26日)	状況 ・週3日 変わりなし ・就職活動：2社応募している ・健康状態：変わりなし 本人の発言 ・先月応募した会社は書類選考で落ちたが、予想していたので気分の落ち込みはない ・お金が無く動けず暇な時間も多いので、早く就職して動けるようになりたい
終了面談 7カ月目 (2023年8月30日)	【就職】 ・9月1日から設備工事会社（配管工）にて就労 ・正社員 本人の発言 ・他人と関わる事は苦手だったが、通所によって嫌じゃないと思えるようになった ・他の利用者が頑張っている姿を見て自分も頑張ろうと思った

K P S ツールを活用した利用者自己評価結果 (GN-25)

2023年2月末

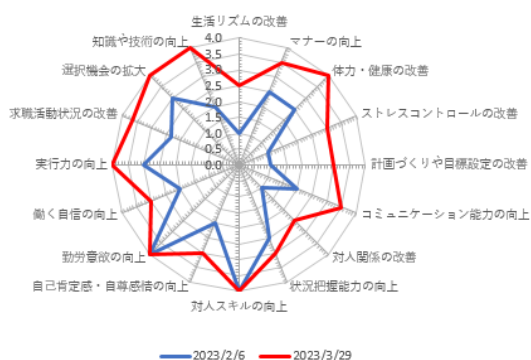
- ・ 数値が大きいほど評価が高い
- ・ 青が初回アンケート結果
- ・ 赤が月末のアンケート結果



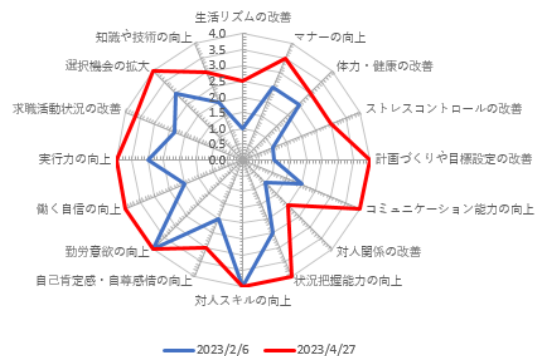
2023年3月末

2023年4月末

1回目と3回目の比較



1回目と4回目の比較



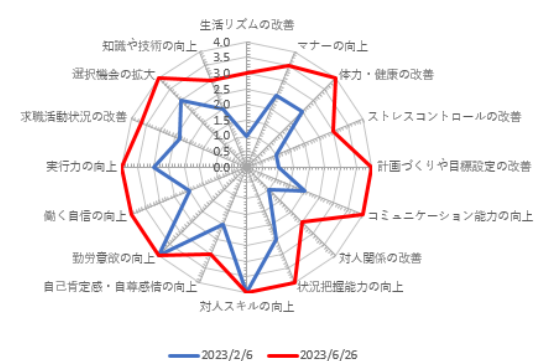
2023年5月末

2023年6月末

1回目と5回目の比較



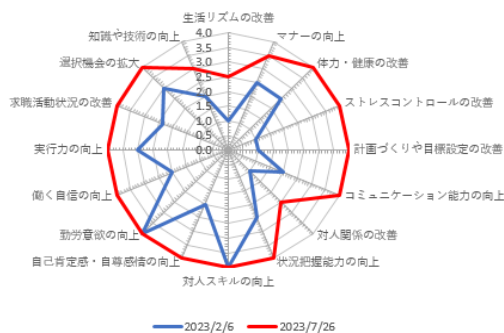
1回目と6回目の比較



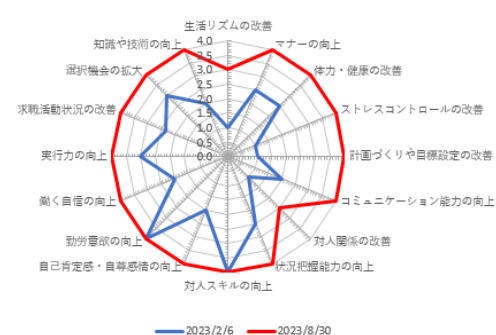
2023年7月末

2023年8月末

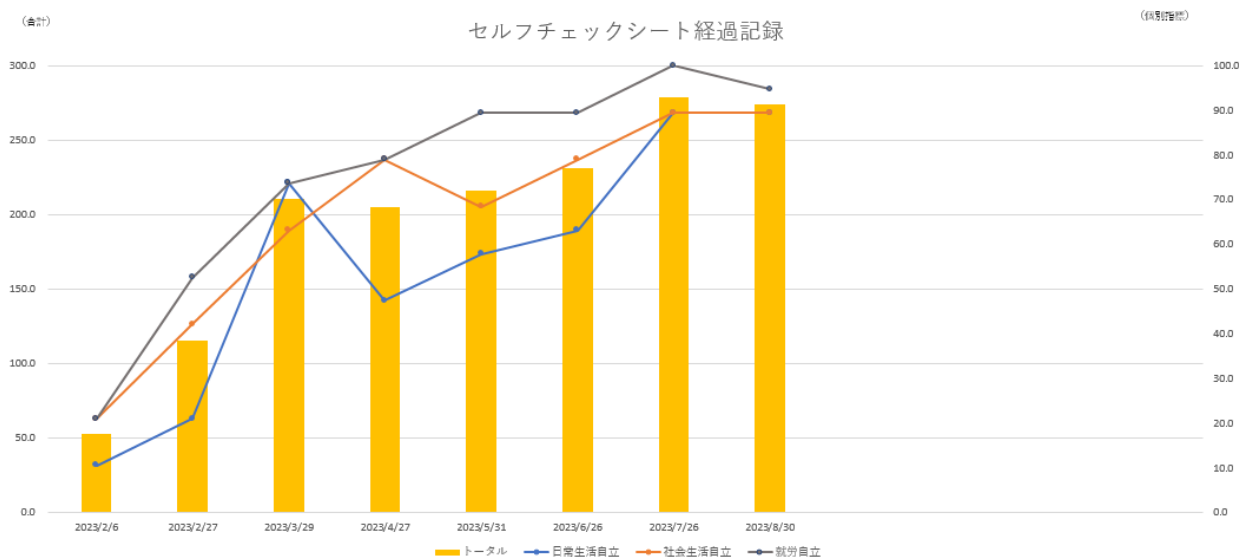
1回目と7回目の比較



1回目と8回目の比較



KPSツールを活用した利用者自己評価結果（TS-59）



QOLを活用した生活水準の推移



事業アドバイザーのコメント

<R4年度>

年度末時点で、全体的にQOLが高まっているが、心理の高まりが目立つ。スタッフの関わりや、事業所での経験が自己評価を回復させる一助になっていると思われる。

<R5年度>

全体的なQOLの高まりが確認できる。今年度は社会的領域や環境といった部分の高まりが顕著であった。

事例 8

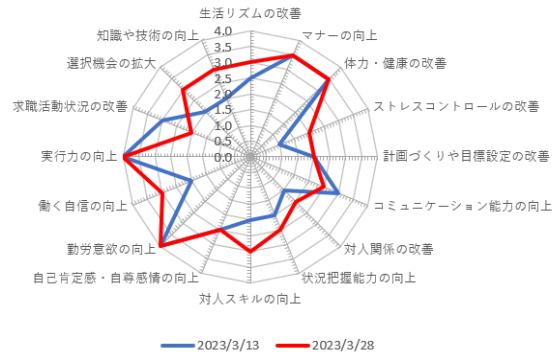
地 区	筑豊地区	支援機関名	ジョブサポートみろく
性 別	男	年 齢	40代
紹介機関等	筑豊若者サポートステーション		
支援開始年月日	2023年3月13日～2023年10月3日 障害福祉サービスへ移行		
就労困難要因	その他の困難要因		
学 歴	中学卒		
就労経験	その他一般就労の経験あり（パート・アルバイトなど）		
無業期間(年)	0年	通算勤務年数(年)	21年
具体的な職歴 就労経験(備考)	資材運び補助アルバイト8ヶ月 料亭で裏方のアルバイト3年 プラスチック加工会社（作業員）で契約社員17年 その後、1年の間に派遣会社（作業員）2社		

困っていたこと	・ 緊張したり不安になったりするとパニックになる ・ 時間に焦る ・ 仕事を覚えるのに時間がかかる
課 題	・ 心身のコンディション調整 ・ 自己（特性）理解
支援内容・詳細	・ 相談しやすい環境作り ・ 自身の思いを確認し整理する ・ 状況に応じて面談を行い、助言等を行う ・ 関係機関と連携をはかる
事業所での活動に期待していること	・ 対人スキルを身につけたい ・ 働く勘を取り戻したい ・ 出来ることを増やしていきたい
支援状況 1カ月目 (2023年3月28日)	状況 ・ 週5日通所 9：30～15：30 ・ 訓練内容：作業訓練（物流倉庫、雑草の除草剤撒き、製品の検査） ・ 健康状態：問題なし 本人の発言 ・ 初日は不安と緊張で涙が出てきたので、スタッフに相談した ・ うまく作業ができず時間がかかったので気持ちが焦った
支援状況 2カ月目 (2023年4月25日)	状況 ・ 週5日 変わりなし ・ 訓練内容：製品検査、施設外訓練で工場での作業、清掃作業 ・ ご自身が自閉症状があると自覚し、障害者手帳取得の方向で支援 ・ 健康状態：変わりなし 本人の発言 ・ 後ろから作業を見られるとこれでいいのかと不安になる ・ 利用者の方と話してみたら話があって共感できて楽になった 支援員の発言 ・ 作業ミスはないが「大丈夫」だけだと何が大丈夫なのかとかえって不安につながる事があり、大丈夫の根拠を職員で伝えるようにしている ・ 手帳取得で苦手だったことが努力をしていなかった訳ではないことがわかれると思うので、今後は得意なこと・苦手なことを整理していきたい

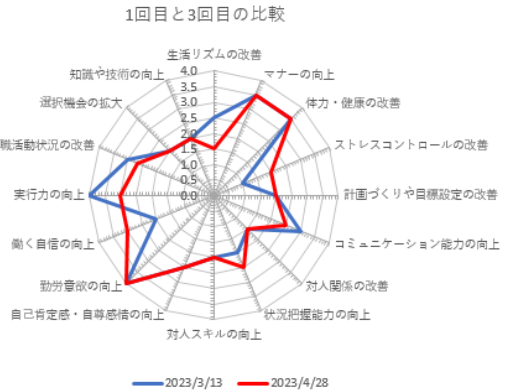
支援状況 3カ月目 (2023年5月30日)	状況 ・週5日 変わりなし ・訓練内容：変わりなし ・健康状態：変わりなし 本人の発言 ・仕事の出来具合で違うが、パニックにならないようにと思って頑張った ・（不安時の対処法）LINEに打ってから見せている
支援状況 4カ月目 (2023年6月29日)	状況 ・終始先日亡くなった父親の話になり、訓練内容等の把握ができず 本人の発言 ・人がいなくなる恐怖が出てきた ・（訓練）うまくいかない 支援員の発言 ・父親他界で不安定 ・将来的なことを考えると障害福祉サービスを利用したほうが良いという話になった
支援状況 5カ月目 (2023年7月28日)	状況 ・通所日数は変わらない ・健康状態：落ち着いてきた 本人の発言 ・相談できる人や話せる人が増えてうれしい ・働かなければいけないというプレッシャーがなくなった 支援員の発言 ・父親のことを思い出して手が震える時がある
支援状況 6カ月目 (2023年8月29日)	状況 ・週5日 変わりなし ・訓練内容：施設外作業、施設内作業 ・健康状態：問題なし 本人の発言 ・不安なことは減っているが上手く伝えられなくて、不安が残ることもある ・集中できない時は相談して、おさまらなかつたら薬を飲んでいる 支援員の発言 ・障害福祉サービスを進めている
最終面談 支援業況 7カ月目 (2023年9月26日)	状況 ・週5日 変わりなし ・訓練内容：変わりなし ・健康状態：問題なし 本人の発言 ・（作業）早くできるように工夫している ・精神面が相当にならないと休みたいとは思わない 支援員の発言 ・訴えの相談をその都度聞いている。2日に1回のペースで頻度は変わっていない。同じ不安の訴え ※知的障がいの診断で10月障害福祉サービス受給者証取得し、引き続き同事業所にて支援継続

KPSツールを活用した利用者自己評価結果（GN-25）

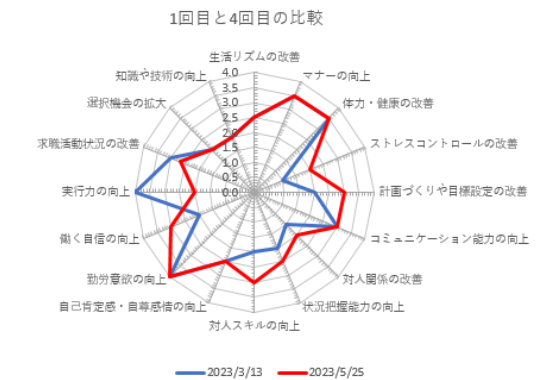
2023年3月末



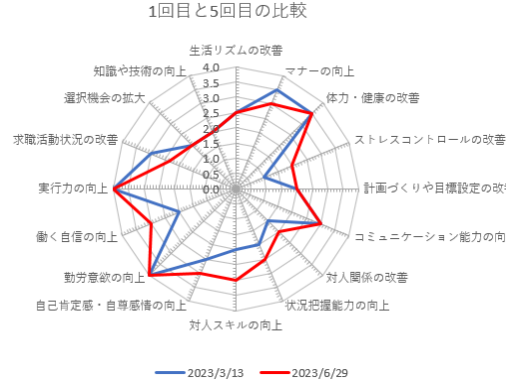
2023年4月末



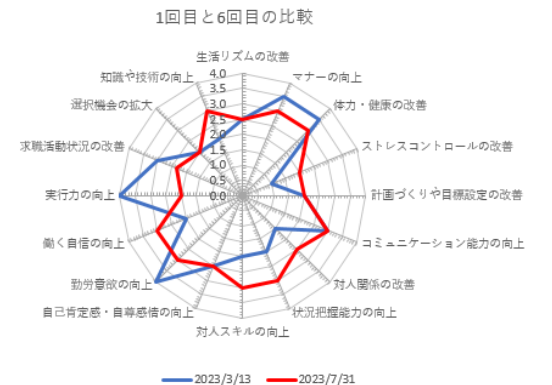
2023年5月末



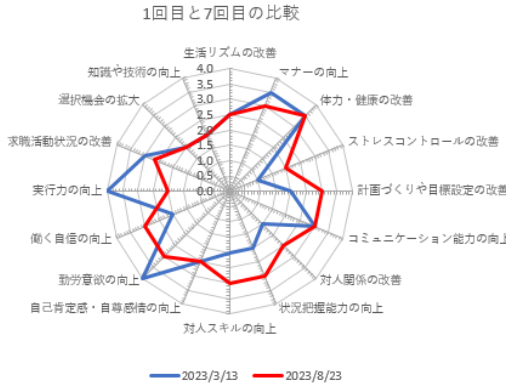
2023年6月末



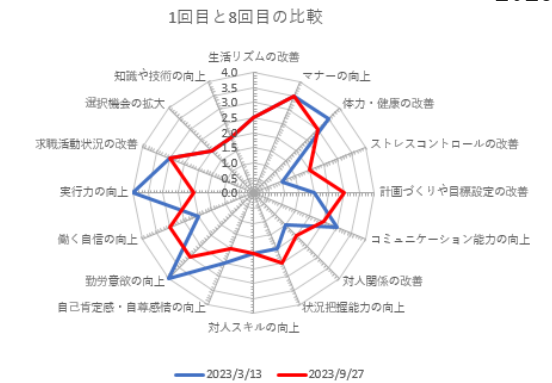
2023年7月末



2023年8月末



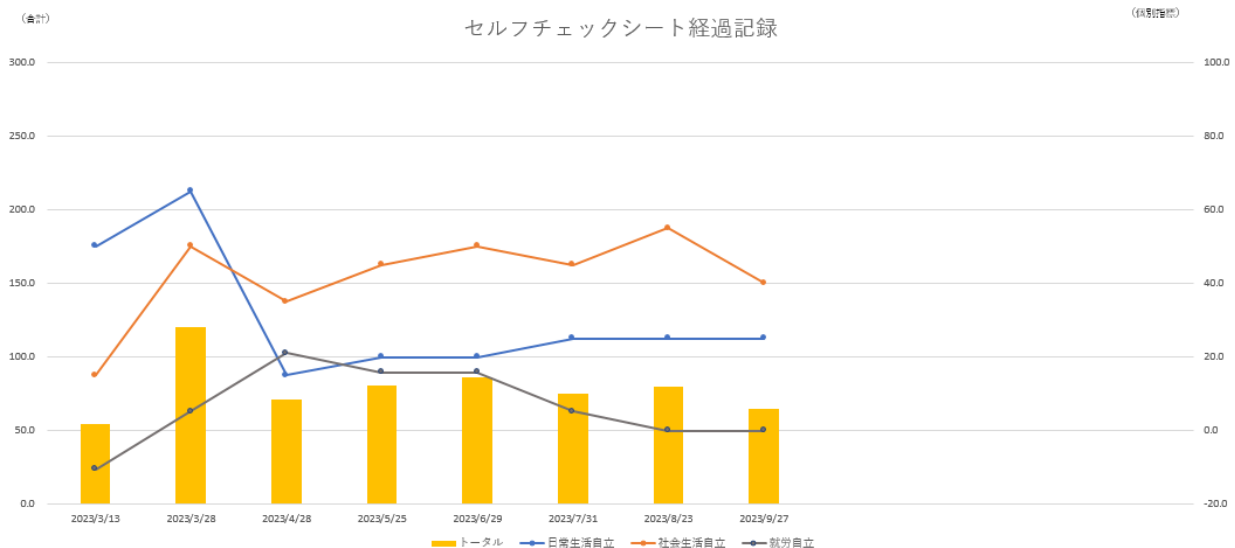
2023年9月末



2023年10月末

- ・ 数値が大きいほど評価が高い
- ・ 青が初回アンケート結果
- ・ 赤が月末のアンケート結果

KPSツールを活用した利用者自己評価結果（TS-59）



QOLを活用した生活水準の推移



事業アドバイザーのコメント

<R4年度>

参加時に特に低かった社会的関係のQOLが少しずつ向上している。他者との比較の中で自信を失うことが想定されるため、自らの成長や変化に焦点化する関わりが効果的であると思われる。

<R5年度>

父親が亡くなるなど、心理的に不安定になる出来事があった。周囲の支援者のサポートにより、心理的状态の安定につながったと推察される事例である。利用当初から中程度以上の知的障がいと想定される中で、本事業につなぐ判断が妥当であったのか検討が必要である。一方で、本事業につながり、支援を受けていく過程で、支援者を信頼し、精神科への受診につながったとも考えられる。

事例 9

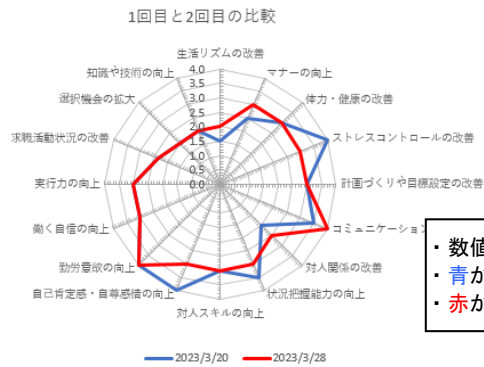
地 区	筑豊地区	支援機関名	ジョブサポートみろく
性 別	男	年 齢	20代
紹介機関等	福岡県発達障がい者支援センター ゆう・もあ		
支援開始年月日	2023年3月20日～2024年3月27日 事業利用終了		
就労困難要因	難病その他の病気、障がい者		
学 歴	大学在学中		
就労経験	その他一般就労の経験あり（パート・アルバイトなど）		
無業期間(年)	0年	通算勤務年数(年)	0年
具体的な職歴 就労経験(備考)	・スーパーのアルバイト 半年 ・焼肉屋のアルバイト（配慮あり） 2年目		

困っていたこと	・シフト間違いや教えられた作業を忘れることがあり叱られる ・細かな作業が苦手 ・得意なことや不得意なことが分からない ・他の人と上手くやっていけるか不安
課 題	・大学卒業（通所日数の制約） ・スケジュールリング ・2022年自閉症スペクトラムの診断を受ける
支援内容・詳細	・適宜声掛けを行い、困ったことが相談しやすい環境を作る ・様々な作業を通して得意・不得意を整理 ・関係機関との連携をはかる
事業所での活動に期待していること	・自信をつけたい ・対人スキルを身につけたい ・職業訓練プログラムを受けたい
支援状況 2カ月目 (2023年5月25日)	状況 ・利用日数：（春休み期間）週3日 9時半～15時半 （4月～）週1日 ・訓練内容：作業訓練（部品点検やパーツ組立） ・健康状態：問題なし 本人の発言 ・細かい作業は苦手だと思っていたが意外とできた ・訓練を受けて、やり易さを感じている 支援員の発言 ・週1日通所だが作業を忘れていることもなく、ずっと来ている雰囲気です
支援状況 4カ月目 (2023年7月27日)	状況 ・利用日数：週1日 変わりなし ・訓練内容：施設外訓練（工場でのペンキ塗り、釘打ち） ・健康状態：変わりなし 本人の発言 ・（共同作業への不安）年配の人たちが気にかけてアドバイスをもらえる。やりやすい環境で安心 ・（障害者手帳）抵抗はあったが、あくまでも就職する手段として有効活用していこうと思う

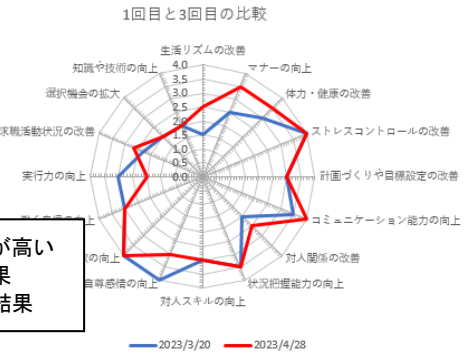
支援状況 5カ月目 (2023年8月31日)	状況 ・月1日 時間は変わりなし ・訓練内容：施設内訓練（コンセント組み立て、分解） ・健康状態：変わりなし 本人の発言 ・作業を任されるから、時間内に終わらせる等、責任感がより持てるようになった
支援状況 6カ月目 (2023年9月28日)	状況 ・月1日 変わりなし ・訓練内容：施設外実習（運搬作業） ・健康状態：問題なし 本人の発言 ・色んな人につながって相談できる人が増えた ・前期は目標の半分しか単位が取れなかった 支援員の発言 ・障害者手帳を取得したので、大学側の支援も変わってくると思う
支援状況 11カ月目 (2024年2月1日)	状況 ・障害者手帳を取得したが、学生のため障害福祉サービスが利用できない ・訓練継続したものの通所日数が少ないため面談（9月＝1日 10月＝1日 11月以降＝0） ※面談の予定を立てるも、度々のキャンセルで意思確認がとれずにいた 本人の発言 ・忙しくて訓練の時間がとれなかった（単位不足で9月卒業予定） ・ゆうもあ（支援機関）とは、大学卒業してから障害福祉サービスを視野に入れるという話をしている 支援員の発言 ・障害福祉サービスを利用して来たいという事であれば受入れ可能
終了面談 12カ月目 (2024年3月7日)	状況 ・2023年7月精神障害者保健福祉手帳（3級）取得 ・2024年3月大学卒業が秋以降に延期になったため訓練終了 母親の発言（同席） ・訓練機関では落ち着いて作業ができていて、年上の人と共同してやっていると本人から聞き、このような環境であれば作業の仕事が出来ることに気づけたことが大きかった 本人の発言 ・11月、12月は気分が落ち込んで通所できる状態では無かった

KPSツールを活用した利用者自己評価結果（GN-25）

2023年3月末

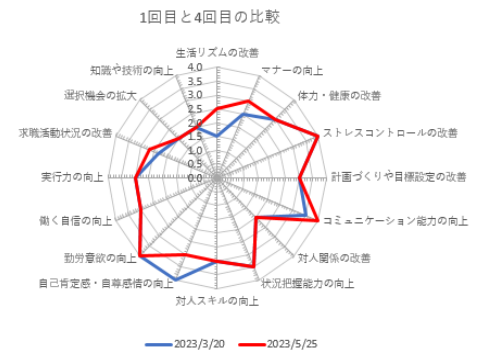


2023年4月末

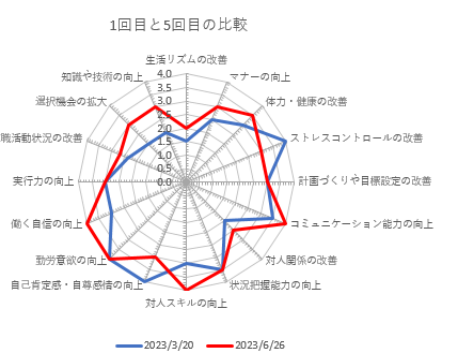


- ・数値が大きいかほど評価が高い
- ・青が初回アンケート結果
- ・赤が月末のアンケート結果

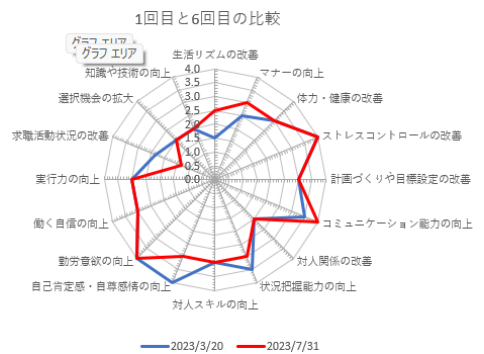
2023年5月末



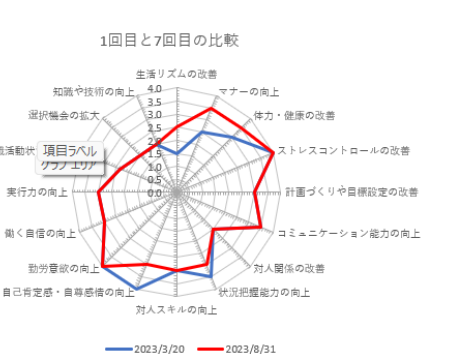
2023年6月末



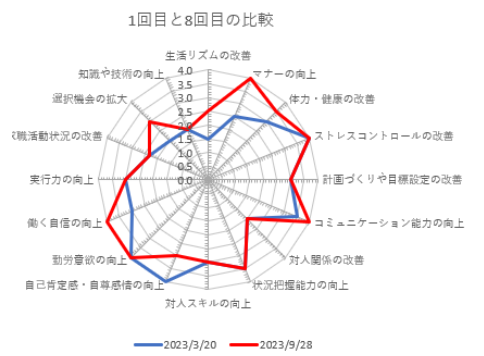
2023年7月末



2023年8月末



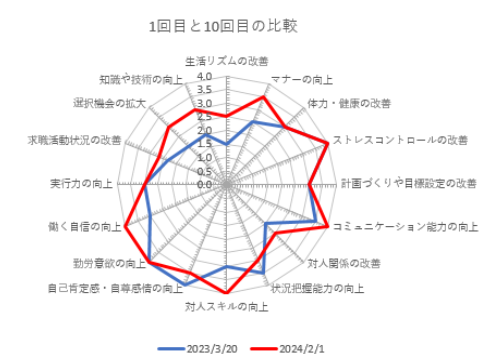
2023年9月末



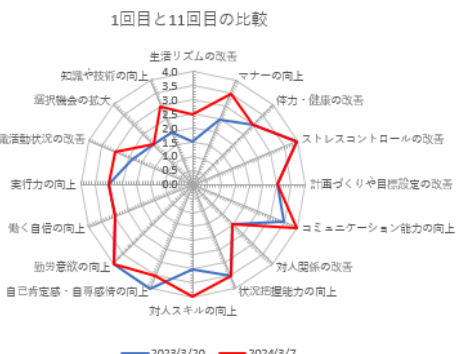
2023年10月末



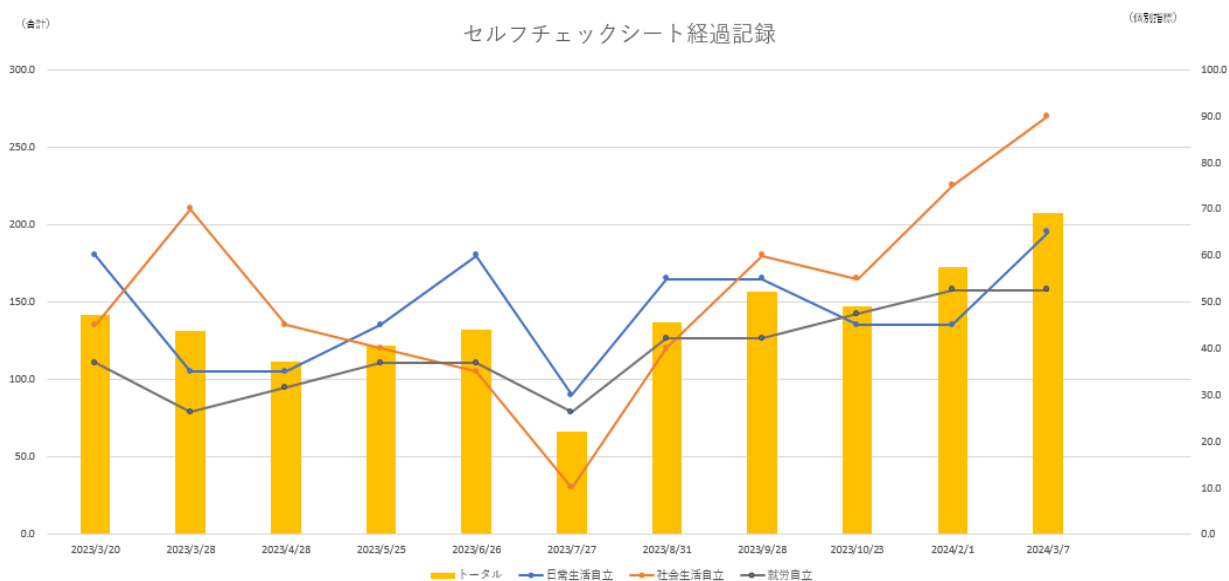
2024年1月末



2024年3月末



KPSツールを活用した利用者自己評価結果（TS-59）



QOLを活用した生活水準の推移



事業アドバイザーのコメント

<R4年度>

身体において本人の満足が高まっている。作業を通じた得意や不得意の整理により、自分にできる作業が明確になったことが想定される。そのことにより、自信を深めることができたと考える。

<R5年度>

診断があり、手帳の取得に至った事例である。就労系障害福祉サービスに繋いでいくことが必要であろう。卒業に向けてエネルギーを修学に傾ける必要があるとの本人の判断であると思われる。卒後に福祉サービスにつなげる現在の方針に異論はない。

事例 10

地 区	福岡地区	支援機関名	ハートフルたいよう
性 別	男	年 齢	10代
紹介機関等	高校の教諭		
支援開始年月日	2023年4月14日～2023年12月27日 事業利用終了		
就労困難要因	その他の困難要因		
学 歴	高校卒		
就労経験	就労経験なし		
無業期間(年)	0年	通算勤務年数(年)	0年
具体的な職歴 就労経験(備考)	なし		

困っていたこと	面接がうまくいかない
課 題	身だしなみ、生活リズムの乱れ
支援内容・詳細	・社会人として働く上で必要とされるマナーを身につける ・生活リズムを整え体力を作る ・挨拶運動・個別面談・面接練習 ・エクセル学習
事業所での活動に期待していること	・就職サポート全般
支援状況 1カ月目 (2023年4月26日)	状況 ・週5日 11:00～16:00 ・訓練内容: Excelテキスト終了、Word少々、シール貼り作業 ・健康状態: 問題なし 本人の発言 ・面接の時自分の言葉で話せるか不安 ・事務職に就きたい ・20歳になったら病院に掛かり、障がい者手帳を取りたい
支援状況 2カ月目 (2023年5月26日)	状況 ・週5日 10:00～17:00 ・訓練Excel MOSスペシャリスト ・健康状態問題なし 本人の発言 ・Excel MOSスペシャリスト1～4章まで実施したが、理解できるが覚えるのが難しく5章に行けない。ノートに書いて復習をしている ・ここに来るまで自分はダメだと思っていたが、意外にできることがあると分かり、自信がついた ・トイレの建付け、水漏れがあって別の事業所に行きたい。気まずいからここに入れたい 支援員の発言 ・訓練開始時よりトイレのトラブルがあり、トイレの水をあふれさせて以降欠席。事業所を変えたいと申し出がある ・訓練は積極的でわからないことはすぐに支援員に質問をする

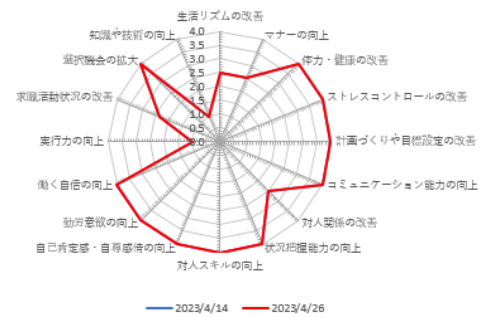
支援状況 3カ月目 (2023年6月6日)	本人の発言 ・勉強は楽しかった。 ・できるだけ早く訓練を再開したい ACEには戻れない
支援状況 5カ月目 (2023年8月22日)	状況 ※7月よりACEからたいように移行 ・日数：8月通所3日、在宅7日 13:00～15:00（職員情報） 本人は8月から通所週5日 14:00～16:00といい、くい違いあり ・訓練内容：Excel 理解は出来るが覚えれない ・健康状態：睡眠、食欲、体調 変わらない 本人の発言 ・Excelを解いていくのが楽しい。Excelを出来ると思っていたのでうれしい ・困っていることはない 支援員の発言 ・一般常識やマナーがなく、一般就職は難しい ・母親とのやり取りも難しく、手帳取得は家族に対してもサポートが必要
支援状況 6カ月目 (2023年9月25日)	※支援員、母親同席 状況 ・訓練内容：MOS問題が難しくついていけない ・健康状態：朝がきつい 朝7～8時に起きる ストレスはない ※職員、母親情報では、朝11時まで寝ていたり、通所時にストレスで声を上げたりするとのことでくい違いあり 本人の発言 ・事務職、在宅の事務、それ以外はイメージは無い。給料は月20万以上を希望 ・通院は現在していない（母親が必要性感じ通院するようにしますと言う）
支援状況 8カ月目 (2023年11月27日)	※支援員、母親同席 状況 ・日数：6～7日/月 ・訓練内容：MOS問題 試験問題を解いて49% ・健康状態：憂鬱な気分 体が重い、家から出るのがきつい 本人の発言 （その場しのぎの答えで、現状とは異なる回答が多い） 支援員の発言 ・通所が安定しておらず、遅刻も多い ・挨拶をするように、イヤホンを外すようにと注意を受けても聞かず、半年経っても変わらない ・本人、母親共に現状の把握が著しくできていない
終了面談 9カ月目 (2023年12月27日)	※支援員、母親同席 状況 ・日数：10日通所 ・訓練内容：MOS問題 試験問題を解いて80% 1月半ばに資格試験を受ける申込を行った ・健康状態：憂鬱な気分 体が重い 家から出るのがきつい時がある。昼夜逆転で14時頃に起きることも多い その他 ・手帳や受給者証取得のため1月に診断書を受け取る予定で、12月でWD事業の支援は終了 ・通院継続し、先日より発達障がいの薬を服用 ・本人、母親共に福祉サービスや支援を受けることにし抵抗を示していたが、事業利用を通して母親の障がい受容が進んだ

KPSツールを活用した利用者自己評価結果（GN-25）

2023年4月末

- ・数値が大きいほど評価が高い
- ・青が初回アンケート結果
- ・赤が月末のアンケート結果

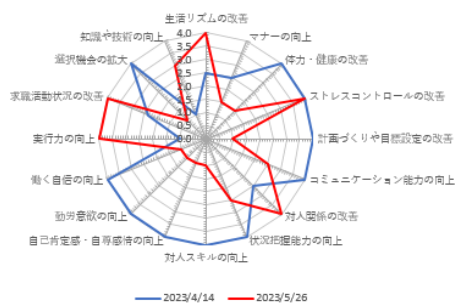
1回目と2回目の比較



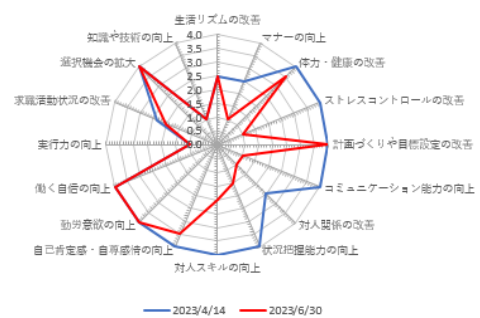
2023年5月末

2023年6月末

1回目と3回目の比較



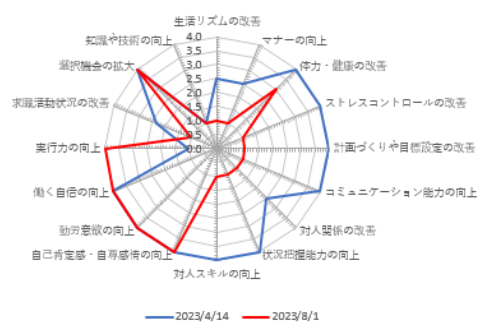
1回目と4回目の比較



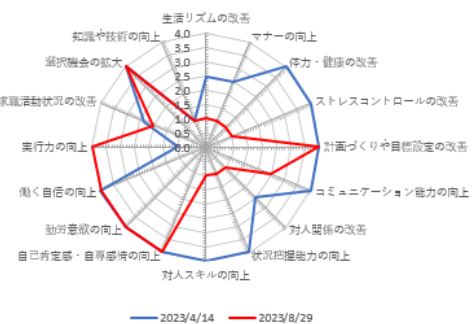
2023年7月末

2023年8月末

1回目と5回目の比較



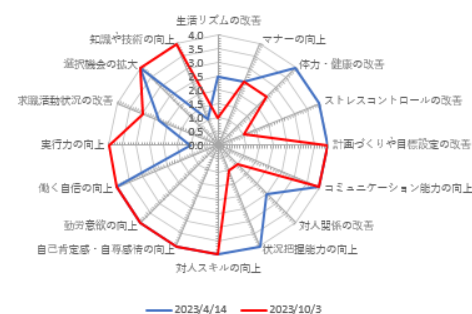
1回目と6回目の比較



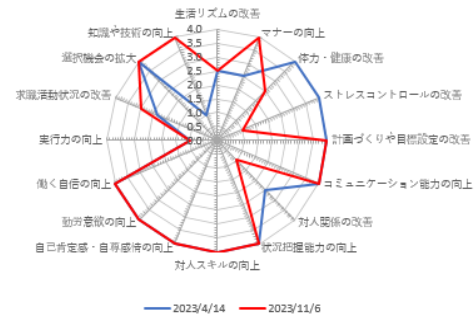
2023年9月末

2023年10月末

1回目と7回目の比較



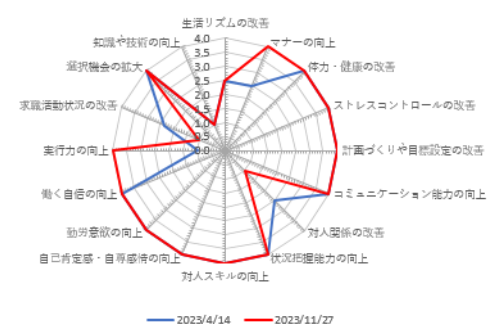
1回目と8回目の比較



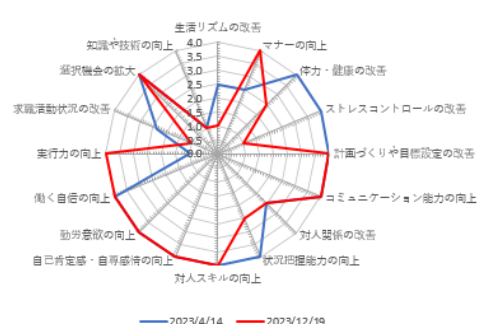
2023年11月末

2023年12月末

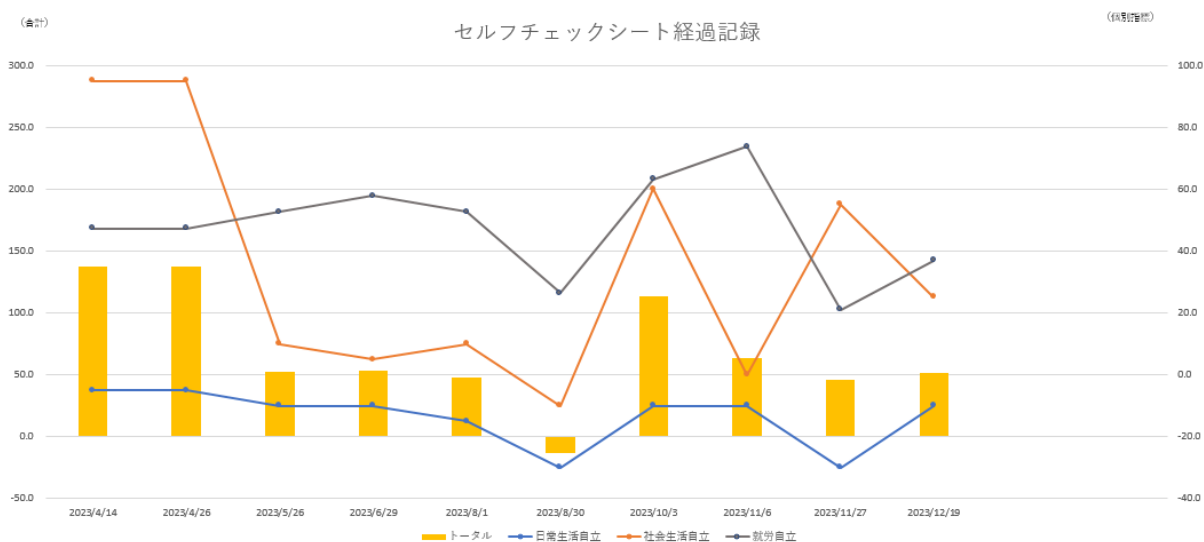
1回目と9回目の比較



1回目と10回目の比較



K P S ツールを活用した利用者自己評価結果 (TS-59)



QOLを活用した生活水準の推移



事業アドバイザーのコメント

<R5年度>

WD事業を入り口として、その後に適切な福祉サービスにつながった事例だと思われる。WD事業のマネジメントセンターの役割として、どこまで専門的な助言を行うのかについては、事業全体の課題であると考えます。

事例 1 1

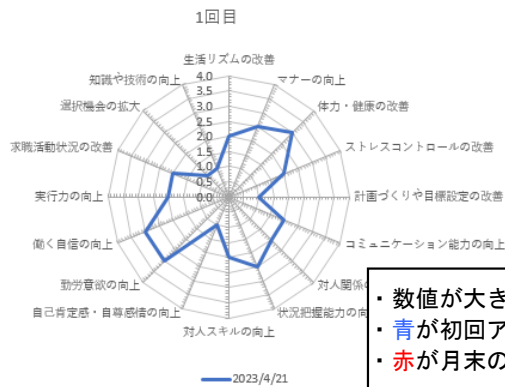
地 区	北九州地区	支援機関名	インクル春ヶ丘
性 別	男	年 齢	20代
紹介機関等	北九州しごとサポートセンター		
支援開始年月日	2023年4月21日～2023年5月31日 障害福祉サービスへ移行		
就労困難要因	難病その他の病気、障がい者		
学 歴	短大・高専・専門学校卒		
就労経験	正社員経験あり		
無業期間(年)	0年	通算勤務年数(年)	半年
具体的な職歴 就労経験(備考)	印刷会社		

困っていたこと	・ うっかりミスが多い（ADHD診断あり） ・ 書類への苦手意識がある
課 題	・ 焦らずに落ち着いて作業に取り組む ・ 生活基盤が不安定 ・ 継続した通所
支援内容・詳細	・ 様々な訓練を提供し、自分の得手・不得手を確認する ・ 日々の訓練やこれまでの経験の中で出た困ったことを振り返り、対処方法を考えていく ・ 訓練の状況等から自分に適している仕事について考える
事業所での活動に期待していること	・ 集中力を付けたい ・ 職場（企業）実習をしたい
最終面談 支援状況 1カ月目 (5月29日)	状況 ・ 5月中旬まで：週1日通所 家族面談実施後：週5日通所 ・ 8：50～15：00 時々10～20分遅刻 ・ 訓練内容：PC入力、事務業務の集計、コンセンツの組立 ・ 健康状態：問題ないが倦怠感がある 本人の発言 ・ 作業は早いと言われるがミスを見つけるのは苦手 ・ 自分の得意なこと、好きなことがわからないのでアピールできない ・ 就活を早くしたい。自分は面倒くさがり屋なので速く仕事をしないとダメになってしまう 支援員の発言 ・ 作業能力は問題なし ・ 現在単身生活で時間や金銭管理等生活の乱れが目立つ。長期で考えた場合、自立訓練を取り入れることを視野にいた障害福祉サービスの検討をしている ※6月障害福祉サービス受給者証を取得し、同事業所の宿泊型自立訓練と就労移行支援に移行する連絡をうけ、WD事業終了となる

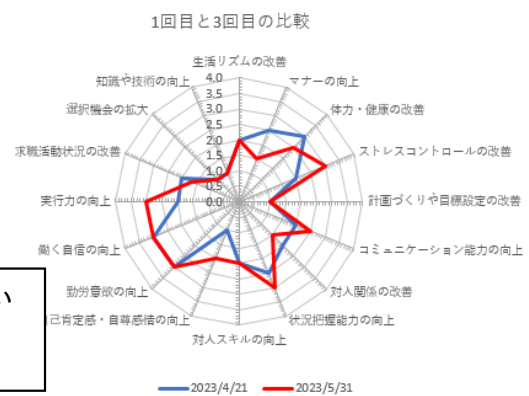
K P S ツールを活用した利用者自己評価結果（GN-25）

2023年4月末

2023年5月末



- ・数値が大きいほど評価が高い
- ・青が初回アンケート結果
- ・赤が月末のアンケート結果



K P S ツールを活用した利用者自己評価結果（TS-59）



Q O L を活用した生活水準の推移



事業アドバイザーのコメント

<R5年度>

支援開始後、早期に福祉サービスにつながった事例である。支援期間が限られているため、変化への言及は困難だが、適切な支援に早期につながることができた点が評価できる。

事例 1 2

地 区	筑豊地区	支援機関名	ウイング直方
性 別	女	年 齢	40代
紹介機関等	相談支援事業所		
支援開始年月日	2023年4月26日～2024年2月16日 障害福祉サービスへ移行		
就労困難要因	その他の困難要因		
学 歴	短大・高専・専門学校卒		
就労経験	その他一般就労の経験あり（パート・アルバイトなど）		
無業期間(年)	10年	通算勤務年数(年)	7年
具体的な職歴 就労経験(備考)	いちご農園（6年）		

困っていたこと	・人と一緒に作業をするとき緊張してミスが多くなる ・間違っではいけない、きちんとしなくてはいけないと思うと余計に集中力が落ちてしまい、状況によっては泣いてしまう
課 題	・自信がなく不安感が強い ・感情のコントロール ・人と違うことが気になる
支援内容・詳細	・他者との関りを不安なく行えるための振り返りや面談を行う ・他者がいる場面でも疲れないようにする方法を一緒に考える ・グループ実習への参加、企業見学
事業所での活動に期待していること	・自信をつけたい ・対人スキルを身につけたい ・職場（企業）実習をしたい ・職業訓練プログラムを受けたい
支援状況 1カ月目 (2023年5月29日)	状況 ・週5日 9:00～15:00 ・訓練内容: 箱折り、内職シール貼り 一通りの作業を経験 ・健康状態: 睡眠リズムのズレがある 本人の発言 ・お掃除やシール貼りなど、終わりが見える作業が好き ・周り比べて落ち込む 支援員の発言 ・施設外訓練時、トイレに行きたいと言えずに我慢して膀胱炎になっているため施設内の作業に移っている
支援状況 2カ月目 (2023年6月29日)	状況 ・週5日 朝は40分かけて徒歩で通所 ・訓練内容: アパート清掃や草取り、内職（現地工場にてガムテープ貼り） ・健康状態: 変わりなし 本人の発言 ・指示通りにできていないと落ち込む ・休憩時間に休めている感覚はあるか？の間に「ない」 支援員の発言 ・欠員が出たとき等、急な予定変更でも対応できている

支援状況 3カ月目 (2023年7月24日)	状況 ・週5日 変わりなし ・訓練内容：今までの訓練に加え、野菜の箱詰めや老人ホームのベッドメイキングが増えている ・健康状態：大きな変わりはない 本人の発言 ・行きたくないときもあるけど、職員さんの名刺をみて頑張っている 支援員の発言 ・一緒にグループ実習している人とのコミュニケーションもとれていて、次のスモールステップをふむため個別実習の予定
支援状況 4カ月目 (2023年8月31日)	状況 ・週5日 変わりなし ・訓練内容：個別実習（花屋） ・健康状態：家族で感染症になり体力が落ちている 本人の発言 ・今回はコミュニケーションを頑張った。意識的に自分から話かけたりした ・自分の病気のことをちゃんと知りたくなった 支援員の発言 ・個別実習で少し自信をつけている。今後は時間数をのばしてやっていく予定
支援状況 5カ月目 (2023年9月28日)	状況 ・週5日 9:00～15:00 ・訓練内容：施設外実習、他 ・健康状態：問題なし 本人の発言 ・余裕はないけど充実感はある ・人づきあいが苦手で疑いから入っていたけど、ここに来て信じられるようになった 支援員の発言 ・来月予定している個別実習先は食品関係の企業
支援状況 6カ月目 (2023年10月31日)	状況 ・週5～6日 9:00～15:00 ・訓練内容：個別実習（食品関係） ・健康状態：本調子ではない 軽度知的障害の診断名がつく 本人の発言 ※個別実習が上手くいかなかったこと・軽度知的障害の診断結果が出たことで、精神的に落ち込み発言が少ない状況で、スタッフが代弁する形で進めた 支援員の発言 ・数字や計算、人の多さが苦手で、自宅でグラムを測る練習をやっているようだが上手くいかない様子。無理をしなくてもいい選択も提示するが、本人の中でチャレンジしたい思いがある
支援状況 8カ月目 (2023年12月25日)	状況 ・基本週5日 ・訓練内容：内職 ・健康状態：睡眠の乱れ、食欲も気分も落ちた状態が続いている 本人の発言 ※発言量は少なくスタッフが代弁する形 支援員の発言 ・再度花屋の個別実習を検討している ・障がい名のショックは大きかったと思う

終了面談
10カ月目
(2024年2月27日)

状況

・2月19日障害福祉サービス受給者証取得により、障害福祉サービスへ移行し、同事業所にて支援継続

本人の発言

・色んな人に出会えて、話せる人が増えた
・訓練は清掃ばかりでもの足りなかったが、花屋の個別実習に行ってやりたい気持ちになった

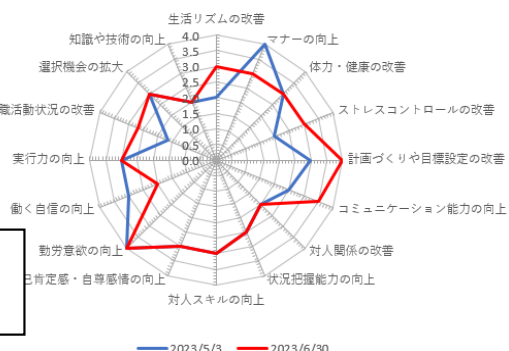
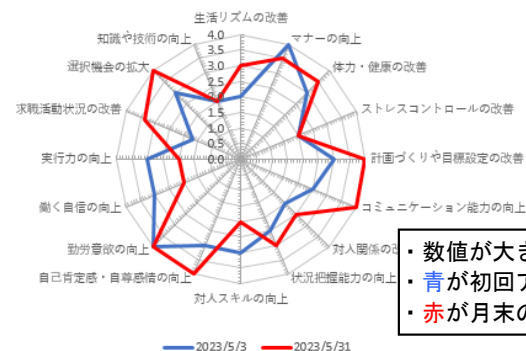
K P S ツールを活用した利用者自己評価結果 (GN-25)

2023年5月末

2023年6月末

1回目と2回目の比較

1回目と3回目の比較



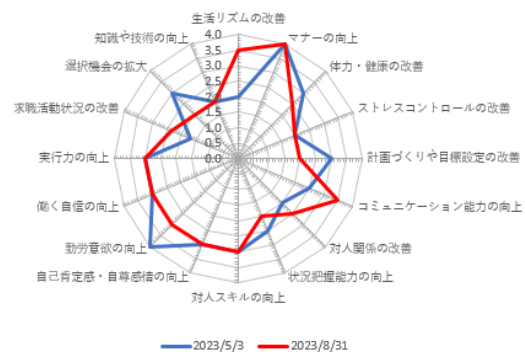
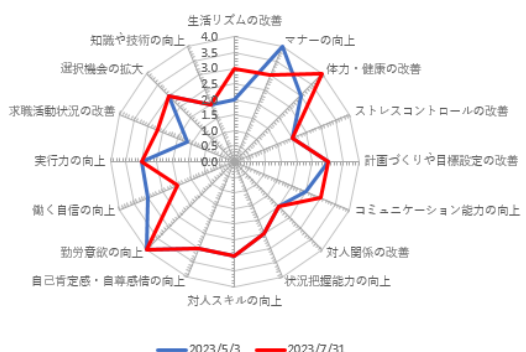
・数値が大きいほど評価が高い
・青が初回アンケート結果
・赤が月末のアンケート結果

2023年7月末

2023年8月末

1回目と4回目の比較

1回目と5回目の比較

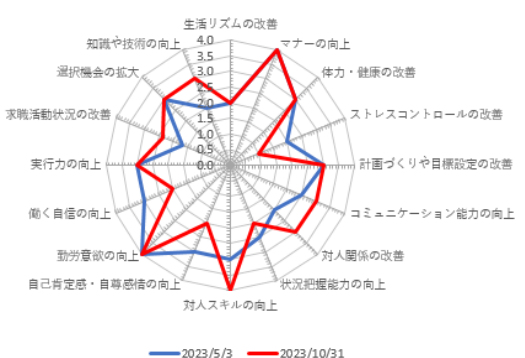
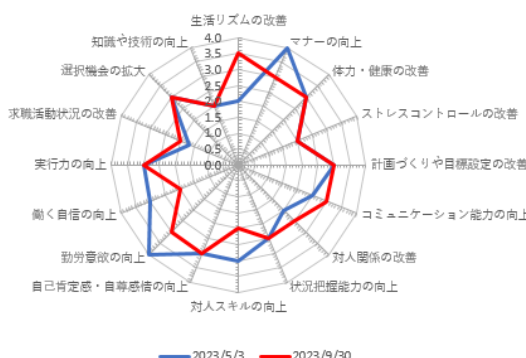


2023年9月末

2023年10月末

1回目と6回目の比較

1回目と7回目の比較

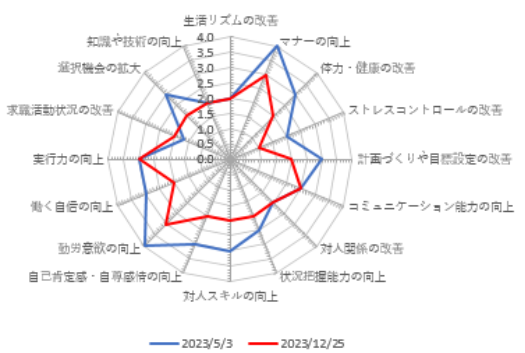
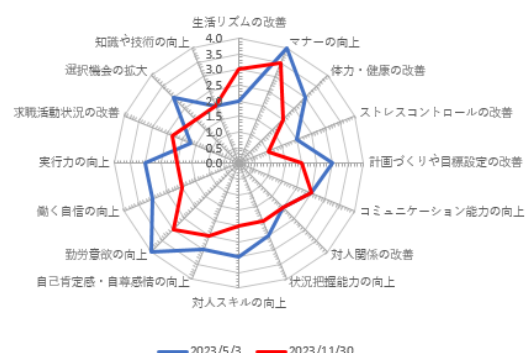


2023年11月末

2023年12月末

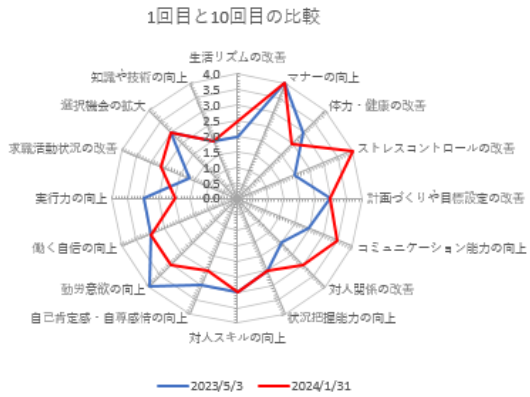
1回目と8回目の比較

1回目と9回目の比較

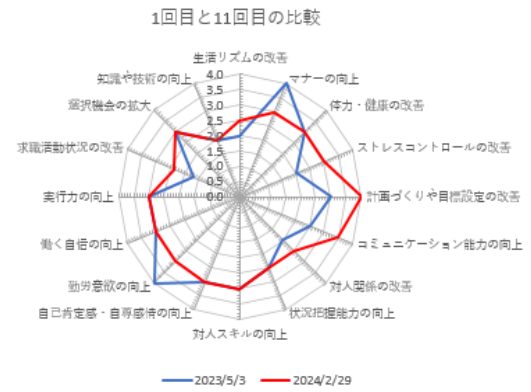


K P S ツールを活用した利用者自己評価結果（GN-25）

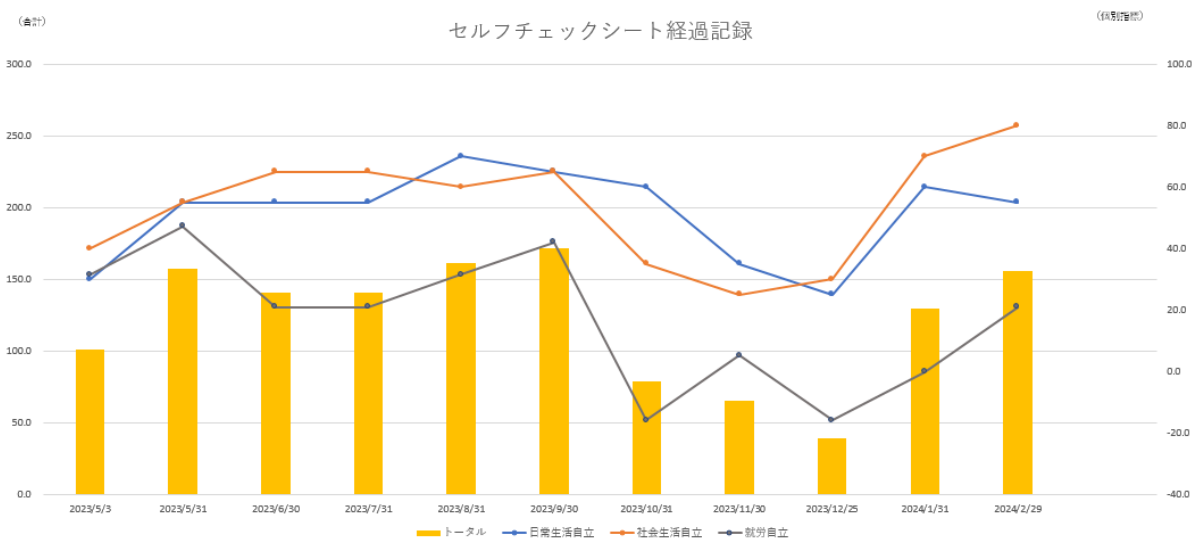
2024年1月末



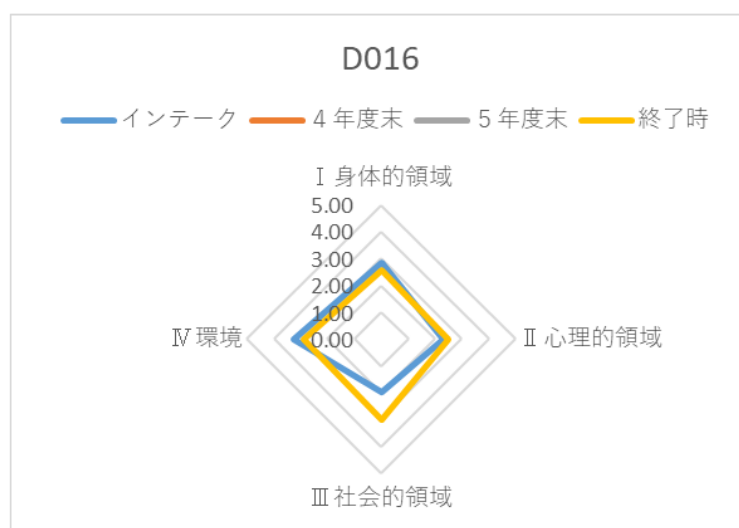
2024年2月末



K P S ツールを活用した利用者自己評価結果（TS-59）



Q O L を活用した生活水準の推移



事業アドバイザーのコメント

<R5年度>

身体領域や環境領域におけるQOLは低下しているものの、社会的領域や心理的領域は上昇している。支援者の関わりが本人を支えていることが窺える。

事例 13

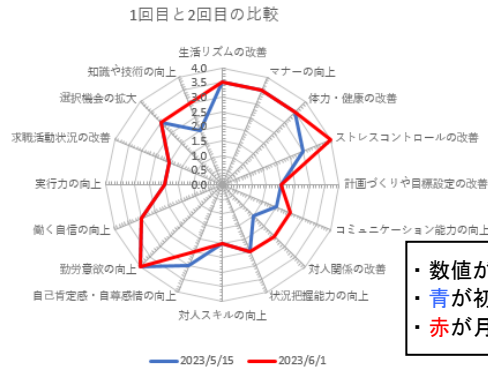
地 区	北九州地区	支援機関名	ファインズチャレンジド
性 別	男	年 齢	20代
紹介機関等	大学		
支援開始年月日	2023年5月15日～2024年2月9日 障害福祉サービスへ移行		
就労困難要因	難病その他の病気、障がい者		
学 歴	大学在学中		
就労経験	就労経験なし		
無業期間(年)	0年	通算勤務年数(年)	0年
具体的な職歴 就労経験(備考)	なし		

困っていたこと	アルバイトの面接を受けたが全て落ちてしまう。なぜ受からないのか理由が全く分からない
課 題	・ 理解力 ・ 適切なコミュニケーション ・ 家族の障害受容
支援内容・詳細	・ 就職活動にむけて SST、JST、面接練習を行い、コミュニケーション能力の向上を目指す支援を行う ・ 自分がやりたい仕事、できる仕事を一緒に探していく
事業所での活動に期待していること	・ 対人スキルを身につけたい
支援状況 1カ月目 (2023年6月14日)	状況 ・ 週5日 9:30～15:00 ・ 訓練内容: 就職訓練プログラム ・ 健康状態: 問題なし 時々眠れないことがある 本人の発言 ・ (人と)話せるときもある ※質問には「あります」「分かりません」「難しいです」等、一文節での回答が多い 支援員の発言 ・ 大学より面接練習で入退室のときの挨拶が出来ていると報告を受けている ・ 障害者手帳取得の方向で検討。次回受診に母親同行の予定
支援状況 2カ月目 (2023年7月11日)	状況 ・ 訓練日数: 変わりなし ・ 訓練内容: コミュニケーショントレーニング、PC、軽作業、面接練習 ・ 健康状態: 変わりなし 本人の発言 ・ (作業) 苦手です ・ (パソコン) ExcelとWordです 支援員の発言 ・ 対人スキルは、コミュニケーションの練習をして、やっとやり取りができ始めた ・ 家族がやっと障害者手帳取得に理解を示されてきたところ

支援状況 3カ月目 (2023年8月17日)	状況 ・週5日 変わりなし ・訓練内容：事業所のイベント（夏祭り）にも参加 ・健康状態：変わりなし 本人の発言 ・（面接練習）「少しは出来るようになりました」「電話対応は難しいです」「自己PRもあります」 支援員の発言 ・利用者の中で話せる人が出来ている
支援状況 4カ月目 (2023年9月21日)	状況 ・週5日 寝坊で2日遅刻 ・訓練内容：面接練習がメイン ・健康状態：変わりなし 本人の発言 ・（面接練習）「覚えられないことがあります。紙を見てしてます。」 ・（疲れたときのサイン）「イライラすることもあります。」 支援員の発言 ・いま職種を広げていっている最中で、”仕事とは何？”となっている。来月オンライン企業説明会に参加予定
支援状況 6カ月目 (2023年11月15日)	状況 ・週5日 変わりなし ・訓練内容：報告・連絡・相談の練習 コミュニケーションの練習 ・健康状態：夜、いつもの時間に眠れないことがある 本人の発言 ・（会社説明会）「説明が難しかったです。緊張しました」 ・「電話は何をどう話すかが難しいです」
支援状況 8カ月目 (2024年1月17日)	※支援員同席 状況 ・週5日 変わりなし ・訓練内容：文章作成（情報処理検定3級受験） ・健康状態：変わりなし 本人の発言 ・（頑張ったこと）報告・連絡・相談の練習をした ・（希望職種）大学で勉強したことをやりたい 支援員の発言 ・大学は休むことなく通ったが、友達付き合いはなかった様子 ・2月認定調査を受け、障害福祉サービス移行後は仕事選びからスタートする予定
終了面談 9カ月目 (2024年2月22日)	※支援員同席 ・2月13日障害福祉サービス受給者証取得により、障害福祉サービスへ移行し、同事業所にて支援継続 本人の発言 ・「コミュニケーションは出来ています」「面接の練習は出来ています」 支援員の発言 ・大学教授からは「表情がしっかり出てきた、挨拶もできている」と言われている

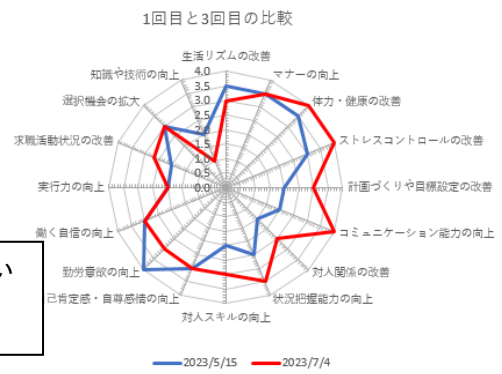
K P S ツールを活用した利用者自己評価結果（GN-25）

2023年5月末

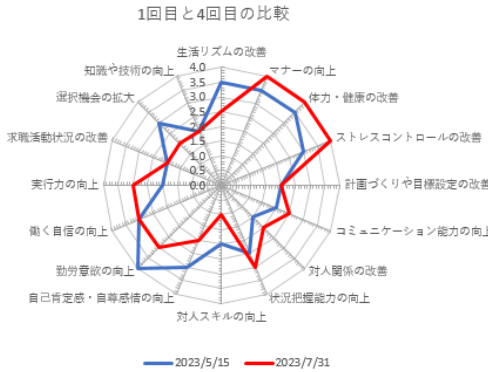


- ・ 数値が大きいほど評価が高い
- ・ 青が初回アンケート結果
- ・ 赤が月末のアンケート結果

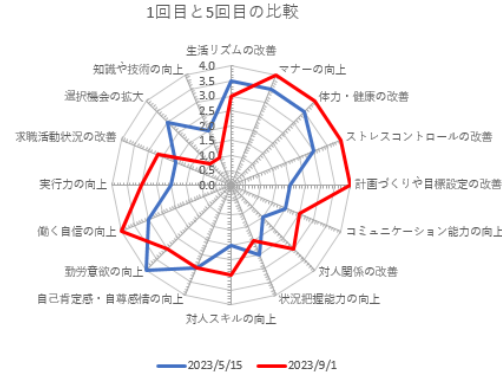
2023年6月末



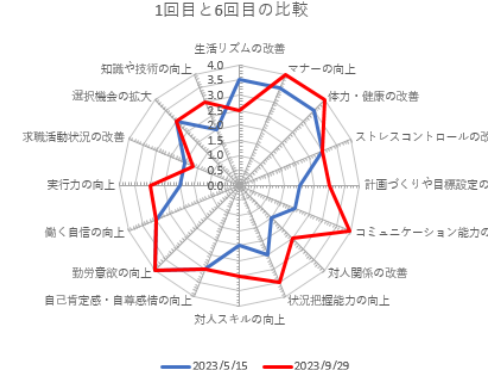
2023年7月末



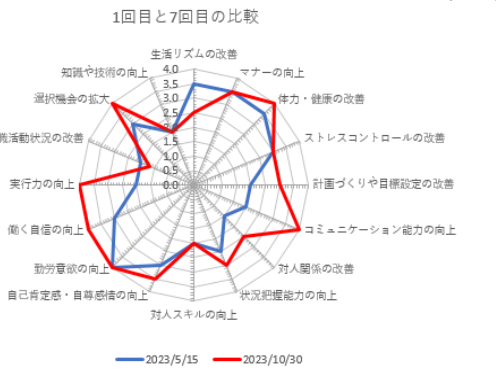
2023年8月末



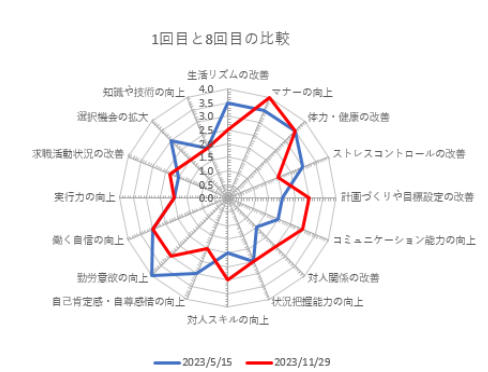
2023年9月末



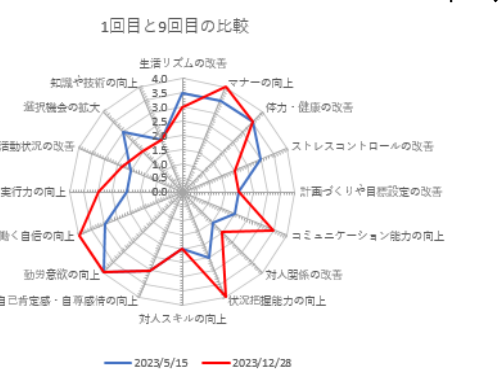
2023年10月末



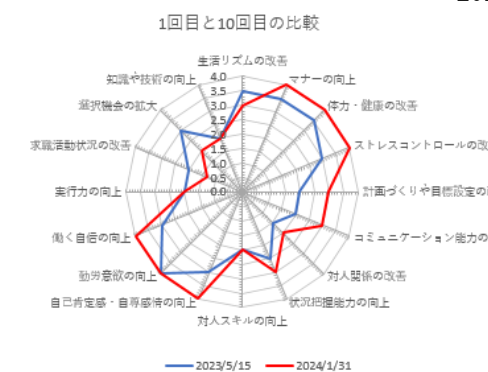
2023年11月末



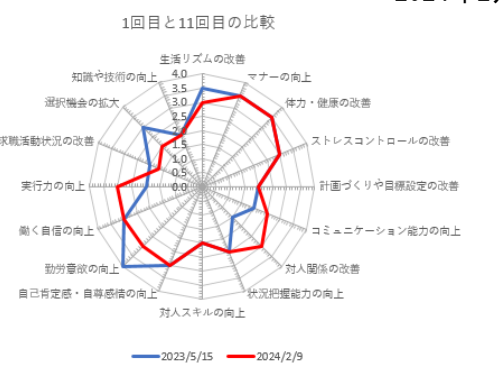
2023年12月末



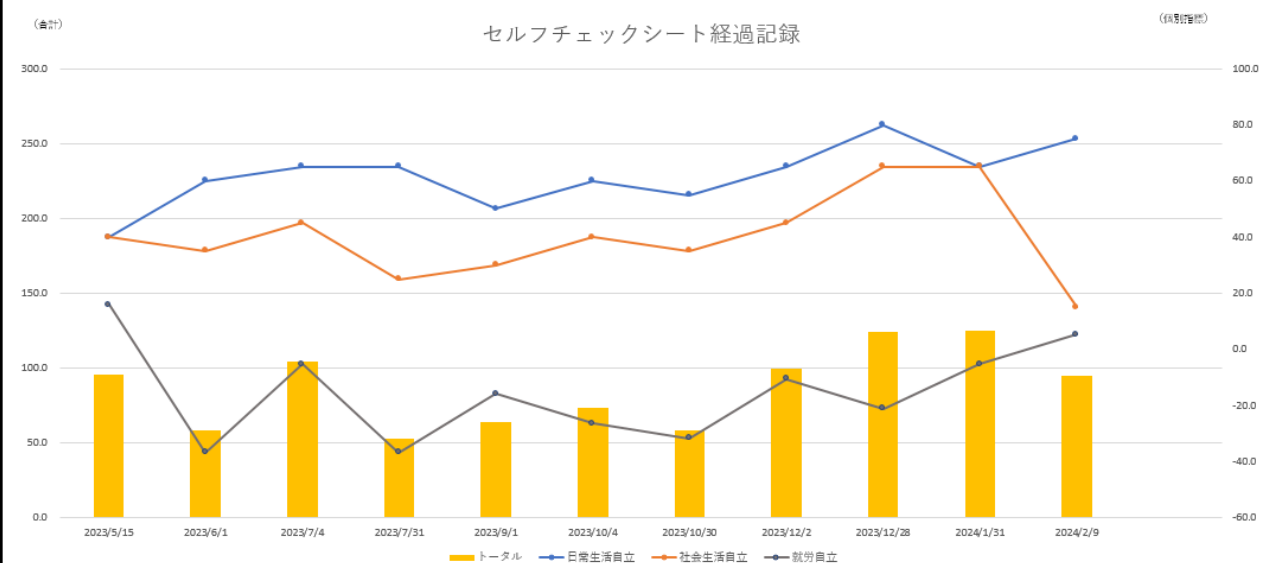
2024年1月末



2024年2月末



K P S ツールを活用した利用者自己評価結果 (TS-59)



Q O L を活用した生活水準の推移



事業アドバイザーのコメント

<R5年度>

就労系障害福祉サービスへと移行した事例である。身体領域と環境領域のQ O Lが向上している。支援を利用することで就労準備性が高まっていることが窺える。

事例 15

地 区	北九州地区	支援機関名	ファインズチャレンジド
性 別	女	年 齢	40代
紹介機関等	訓練等実施事業所		
支援開始年月日	2023/06/22～2024/3/15 障害福祉サービスへ移行		
就労困難要因	その他の困難要因		
学 歴	大学在学中		
就労経験	その他一般就労の経験あり（パート・アルバイトなど）		
無業期間(年)	0年	通算勤務年数(年)	20年
具体的な職歴 就労経験(備考)	平成13年にヘルパー資格取得 訪問介護（登録ヘルパー）		

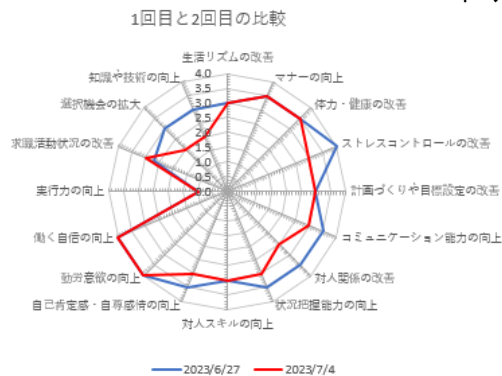
困っていたこと	・頼まれると断れない ・休めなくて精神的につらくなるまで働いて辞めてしまうパターン ・10年前の骨折で腕が上がらない ・何の仕事が出来るか分からない
課 題	・家庭環境 ・雇用保険（失業給付）期間切れによる焦り ・定期的な医療機関受診
支援内容・詳細	・グループ活動によるコミュニケーション能力の強化 ・個別活動での面接練習、軽作業施設外実習 ・自分にあった働き方や行いたい仕事・できる仕事を一緒に探す
事業所での活動に期待していること	・自信をつけたい ・生活習慣を整えたい ・働く勘を取り戻したい ・職場（企業）実習をしたい
支援状況 1カ月目 (2023年7月27日)	状況 ・週5日 10:00～15:00 ・訓練内容：軽作業（袋詰め）、履歴書作成、企業体験 ・健康状態：体力的な問題はないが、精神症状を自覚している 本人の発言 ・考えることがあると不安になるので、集中できるものがあったら楽になった 支援員の発言 ・安定した通所ができています。今後も企業体験（工場）を増やしていきたい
支援状況 2カ月目 (2023年8月31日)	状況 ・週5日 変わりなし ・訓練内容：施設外実習（クリーニング畳み、シーツ折り、シール貼り等） ・健康状態：コロナ感染や熱中症、精神症状も重なり不調 本人の発言 ・早く就職したいと思っていたが、気持ち的に不安定なところがあるので、しばらく訓練を続けていこうと思う ・手先を使った作業が好き 支援員の発言 ・事業所内での学習や発表は苦手 ・実習先の求人（クリーニング畳み）はあるが、フルタイムなので体力が心配

支援状況 3カ月目 (2023年9月21日)	状況 ・週5日 変わりなし ・訓練内容：変わりなし ・健康状態：回復傾向 本人の発言 ・休憩が苦手 ・やっぱり人との関りが難しいと思ったので、一般就職は厳しいと思った 支援員の発言 ・やりたい仕事が固まり方向性（障害者手帳取得後、障害者雇用で働く）がみえてきた
支援状況 5カ月目 (2023年11月21日)	状況 ・通所日数や作業内容に変わりなし ・健康状態：家庭要因もあり精神症状の波が大きい 本人の発言 ・一般就職は怖さがあるので障害者雇用枠でいきたい ・焦りは少しある 支援員の発言 ・障害者手帳や自立支援医療手続きのことでかわされるため、受容にはもう少し時間がかかると思われる
支援状況 7カ月目 (2024年1月17日)	状況 ・通所日数や作業内容に変わりなし ・訓練内容：施設外実習（チラシ折りとポスティングが増えた） ・健康状態：復調してきている 本人の発言 ・人づきあいが苦手だったが、話せるようになり気分的に軽くなった ・精神的に不安定になる時があるので、就職のときは企業に知っておいてもらった方がよいと思う 支援員の発言 ・落ち着いてきたので障害者手帳の申請をする予定
利用終了 9カ月目 (2024年3月15日)	・事業所より、3月18日障害福祉サービス受給者証取得により障害福祉サービスに移行したとの連絡を受け、WD事業終了 ・今後は、引き続き同事業所にて就労移行支援を受け、就職活動を行う

K P S ツールを活用した利用者自己評価結果（GN-25）

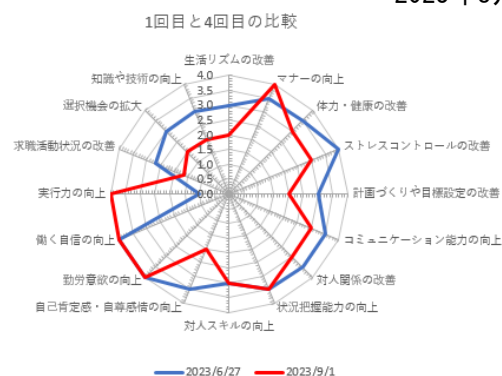
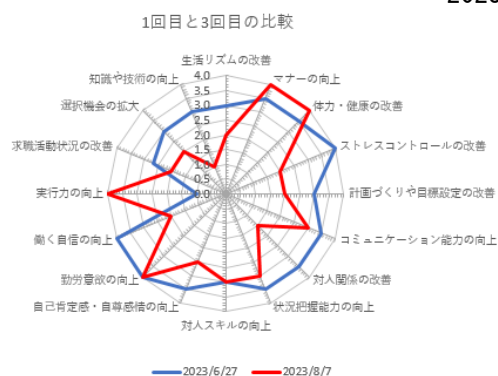
2023年6月末

- ・数値が大きいほど評価が高い
- ・青が初回アンケート結果
- ・赤が月末のアンケート結果



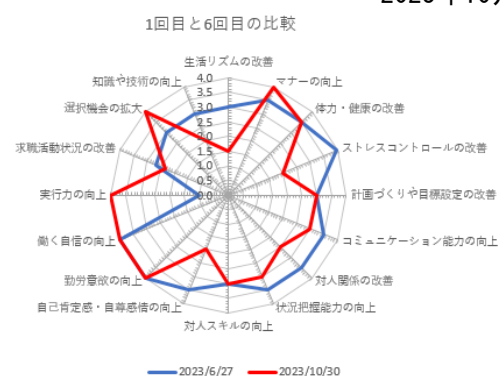
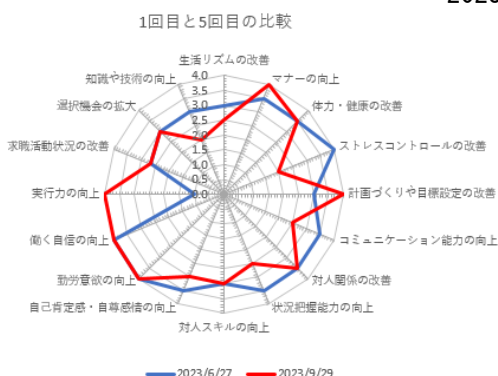
2023年7月末

2023年8月末



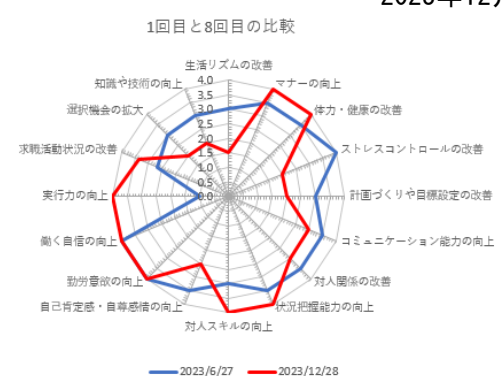
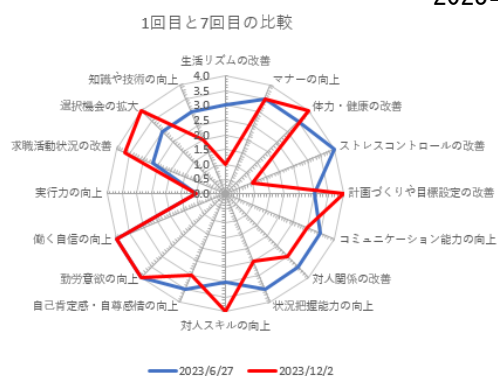
2023年9月末

2023年10月末



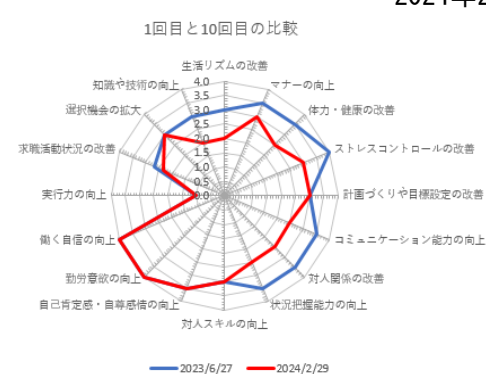
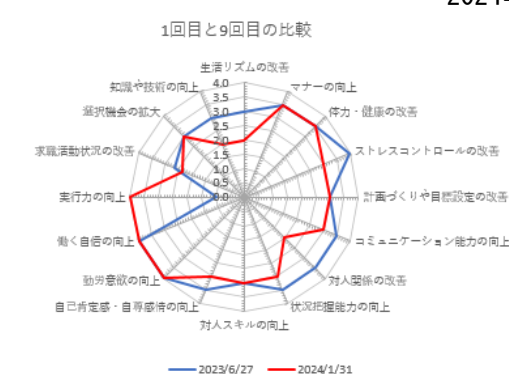
2023年11月末

2023年12月末

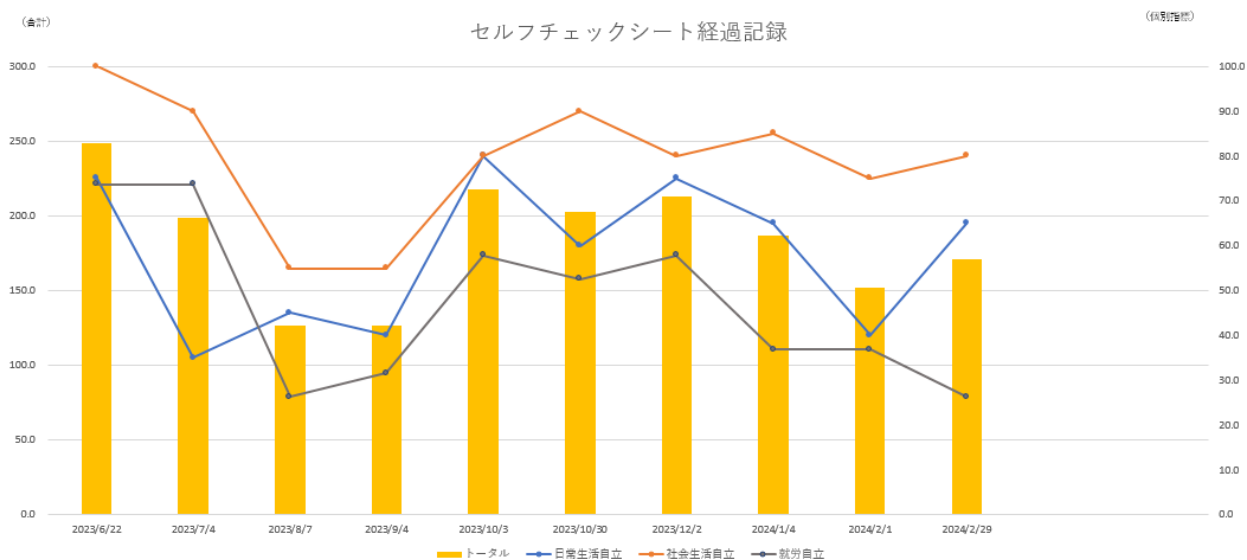


2024年1月末

2024年2月末



K P S ツールを活用した利用者自己評価結果 (TS-59)



Q O L を活用した生活水準の推移



事業アドバイザーのコメント

<R5年度>

支援状況報告より、支援者の丁寧な関わりが、本人の障害受容を支えたことが窺える。QOL評価より、今後も心理領域の支援が必要であると言える。なお、近いうちに福祉サービスへの移行が想定される事例だと思われる。

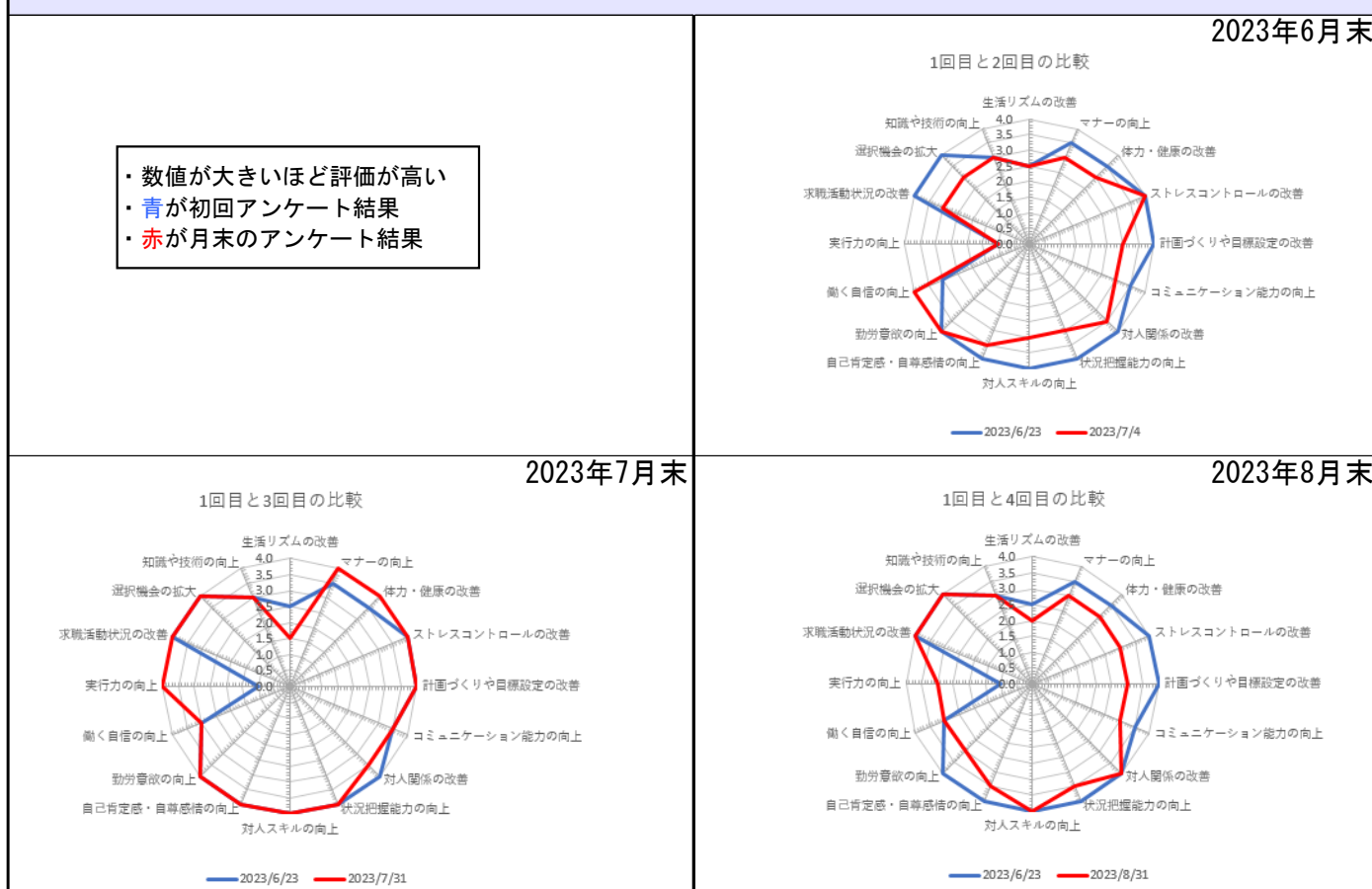
事例 16

地 区	北九州地区	支援機関名	ファインズチャレンジド
性 別	男	年 齢	20代
紹介機関等	大学		
支援開始年月日	2023年6月23日～2024年2月29日 就職		
就労困難要因	その他の困難要因		
学 歴	大学在学中		
就労経験	その他一般就労の経験あり（パート・アルバイトなど）		
無業期間(年)	0年	通算勤務年数(年)	3年
具体的な職歴 就労経験(備考)	回転寿司の裏方（アルバイト）		

困っていたこと	大学4年で就職活動をしているが面接がうまくいかない 面接で人間性や専門性のことを聞かれる 大学卒業までに就職したい
課 題	・ 焦り ・ 面接時の過緊張（吃音） ・ 訓練の必要性をあまりない感じていない
支援内容・詳細	・ 面接練習、履歴書作成 ・ コミュニケーション能力の強化 ・ 就職活動の相談、助言 ・ 面談
事業所での活動に期待していること	・ 対人スキルを身につけたい ・ 職場（企業）実習をしたい ・ 職業訓練プログラムを受けたい
支援状況 1カ月目 (2023年7月27日)	状況 ・ 週1～2日 ・ 訓練内容：面接 履歴書作成等の就職活動 ・ 健康状態：特変なし 本人の発言 ・ 良い求人がなくなっていくので、早く内定を決めたい 支援員の発言 ・ 面接練習で吃音が随分よかった ・ 周りが内定決をもらっていつているので焦りがある
支援状況 2カ月目 (2023年8月31日)	状況 ・ 週1～2日 通所日数変更なし ・ 2社応募し、1社二次面接（リモート）予定 本人の発言 ・ 就職に備えて車の免許をとりたと思っている 支援員の発言 ・ 事業所で利用者と接することはなく、利用者と自分とは違う意識があるところが気になる

支援状況 4カ月目 (2023年10月4日)	状況 ・9月13日人材派遣会社に就職内定 ・入社時研修の練習のため、卒業まで継続利用予定 ・健康状態：変わりなし 本人の発言 ・メーカー勤務が良かったのであんまり満足はしていないが、実績を積んで希望の就職ができたかと思っている
支援状況 5カ月目 (2023年11月15日)	状況 ・週5日 午後のみ ・訓練内容：会社での業務を想定した電話の対応やメールの書き方 ・健康状態：変わりなし 本人の発言 ・メールは難しい ・ゆっくり話すようにスタッフから言われている
終了面談 8カ月目 (2024年2月22日)	【就職】 ・2024年4月より人材派遣会社のプログラマーとして勤務 正社員 状況 ・9月内定以降は4月の入社にむけて2月末まで訓練を継続。ビジネスマナーやコミュニケーション訓練を主とし実施 本人の発言 ・大学との両立、スケジュール管理が大変だったが自信がついた

K P S ツールを活用した利用者自己評価結果 (GN-25)

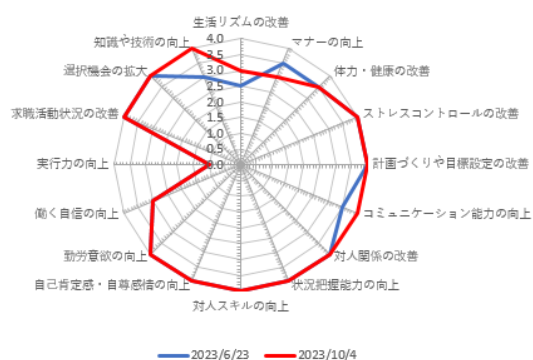


K P S ツールを活用した利用者自己評価結果（GN-25）

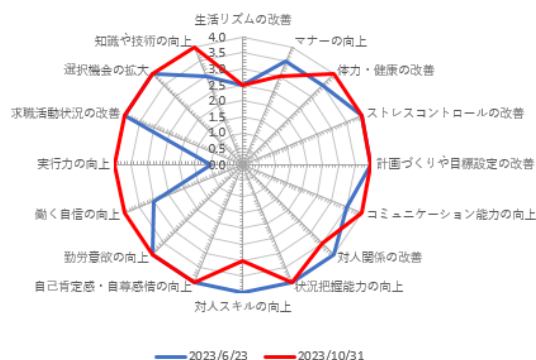
2023年9月末

2023年10月末

1回目と5回目の比較



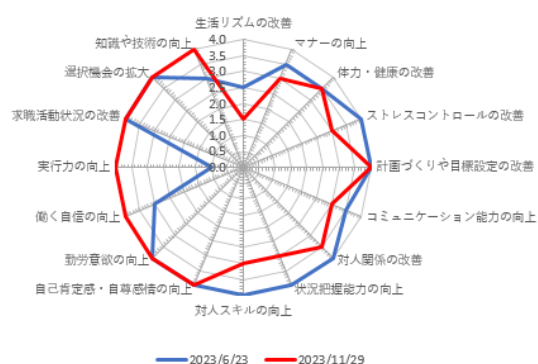
1回目と6回目の比較



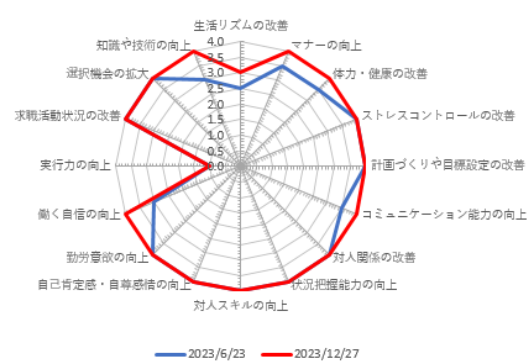
2023年11月末

2023年12月末

1回目と7回目の比較



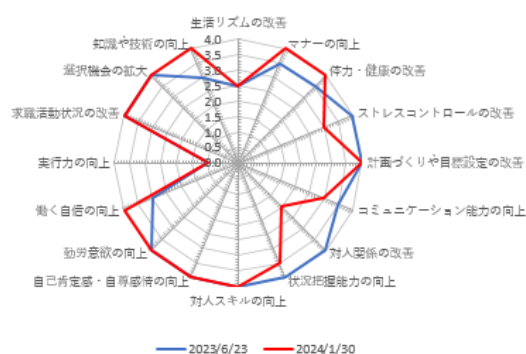
1回目と8回目の比較



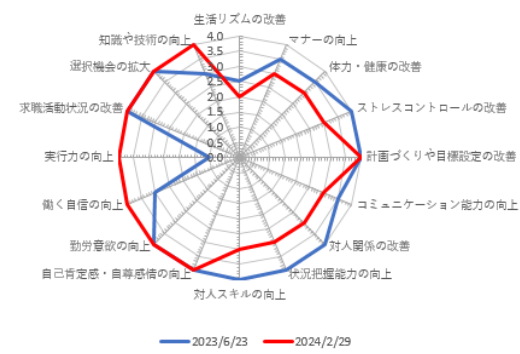
2024年1月末

2024年2月末

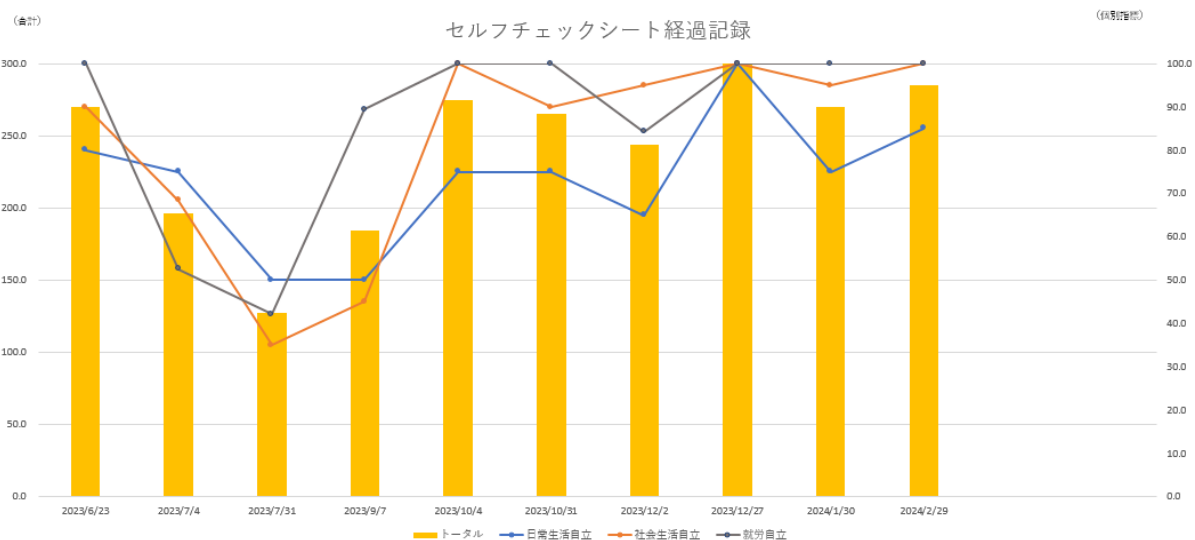
1回目と9回目の比較



1回目と10回目の比較



K P S ツールを活用した利用者自己評価結果（TS-59）



QOLを活用した生活水準の推移



事業アドバイザーのコメント

<R5年度>

利用開始時より、全体としてQOLは高い水準にあったが、短期間の利用後にも維持されている。大学生であることから、学内のキャリア支援部署やハローワーク等の利用ではなく、WD事業の利用が妥当であると判断した理由を整理する必要がある。

事例 17

地 区	筑後地区	支援機関名	たんぽぽ
性 別	男	年 齢	30代
紹介機関等	大牟田市役所福祉課		
支援開始年月日	2023年7月10日～2023年12月29日 就職		
就労困難要因	その他の困難要因		
学 歴	高校卒		
就労経験	その他一般就労の経験あり（パート・アルバイトなど）		
無業期間(年)	0年	通算勤務年数(年)	15年
具体的な職歴 就労経験(備考)	新聞配達（15年）		

困っていたこと	・ 自信がなく、自己表現がうまくできない ・ どんな仕事があっているかわからない
課 題	・ 自分の思いを整理して伝えられない ・ 就労に必要な体力や知識・技術が身につけていない
支援内容・詳細	・ 報連相を通してコミュニケーション練習 ・ 利用者との交流の場を設ける ・ 相談しやすい環境作り ・ 作業訓練・学習会・職場実習を通して自分にあった職種を見つける
事業所での活動に期待していること	・ 自信をつけたい ・ 生活習慣を変えたい ・ 対人スキルを身につけたい
支援状況 1カ月目 (2023年8月28日)	状況 ・ 訓練日数：週5日 7月13：00～16:00 8月 9：00～16：00 ・ 訓練内容：部品の配線コード取付け、医療用カットメンジェルぬり、チラシセット、ハンダづけ等 ・ 健康状態：7月末で新聞配達のバイトを辞め、生活サイクルが変わったが落ち着いてきた 本人の発言 ・ 作業はミスがないように気を付けている ・ 午前中と午後違う作業をするので、集中力を保つことが難しい ・ 連続で一日働くことに慣れていないので、体力が不安 支援員の発言 ・ 一通りの作業を経験してもらい、大きなミスもなく、問題なくこなすことができる
支援状況 2カ月目 (2023年9月28日)	状況 ・ 訓練日数：週5日 9：00～16：00 ・ 訓練内容：変わりなし ・ 健康状態：睡眠のリズムが整ってきた 本人の発言 ・ 細かな作業は割と好きで、確認作業に気を付けている ・ 作業は割とやれていると思う 来月より企業見学、実習の予定

支援状況
4カ月目
(2023年11月22日)

状況

- ・週5日 9:00~16:00 変わりなし
- ・訓練内容: 軽作業 作業を通して挨拶や報連相の練習 企業実習
- ・健康状態: 寝る時間や起きる時間は安定してきた

本人の発言

- ・前のバイトの時は遅刻をしていたので、今は規則を守ろうと気を付けている
- ・工場での仕事であれば、大体の作業はできると思う

支援員の発言

- ・工場系の仕事を希望しており、家族にも了承を得ている

終了面談
5カ月目
(2023年12月27日)

【就職】

- ・2024年1月4日から医薬品卸売事業の企業にて就労
- ・パート職 週5日 7時間勤務

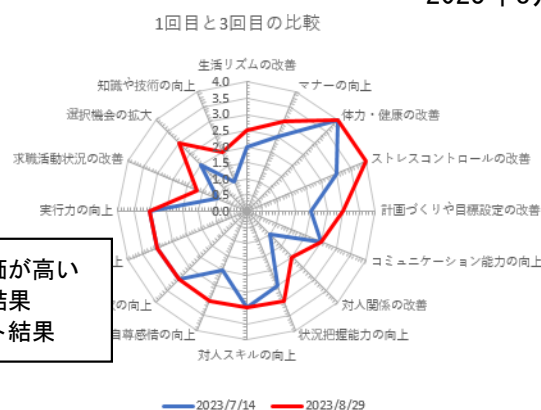
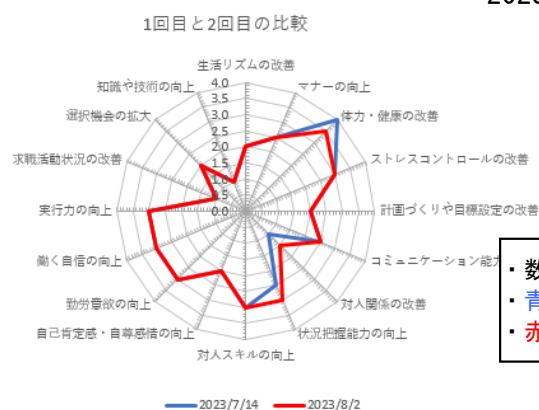
本人の発言

- (就職を決めた理由)
- ・人との関わりが少なく、ひとつの作業なので出来そうと思った
 - ・家のこともあり、お金の入用もあった
- (WDを利用した感想)
- ・違う仕事を目指すとき、実習体験をして仕事内容を知れたのが良かった
 - ・自分にとって新しい動きだった
- (不安なこと)
- ・他人との関わりは仕事上ならある程度は出来るかもしれないが、プライベートにおいて失敗したらどうしようと思う

K P S ツールを活用した利用者自己評価結果 (GN-25)

2023年7月末

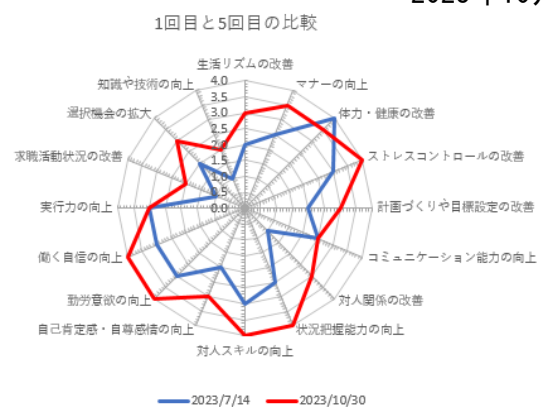
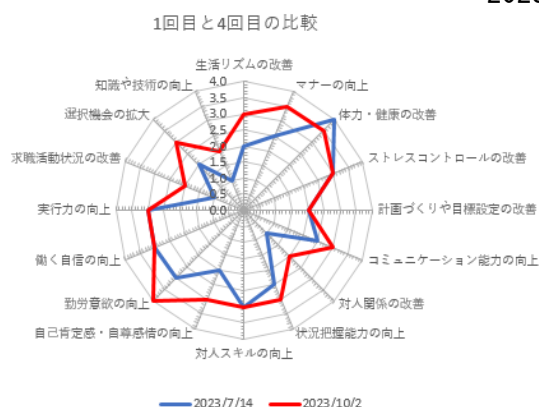
2023年8月末



- ・数値が大きいほど評価が高い
- ・青が初回アンケート結果
- ・赤が月末のアンケート結果

2023年9月末

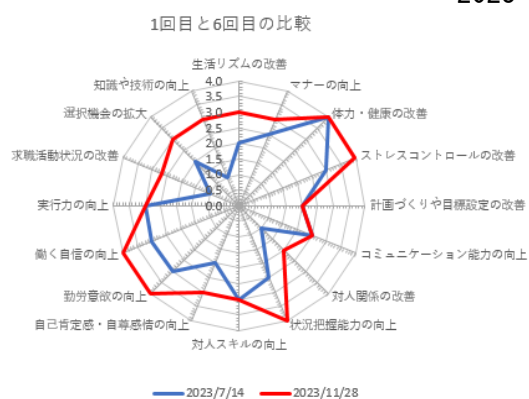
2023年10月末



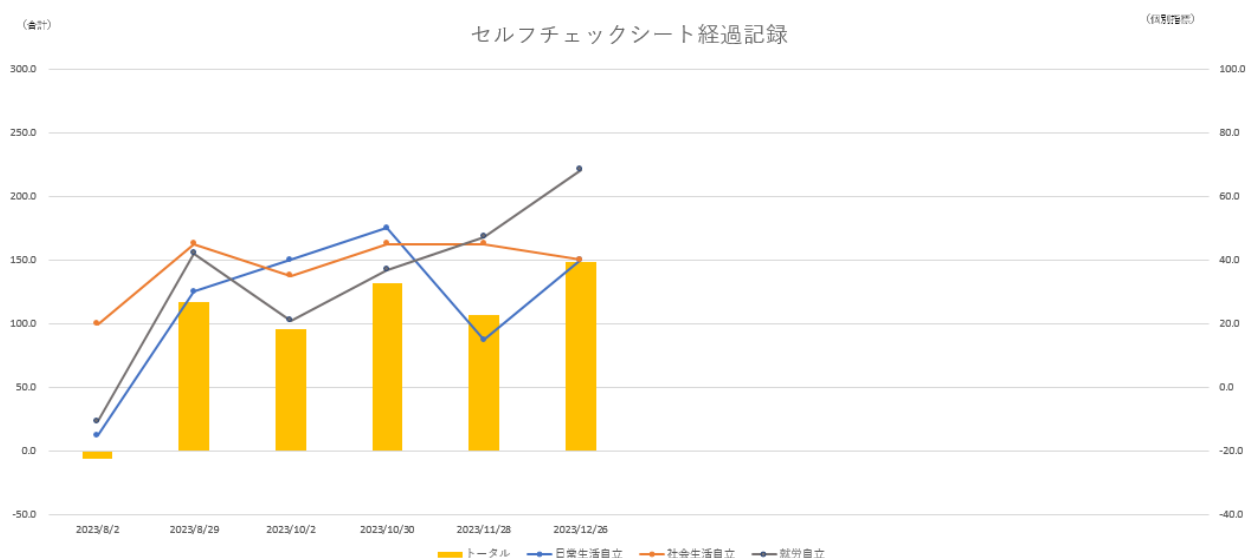
K P S ツールを活用した利用者自己評価結果 (GN-25)

2023年11月末

2023年12月末



K P S ツールを活用した利用者自己評価結果 (TS-59)



Q O L を活用した生活水準の推移



事業アドバイザーのコメント

<R5年度>

Q O L 評価より、身体的領域の上昇が認められる。支援状況と合わせて考察すると、定期的な通所及び活動の場所ができたことが一因であると考えられる。

事例 20

地 区	福岡地区	支援機関名	キャリアサポート福岡
性 別	男	年 齢	10代
紹介機関等	ハローワーク福岡中央		
支援開始年月日	2023/7/27 ~ 2024/5/31 事業利用終了		
就労困難要因	ニート・フリーター		
学 歴	高校卒		
就労経験	就労経験なし		
無業期間(年)	0年	通算勤務年数(年)	0年
具体的な職歴 就労経験(備考)	なし		

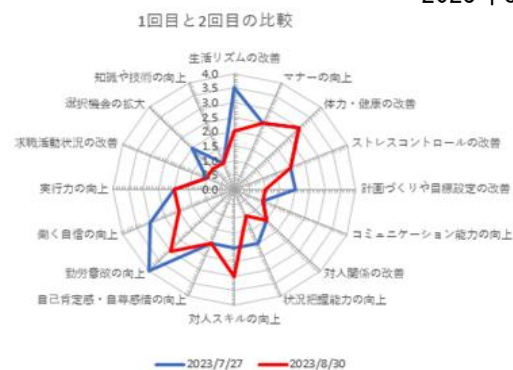
困っていたこと	・人前でうまく声が出ない ・就職する自信がない
課 題	・言語コミュニケーション ・緊張が強い
支援内容・詳細	・面談等でどのくらいの負担があるか確認する ・報告や質問等のコミュニケーション練習 ・振り返り面談
事業所での活動に期待していること	・対人スキルを身につけたい
支援状況 1カ月目 (2023年8月30日)	状況 ・週2～5日 11:00～14:30 ・訓練内容: 発送仕分け 伝票整理 ・健康状態: 睡眠は取れているが、きつい時がある 本人の状況(筆談にて面談実施) ・(訓練で頑張っていること) なにも頑張っていないです 支援員の発言 ・作業は丁寧で速い ・理解力が高い
支援状況 2カ月目 (2023年9月27日)	状況 ・週5日 10:30～15:00 ・訓練内容: 書類整理・文章入力 ・健康状態: 不調なし 本人の状況(筆談にて面談実施) ・通所はまだ慣れていない 支援員の発言 ・体調に波はあるが、何が嫌なのか傾向ははっきりしている ・連絡帳にて意見を言ったり、自身の思いを伝えてくれることが増えた

支援状況 4カ月目 (2023年11月29日)	状況 ・週3～4日 ・訓練内容：伝票集計、アイロンビーズ他 ・健康状態：時々眠れない時がある 本人の状況（筆談にて面談実施） ・（変わったこと・気づいたこと）分からない 支援員の発言 ・急な欠席はないが、入口に人が多いと入れず、入室までに時間がかかる（長い時で2時間）
支援状況 6カ月目 (2024年2月6日)	※担当者会議開催（ハローワーク担当者、支援員、本人、マネジメントセンター） ・週3～4日 ・訓練内容：PC入力、アイロンビーズ、レゴブロック組立て他 ・健康状態：12月より医療機関受診 服薬により状態改善傾向 支援員の発言 ・精神的なストレスが身体化していて、訓練で頑張ってしまうことが逆効果になっているのではないかと ・週末は家族と出かけたり、好きなことをしている ・クリニックは2週間に1回の受診で、薬の調整をしたと伺った 今後について ・主治医の意見等も共有しながら、色んな選択肢を提供できるようにしていく
支援状況 9カ月目 (2024年4月25日)	※利用者不在で支援員に近況確認 状況 ・4月から事業所には来るものの、2時間かけて入り口まで来るが入室できずに帰る ・通院は継続し、薬の調整をしているため体調の波がある ・休みの時は一人で旅行したり、小学校時代の友達の家に泊まりに行ったりしている 本人の発言 ・本人よりWDでの訓練を中止したいとのメールが届く 支援員の発言 ・3月までに就職を目標としスタートしたが、通所したことで自分でも就職は難しいとわかり、もう1年頑張れるかという葛藤があっているのではないかと ・ハローワーク担当者と一緒に面談を行う予定
利用終了 11カ月目 (2024年5月31日)	支援員からの連絡 ・6/3利用者から連絡があり、訓練終了の意思表示があり、終了確定 ・医療機関に繋がり、一時は緊張も少し改善傾向であったが、4月に入り、事業所の入り口までは来れても中に入れず帰ってしまうようになった ・クリニックは一人で受診しており、医師の診察時も全く話せないため、本人の状態が分からず、薬の調整ができていないとのこと ・体調が悪化した理由として、WDが終わる3月までに就職をすると決めていたが、自分が思った以上に就職できない現実を実感したのではないかと ※5月は通所がなかったが、訓練事業所からハローワーク担当者へ連絡を取るなど支援をして頂いたため、退所日は5月31日とする 今後はハローワーク担当者に繋ぎ、定期面談を継続

K P S ツールを活用した利用者自己評価結果 (GN-25)

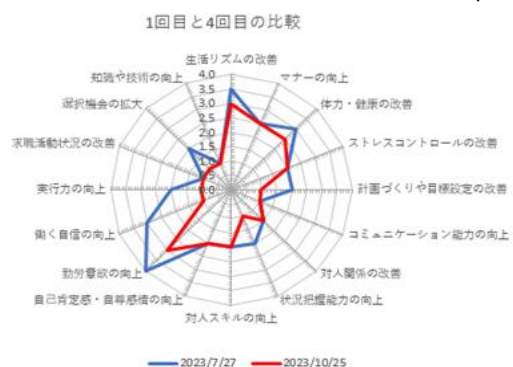
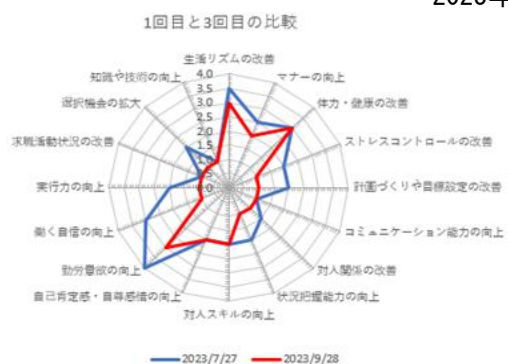
2023年8月末

- ・ 数値が大きいほど評価が高い
- ・ 青が初回アンケート結果
- ・ 赤が月末のアンケート結果



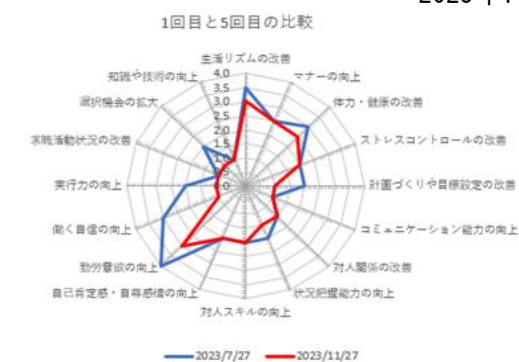
2023年9月末

2023年10月末



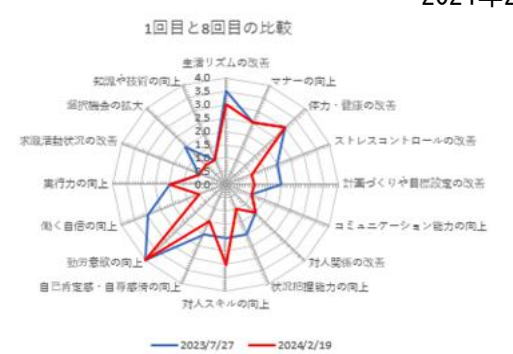
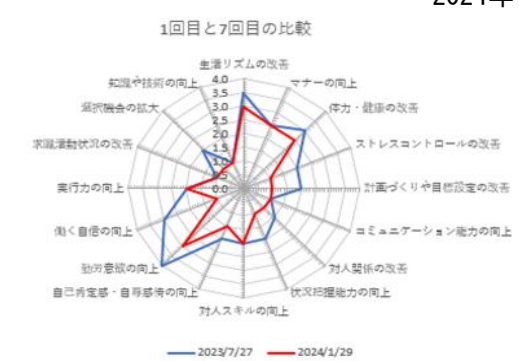
2023年11月末

2023年12月末



2024年1月末

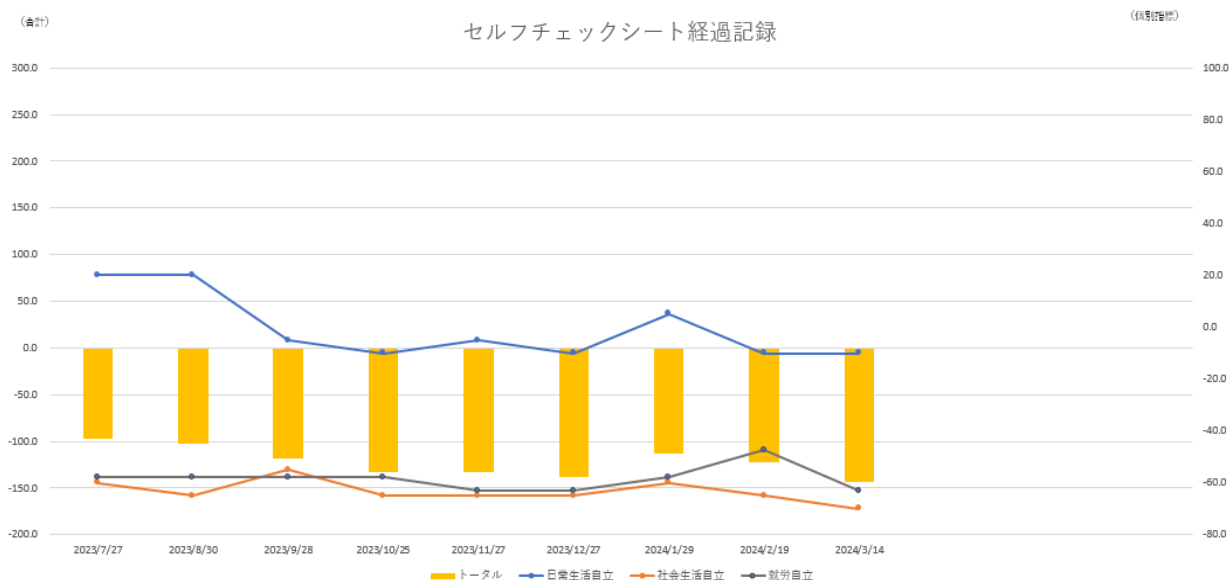
2024年2月末



2024年3月末



K P S ツールを活用した利用者自己評価結果 (TS-59)



Q O L を活用した生活水準の推移



事業アドバイザーのコメント

<R5年度>

支援機関の利用が社会的領域のQOL向上に寄与していると思われる。ただし、WD事業ではなく福祉サービスの利用が適切であるとも考えられるので、医療機関との連携が肝要である。

<R6年度>

症状の安定に向けた服薬調整を優先する段階だと思われる。(R6年度のデータなし)

事例 2 1

地 区	北九州地区	支援機関名	ウイング中間
性 別	女	年 齢	30代
紹介機関等	福岡県自立相談支援事務所グリーンコープ水巻オフィス		
支援開始年月日	2023/8/1 ～ 2024/3/27 事業利用終了		
就労困難要因	その他の困難要因		
学 歴	短大中退		
就労経験	その他一般就労の経験あり（パート・アルバイトなど）		
無業期間（年）	0年	通算勤務年数（年）	5年
具体的な職歴 就労経験（備考）	派遣での事務職3年 事務職 正社員雇用→パート雇用約1年 営業事務 正社員雇用試用期間1ヵ月 設計事務所事務職 正社員雇用試用期間2ヵ月		
困っていたこと	・ 試用期間中に契約が切れ、働くことができないことが続いたため自信がなくなった ・ 仕事が続かなかったり、就職が決まらない		
課 題	・ 不安の軽減 ・ どんな仕事に向いているを知り、就職する		
支援内容・詳細	・ 体調管理、生活リズムを整える ・ 報告連絡相談による基礎作り ・ 企業実習 ・ 面談		
事業所での活動に期待していること	・ 自信をつけたい ・ 集中力をつけたい ・ 働く勘を取り戻したい ・ 職場（企業）実習をしたい ・ 職業訓練プログラムを受けたい ・ 長く続ける仕事がしたい		
支援状況 1ヵ月目 (2023年9月20日)	状況 ・ 週5日 10:00～15:00 ・ 訓練内容：午前中は施設外実習、午後は事業所内で座学 ・ 健康状態：問題なし 本人の発言 ・ 屋外での作業は不安だったが慣れてきた。身体を使う作業も嫌ではない ・ 毎日実習に行くようになって体力がついた 支援員の発言 ・ 当初はすぐに就職したいと言われていたが、「父親から1ヶ月後には就職できるか？と聞かれて、今は色々体験しているから1ヶ月では出来ないと言いました。」と話されていた		

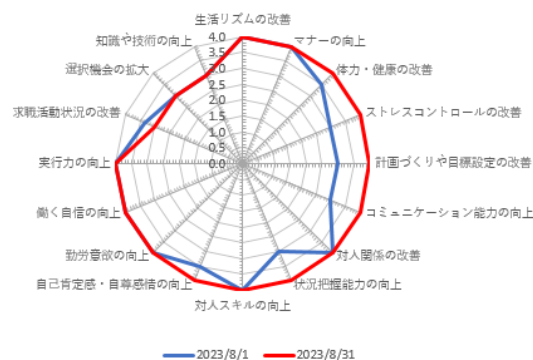
支援状況 3カ月目 (2023年11月2日)	状況 ・通所日数：変わりなし ・訓練内容：施設外実習先3か所 ・体調：自己管理できている 本人の発言 ・（就職）スタッフから何も言っていないので、（自分で）動こうかなと思っている ・仕事を早く見つけたいと思っている 支援員の発言 ・彼女の特性から事務以外がいいと思って求人を提案するが、ご本人はやはり事務がいいと言われる
支援状況 6カ月目 (2023年12月19日)	状況 ・日数：変わりなし ・訓練内容：変わりなし 本人の発言 （郵便局の採用を辞退した理由） ・通勤が遠かった。仕分け業務のイメージだったが、ネット注文とかもあり覚えられないかと思った （求人の優先順位） ・①通勤②仕事内容 事務以外でも探そうと思っている 支援員の発言 ・11月末に郵便局の事務職に採用決定するが、まだ自信がもてないと辞退 ・病院、歯科の受付事務を提案しているが、1月の求人も見てから決めたいと言われている
支援状況 8カ月目 (2024年2月29日)	状況 ・訓練内容：ハローワーク通い 施設外実習 ・健康状態：変わりなし 本人の発言 ・2月に事務職に2件応募した ・細々言われないうちに就職したい 支援員の発言 ・作業系の実習先が多いので、関係プレーが出来ている
終了面談 9カ月目 (2024年3月28日)	※電話にて聞取り 状況 ・紹介機関より連絡があり、ご自身での就職活動を希望され、3月27日付で利用終了 本人の発言 （訓練期間で印象に残ったこと） ・最初は緊張したが、他人との関りができ、イベントにも参加して、ずっと暗い気持ちにならなくて良かった ・気持ちが楽になった

K P S ツールを活用した利用者自己評価結果 (GN-25)

2023年8月末

- ・数値が大きいほど評価が高い
- ・青が初回アンケート結果
- ・赤が月末のアンケート結果

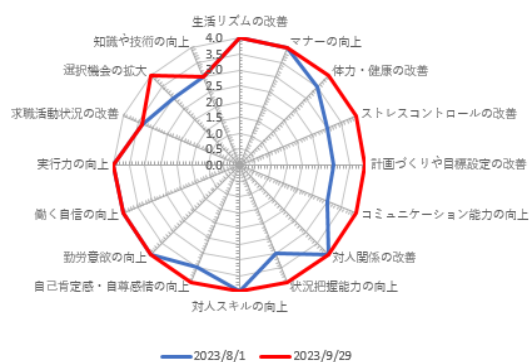
1回目と2回目の比較



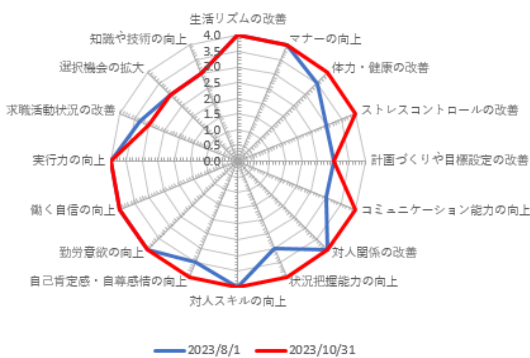
2023年9月末

2023年10月末

1回目と3回目の比較



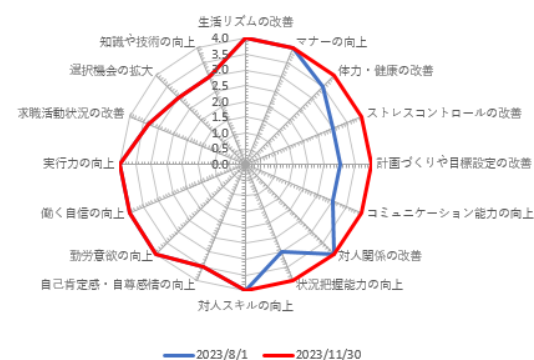
1回目と4回目の比較



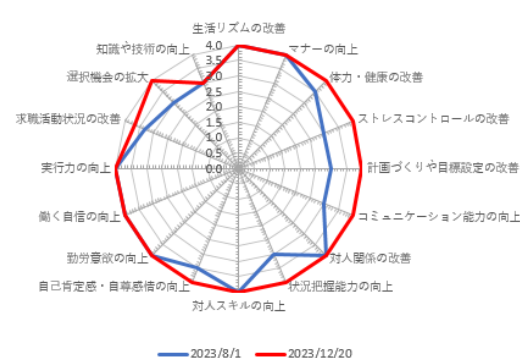
2023年11月末

2023年12月末

1回目と5回目の比較



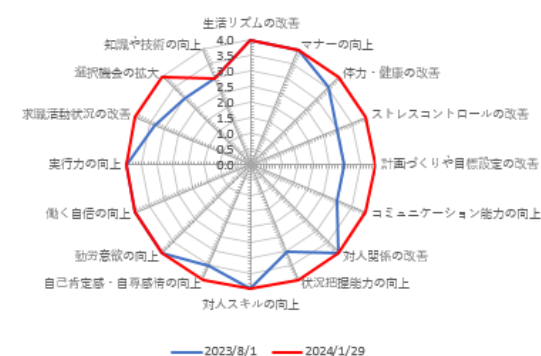
1回目と6回目の比較



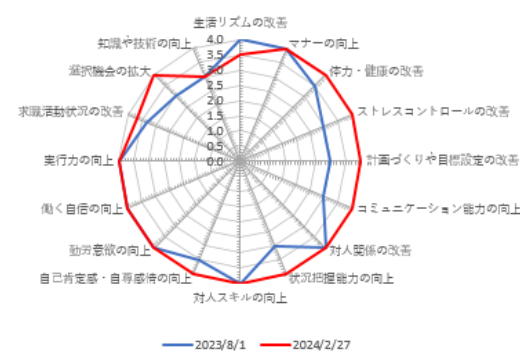
2024年1月末

2024年2月末

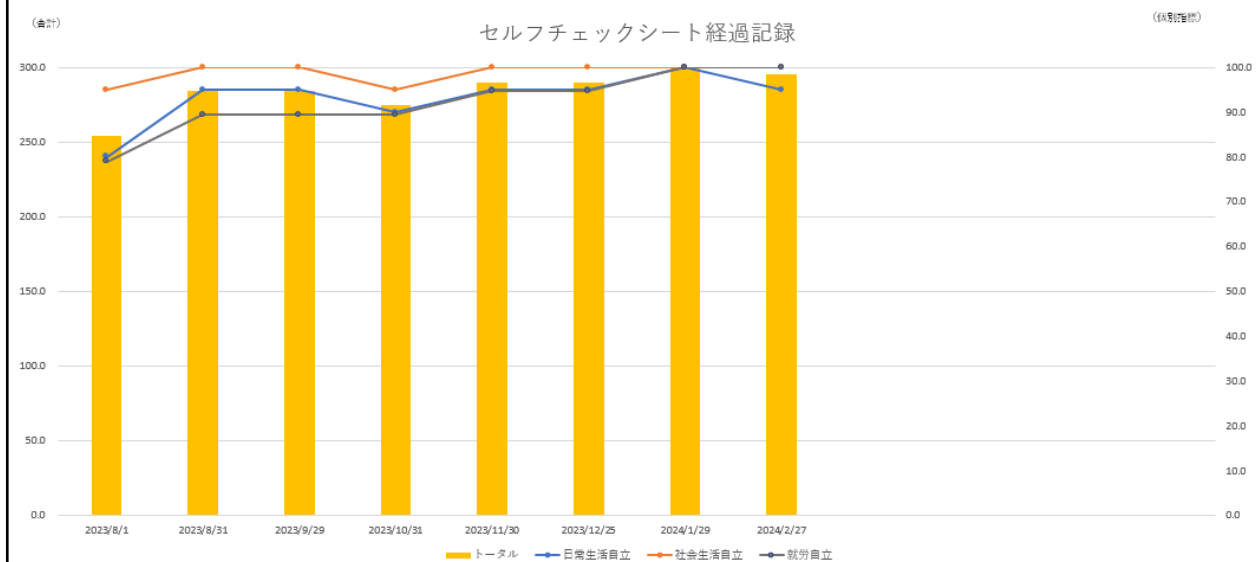
1回目と7回目の比較



1回目と8回目の比較



K P S ツールを活用した利用者自己評価結果 (TS-59)



Q O L を活用した生活水準の推移



事業アドバイザーのコメント

<R5年度>

QOLやKPSの自己評価は総じて高いが、不安感もあり、うまくいかないことがあると容易に崩れる可能性があると思われる。支援状況の報告より、支援員の提案する仕事と、本人の意向に隔たりがあるようである。これは大事な点で、今後本人の自己理解を深めるポイントであると考え。

事例 2 2

地 区	北九州地区	支援機関名	ウイング中間
性 別	男	年 齢	20代
紹介機関等	宗像・遠賀保健福祉環境事務所		
支援開始年月日	2023年8月1日～2023年11月30日 就職		
就労困難要因	生活困窮 ニート・フリーター		
学 歴	高校卒		
就労経験	正社員経験あり		
無業期間(年)	1年	通算勤務年数(年)	3年
具体的な職歴 就労経験(備考)	・ 電設（鉄塔にのぼってケーブル交換、修理等）1年 ・ 精肉店1年 ・ コンビニ（深夜バイト）3ヶ月 （無業期間：7ヵ月）		

困っていたこと	・ 健診で糖尿病Ⅱ型が判明 ・ 悪化して1ヶ月入院後、病気の説明が上手くできず、職場に行きづらくなって退職 ・ 自分でどのように解決していけばよいかわからない
課 題	・ 昼夜のリズムが不安定 ・ 他者とのコミュニケーションを図ることが苦手 ・ 自分に合った職業を見つけたい
支援内容・詳細	・ 体調管理、生活リズムを整える ・ グループワークによるコミュニケーション練習 ・ 企業実習 ・ 面談
事業所での活動に期待していること	・ 自信をつけたい ・ 生活習慣を整えたい ・ 職場（企業）実習をしたい ・ 職業訓練プログラムを受けたい
支援状況 1ヵ月目 (2023年9月19日)	状況 ・ 週5日 10:00～15:00 ・ 午前企業実習、午後は事業所内での軽作業 ・ 健康状態：問題ないが、主治医から食事時間が安定しないため夜勤業務はダメだと言われている 本人の発言 ・ 朝起きれるようになった。手作業の仕事が合っていると思う ・ 糖尿病があるので、屋外より屋内での仕事がいいと思っている 支援員の発言 ・ 障がい者の方を少し下に見ているところがある ・ 糖尿病の薬を飲んでいなかったのに注意した
支援状況 3ヵ月目 (2023年10月)	※10月16日から精密板金加工の企業にて業所で実習を開始したため、終了面談が実施できず ・ 実習は1日6時間、2～3ヶ月の予定 ・ 会社と本人が納得した上で、試用期間を経て本採用の予定

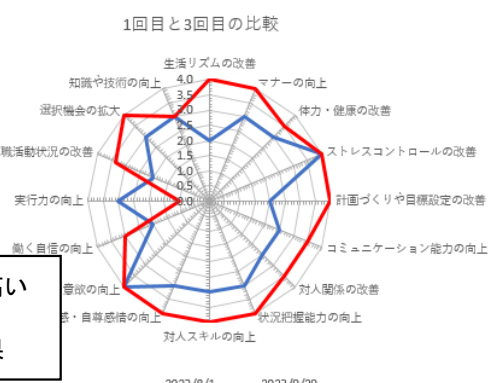
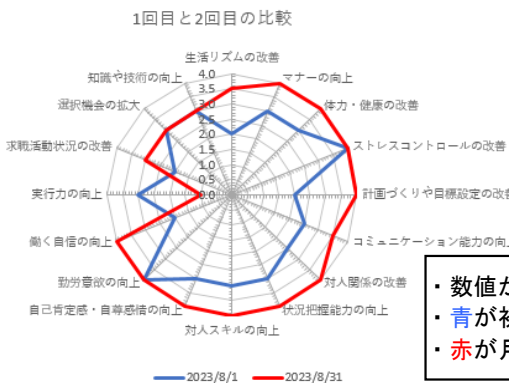
利用終了
4カ月目
(2023年11月30日)

【就職】
・12月1日から精密板金加工の企業にて就労
・パート職員 週5日 8時間

K P S ツールを活用した利用者自己評価結果 (GN-25)

2023年8月末

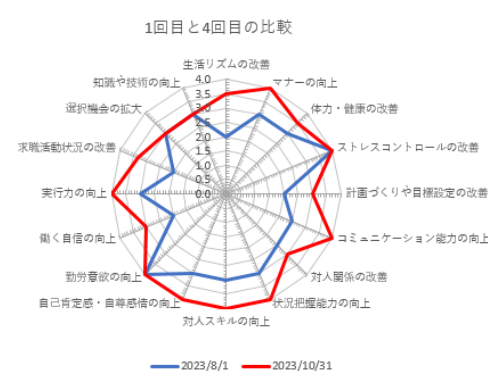
2023年9月末



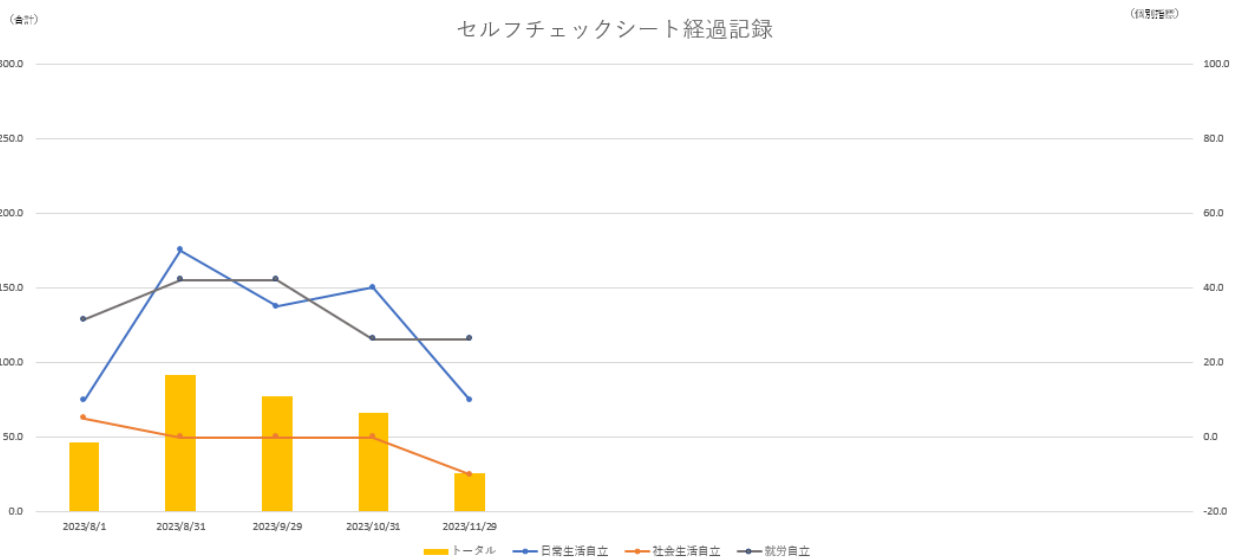
・数値が大きいほど評価が高い
・青が初回アンケート結果
・赤が月末のアンケート結果

2023年10月末

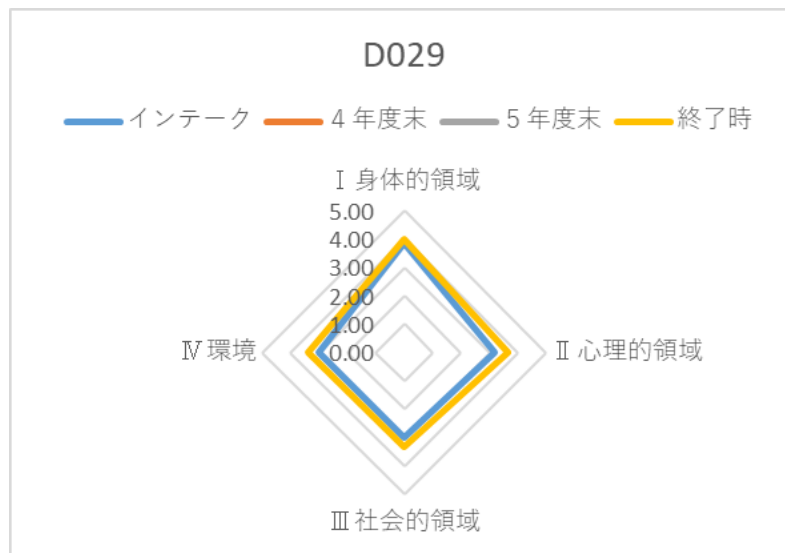
2023年11月末



K P S ツールを活用した利用者自己評価結果 (TS-59)



Q O L を活用した生活水準の推移



事業アドバイザーのコメント

<R5年度>

事業参加時と比べて、全体的にQ O L の上昇が見られた。社会的領域の低さが懸念事項であり、本人の認識として社会的なつながりを維持することの苦手さがあることが推察される。福祉サービスを利用した継続した支援体制の構築が求められる。

事例 2 4

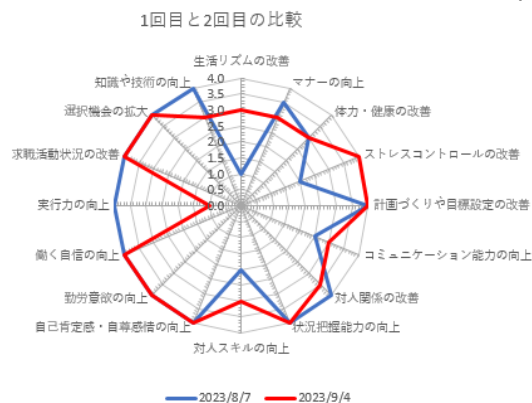
地 区	北九州地区	支援機関名	ファインズチャレンジド
性 別	男	年 齢	20代
紹介機関等	大学		
支援開始年月日	2023年8月7日～2024年2月29日 就職		
就労困難要因	その他の困難要因		
学 歴	大学在学中		
就労経験	その他一般就労の経験あり（パート・アルバイトなど）		
無業期間(年)	0年	通算勤務年数(年)	2年
具体的な職歴 就労経験(備考)	飲食・接客業（ラーメン屋）アルバイト2年		

困っていたこと	緊張が強くなると言葉が出にくくなる。（吃音） 就職活動で面接が不安。
課 題	・ 吃音の緩和 ・ 就職活動
支援内容・詳細	・ 就職にむけての面接練習、コミュニケーション練習 ・ 社会人としてのコミュニケーション能力、マナーの習得 ・ 求人情報のサポート
事業所での活動に期待していること	・ 対人スキルを身につけたい
支援状況 1～3カ月目	※卒論準備や就職活動と重なり日程が合わずに面談実施できず
支援状況 4カ月目 (2023年12月6日)	状況 ・ 週4日 ・ 訓練内容：コミュニケーショントレーニング ・ 健康状態：8～9時間睡眠・食事は不規則 ※工業用ロボット設計の会社のインターンを経て11月28日内定 ※10月に事業所の紹介で吃音専門のクリニックを受診 本人の発言 ・ 病院を紹介してもらったり、訓練も受けさせてもらって、良かったです ・ インターンで会社の業務が把握できた 支援員の発言 ・ 定着支援が必要になるのであれば4月以降の関りを考えないといけない
利用終了 6カ月目 (2024年2月末)	【就職】 ・ 2024年4月1日から電気制御、工業用ロボット設計企業にて就労 ・ 正社員 状況 ・ 11月内定以降は4月の入社にむけて2月末まで訓練を継続。ビジネスマナーやコミュニケーション訓練を主とし実施

K P S ツールを活用した利用者自己評価結果 (GN-25)

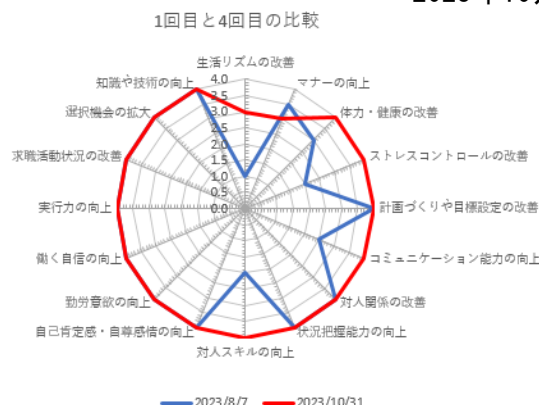
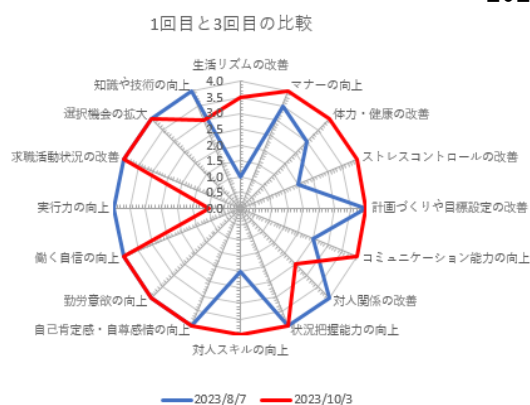
2023年8月末

- ・数値が大きいほど評価が高い
- ・青が初回アンケート結果
- ・赤が月末のアンケート結果



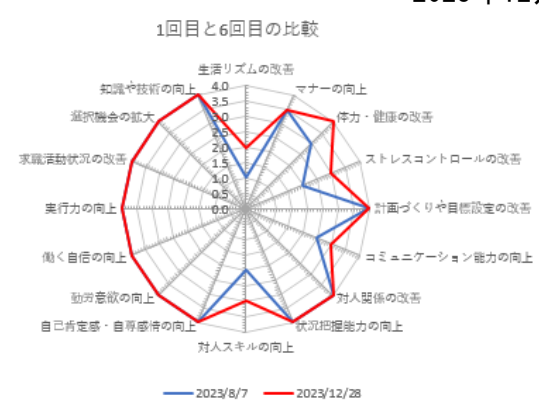
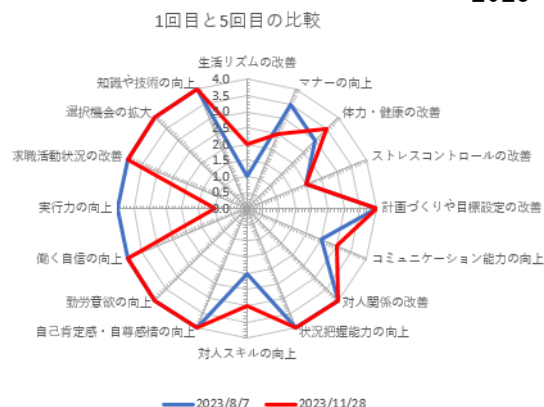
2023年9月末

2023年10月末



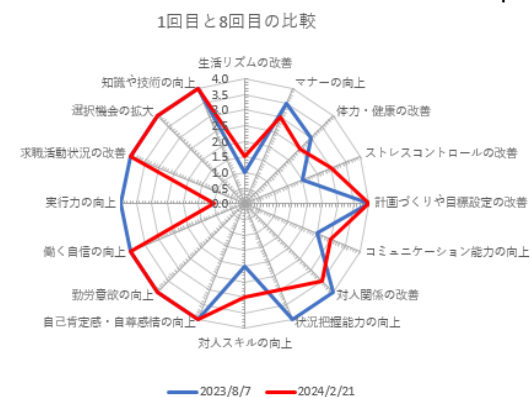
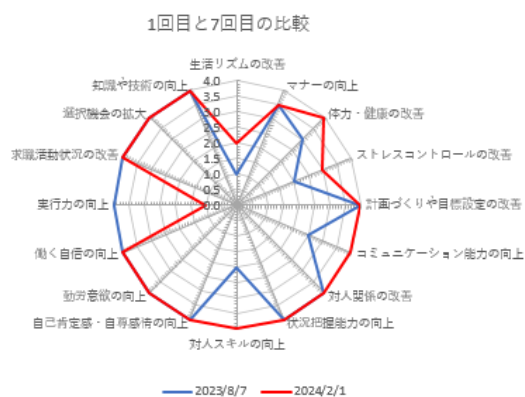
2023年11月末

2023年12月末

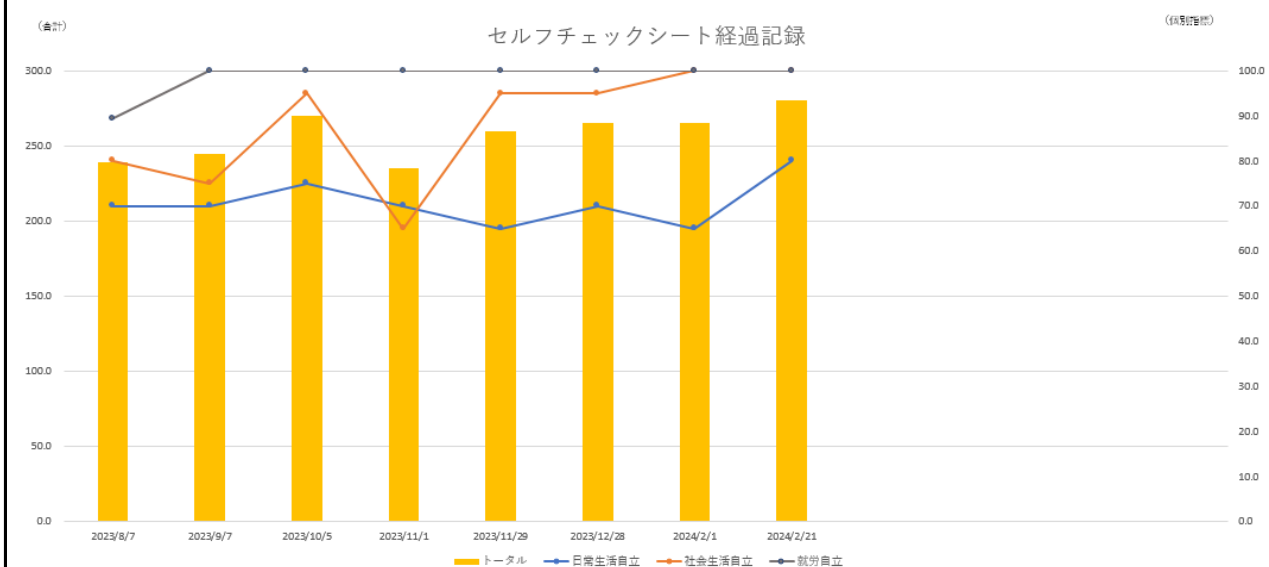


2024年1月末

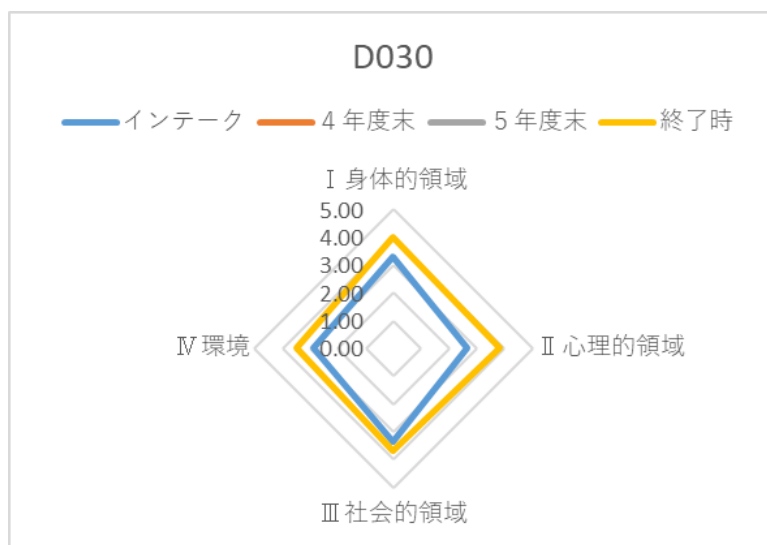
2024年2月末



K P S ツールを活用した利用者自己評価結果 (TS-59)



Q O L を活用した生活水準の推移



事業アドバイザーのコメント

<R5年度>

Q O L 評価について、事業参加時と比べて全体的に上昇した。特に心理的領域の上昇が顕著であり、支援機関での関わりが安心につながった推察される。

事例 2 5

地 区	北九州地区	支援機関名	ウイング中間
性 別	男	年 齢	20代
紹介機関等	筑豊若者サポートステーション		
支援開始年月日	2023年8月17日～2023年12月20日 就職		
就労困難要因	ひきこもり		
学 歴	中学卒		
就労経験	就労経験なし		
無業期間(年)	7年	通算勤務年数(年)	0年
具体的な職歴 就労経験(備考)	なし		

困っていたこと	学生時代、人間関係がうまくいかず、中学卒業後からひきこもりの状況。一歩踏み出したいが、どうしたらいいか分からない
課 題	・生活習慣を整える ・対人スキルを身につける
支援内容・詳細	・通所により規則正しい生活を身に着ける ・対人不安を解消する為、会話しやすい環境を提供 ・得意な事と苦手な事を把握し、適性判断を行う ・面談を通して環境変化によるストレスを緩和
事業所での活動に期待していること	・自信をつけたい ・生活習慣を整えたい ・対人スキルを身につけたい
支援状況 1カ月目 (2023年9月20日)	状況 ・週5日 10:00～15:00 ・訓練内容: 企業実習 一通り実習先は体験 ・健康状態: 問題なし 本人の発言 ・実習をし、簡単作業、繰り返すことは出来そうだと思う ・最初は休みたいと思ったが、慣れてきたから休みたいとは思わなくなった
支援状況 3カ月目 (2023年11月2日)	状況 ・週5日 10:00～15:00 ・訓練内容: 企業実習 ・健康状態: 問題なし 本人の発言 ・前より人との関わりに自信がついてきたので、兄の結婚式に参加しようと思っている 支援員の発言 ・家では母親と話をしないようで、スタッフから母親に報告をしている

利用終了
4カ月目
(2023年12月20日)

※12月に企業実習中のため面談は未実施

【就職】

- ・12月21日から発電機・モーターの製造企業にて就労
- ・パート職 週5日 7時間

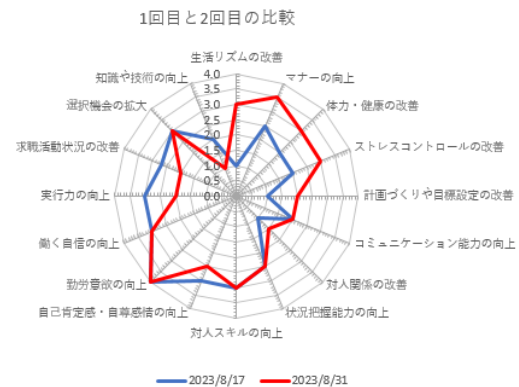
支援員の発言

- ・12月6日より2週間の予定で実習が決まった。見学に行った際、企業のパンフをじっくり眺めており、目力もあったため実習の話を進めた

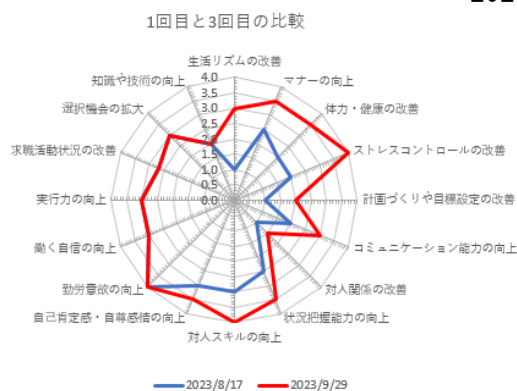
K P S ツールを活用した利用者自己評価結果 (GN-25)

- ・数値が大きいほど評価が高い
- ・青が初回アンケート結果
- ・赤が月末のアンケート結果

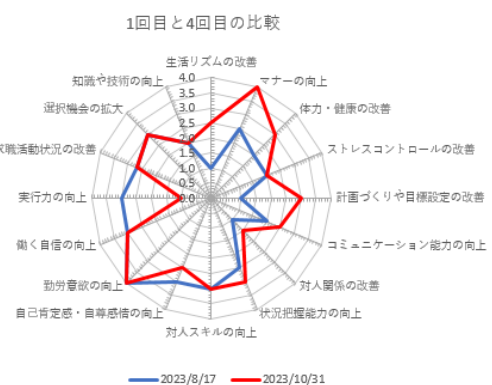
2023年8月末



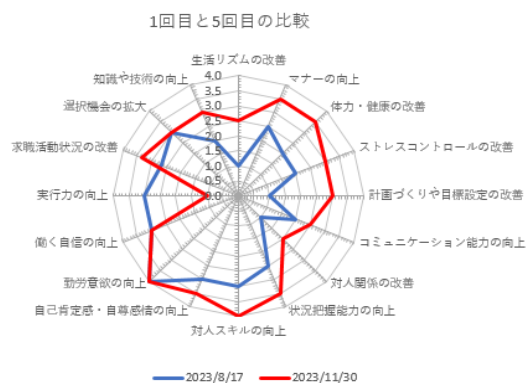
2023年9月末



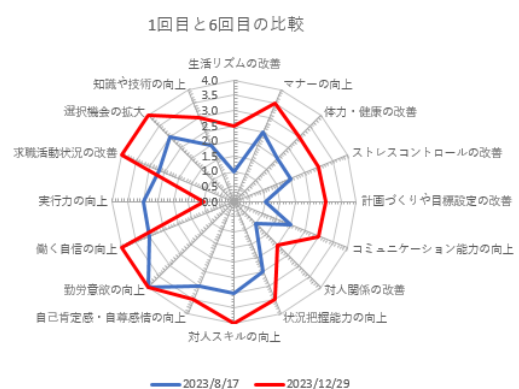
2023年10月末



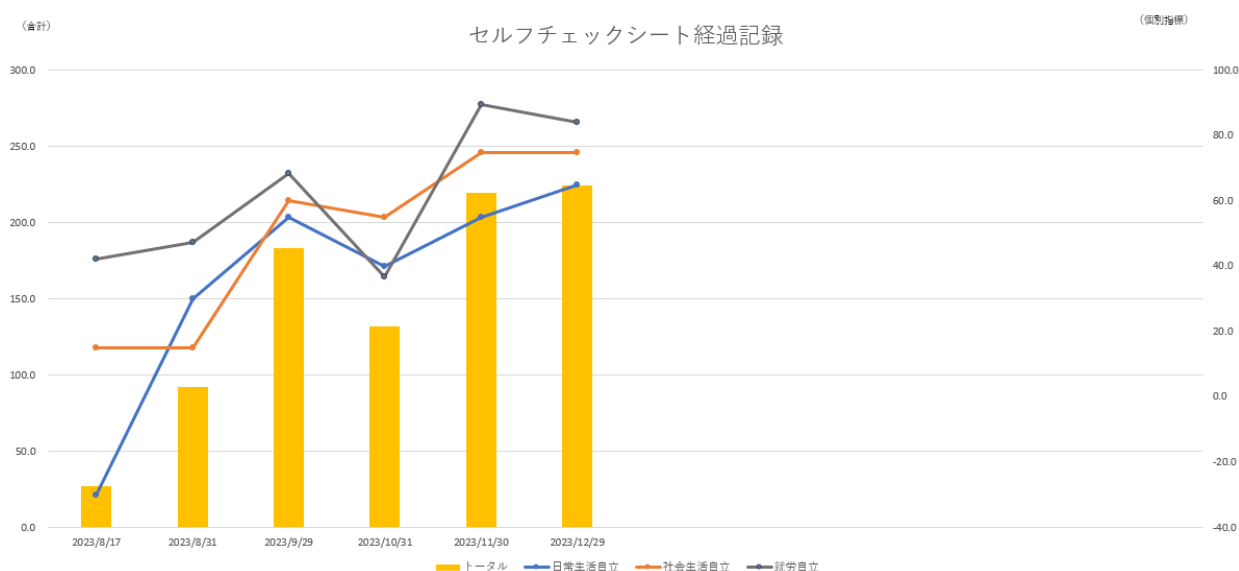
2023年11月末



2023年12月末



K P S ツールを活用した利用者自己評価結果 (TS-59)



Q O L を活用した生活水準の推移



事業アドバイザーのコメント

<R5年度>

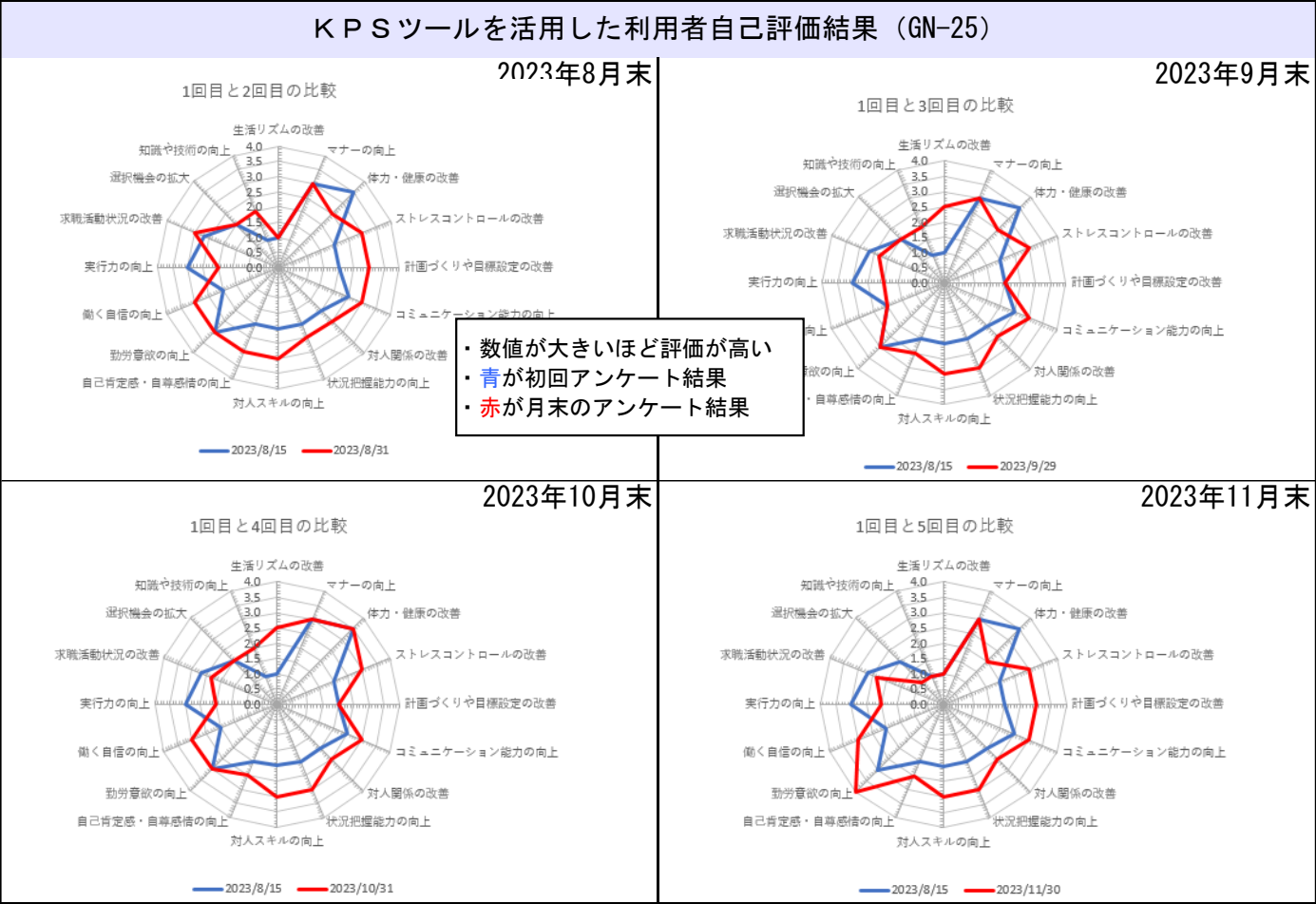
事業参加時と比べて、全体的にQ O Lの上昇が見られた。心理的領域と社会的領域の上昇が顕著であった。支援機関の関わりにより、自己評価が高まり、社会的な支えがあることを実感できるようになったと推察される。

事例 26

地 区	北九州地区	支援機関名	ウイング中間
性 別	男	年 齢	50代
紹介機関等	宗像・遠賀郡保健福祉環境事務所		
支援開始年月日	2023年8月15日～2024年1月5日 就職		
就労困難要因	生活困窮		
学 歴	中学卒		
就労経験	その他一般就労の経験あり（パート・アルバイトなど）		
無業期間(年)	2か月	通算勤務年数(年)	10年
具体的な職歴 就労経験(備考)	中学卒業後、県外で2年 メンカツ屋 惣菜屋		

困っていたこと	・体力がない ・社会経験が少なく、自分で何を探したらいいかわからない
課 題	・健康維持 ・生活リズムを整える ・目的を作り居場所を見つける
支援内容・詳細	・通所により規則正しい生活を身に着ける ・他者との関りの中で適切な距離感を習得する ・集団行動の中で得意な事や体調の変化を把握 ・面談を行い不安や悩みを一人で抱えないようにする
事業所での活動に期待していること	・いろんな実習を体験して自分に合う仕事を見つけたい ・自信をつけたい ・集中力をつけたい ・対人スキルを身につけたい
支援状況 1カ月目 (2023年9月20日)	状況 ・週5日 10:00～15:00 ・訓練内容：企業実習（AM）創作活動、座学（PM） ・健康状態：体力がない 本人の発言 ・人と関わるのがきつかった ・実習は、やったことないことばかりで新鮮味はある。テンパる癖があることが分かって良かった。今は克服できた ・短時間3～4時間で働きたい
支援状況 3カ月目 (2023年11月2日)	状況 ・週5日 10:00～15:00 ・訓練内容：企業実習（AM）創作活動、座学（PM） ・健康状態：変わりなし 本人の発言 ・初めは休憩時間が苦痛で外にいたが、今は室内で過ごせるようになった ・人と触れ合うのが大変だと思ったが、他の人を見て話せない人や輪に入れない人もいたり、他の人も大変だなと思う ・レクやスポーツは苦手なので辛いですが、それ以外は精神的には楽になった 支援員の発言 ・土曜のレクリエーション時の通所は休んでも構わないが、折り紙やゲーム等、結構楽しそうにやっている

支援状況 4カ月目 (2023年12月19日)	状況 ・週5日 10:00～15:00 ・訓練内容：土曜のレクは月1回参加 ・健康状態：変わりなし 本人の発言 ・企業体験は行ってみないと分からないが、断ってもいいのか？ ・就職は100%良いところはないので、しんどいところがいいと思っている 支援員の発言 ・ハローワークの求人で、病院の給食・配膳があり、盛り付けや皿洗いで週3日4時間であれば大丈夫ではないかと思い、本人に話をした
終了面談 5カ月目 (2024年1月4日)	【就職】 ・2024年1月6日から病院給食の企業にて就労 ・パート職 週4日 3時間 本人の発言 (就職を決めた理由) ・業務内容は普通だったが人がよかったので、不安が消えた (訓練の感想) ・7割、8割プラスになって、マイナスはなかった ・自分がどこまでできるかが分かった ・自分と違う考えが取り入れられるようになった ・教えてくれる人がいたこと。やっぱり人と話をした方がいいなと思った

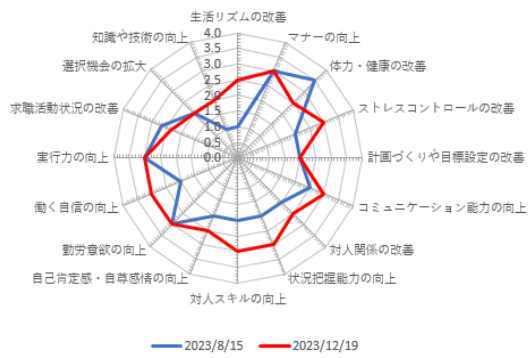


K P S ツールを活用した利用者自己評価結果 (GN-25)

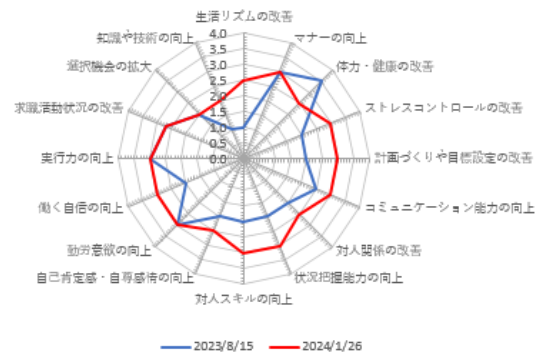
2023年12月末

2024年1月末

1回目と6回目の比較

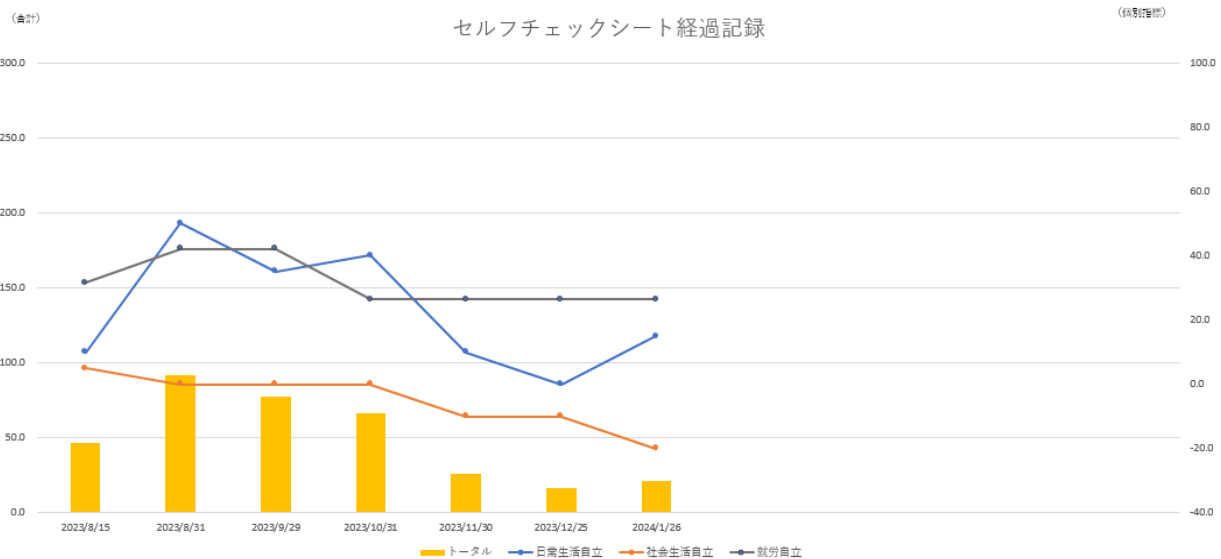


1回目と7回目の比較



K P S ツールを活用した利用者自己評価結果 (TS-59)

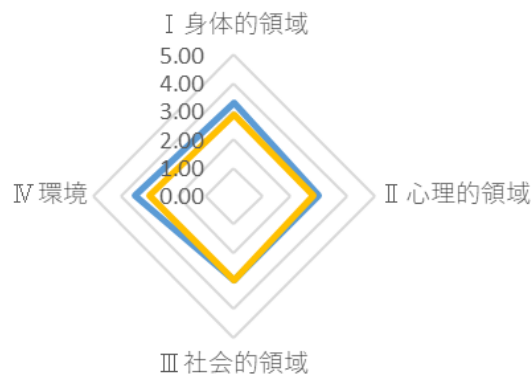
セルフチェックシート経過記録



Q O L を活用した生活水準の推移

D032

インテーク 4年度末 5年度末 終了時



事業アドバイザーのコメント

<R5年度>

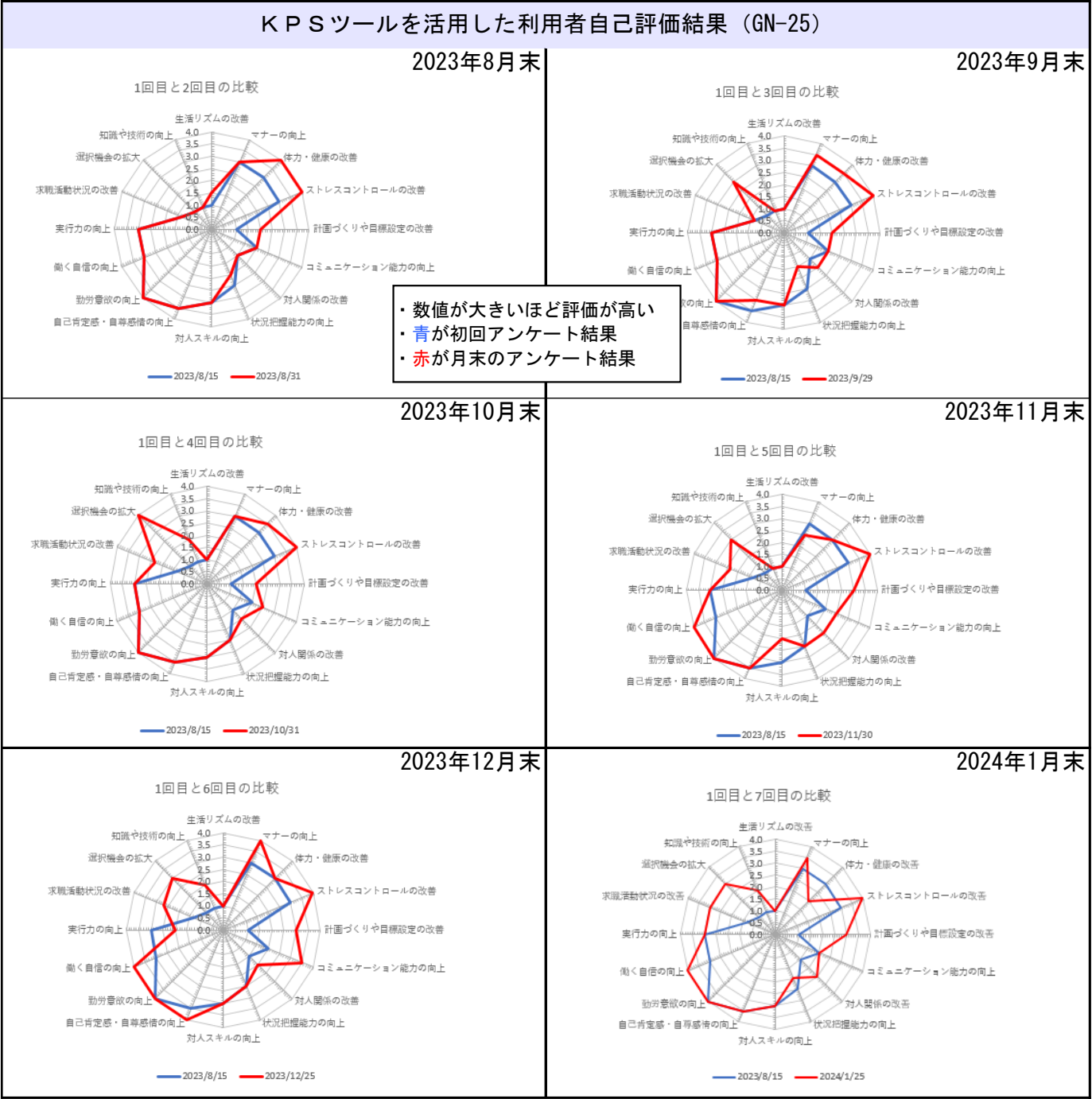
Q O L 評価について、事業参加時と概ね変わらないが、身体領域と環境領域での若干の低下が見られた。低下の要因について支援状況報告等を見ても明らかではない。

事例 27

地 区	北九州地区	支援機関名	ウイング中間
性 別	男	年 齢	20代
紹介機関等	福岡県自立相談支援事務所「困りごと相談室」		
支援開始年月日	2023/08/15～2024/3/27 就職		
就労困難要因	ニート・フリーター		
学 歴	中学卒		
就労経験	正社員経験あり 一般就労の経験あり（パート・アルバイトなど）		
無業期間(年)	1年	通算勤務年数(年)	3年
具体的な職歴 就労経験(備考)	スーパーのレジ3年 紙工工場1ヶ月		

困っていたこと	・ 人が触ったものが触れない、体に触られるのが苦手等の症状があり、日常生活や仕事に影響が出ている ・ 働きたいが、どうやって働いていいかわからない。自分1人の力で探すことに限界を感じている
課 題	・ 健康、体調の維持 ・ 他者との関わり ・ 職種選別
支援内容・詳細	・ 体調の把握、健康維持のサポート ・ 対人に慣れるよう会話や交流しやすい環境を提供 ・ 実習を通して体力向上を図る ・ 面談を通して環境変化によるストレスを緩和
事業所での活動に期待していること	・ 自信をつけたい ・ 働く勘を取り戻したい ・ 職場（企業）実習をしたい ・ 職業訓練プログラムを受けたい
支援状況 1カ月目 (2023年9月19日)	状況 ・ 週5日 10:00～15:00 ・ 訓練内容：事業所内での内職作業（カステラの紙折り、プリンの蓋のシール貼り） ・ 健康状態：体力的ではなく気づかれし、きつい 本人の発言 ・ きつくて合わないので辞めようかと思っている ・ 人が多いのがきつい。実習は少人数だが、座学は人が多い ・ 事業所の問題ではなく、個人の問題で悩んでいる 支援員の発言 ・ 集団の中に居ることができず、いま個室対応をしている ・ 強迫症状は治ったと言われるが、我慢して作業していると思われる ・ 日常生活で支障をきたし祖母が病院の必要性を感じてはいるが、医療機関へ促せていない
支援状況 3カ月目 (2023年11月2日)	状況 ・ 週5日 10:00～15:00 変わりなし ・ 訓練内容：求人検索 企業実習なし ・ 健康状態：睡眠、食事等、生活リズムが不安定 本人の発言 ・ 相談して実習がなくなり、ストレスの元がなくなった ・ 就職は家から公共交通機関で通勤できる範囲で、工場がいい ・ 仕事が見つかるかなという不安はある 支援員の発言 ・ 食事は食べたり食べなかったりで本人にどんな基準があるのか分からない

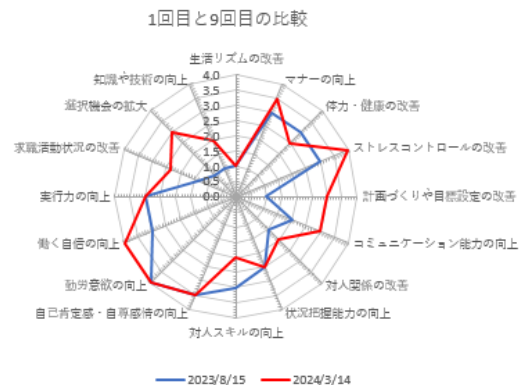
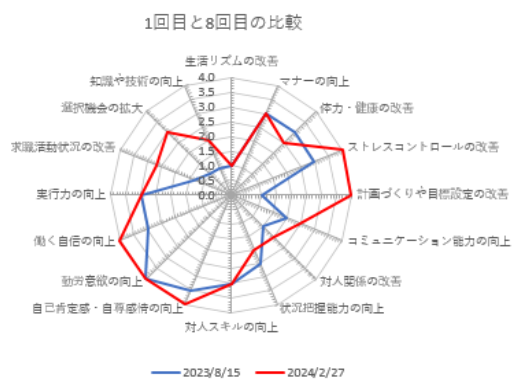
支援状況 4カ月目 (2023年12月19日)	※体調不良により面談できず、支援員からの情報 ・ハローワークの一般求人で、少人数の配管設置の会社を受けてみたいとの申し出があり応募したが、体調不良になり見送りになった
終了面談 7カ月目 (2024年3月27日)	※電話にて聞取り 【就職】 ・4月1日から食品の製造加工、惣菜工場の企業にて就労 ・4月～5月末まで週2日のパート契約、6月1日よりフルタイムでの雇用契約予定 本人の発言 ・（就職活動を）1人でするよりとても楽だった ・いざという時に声をかけてもらえることで気持ちが楽だった



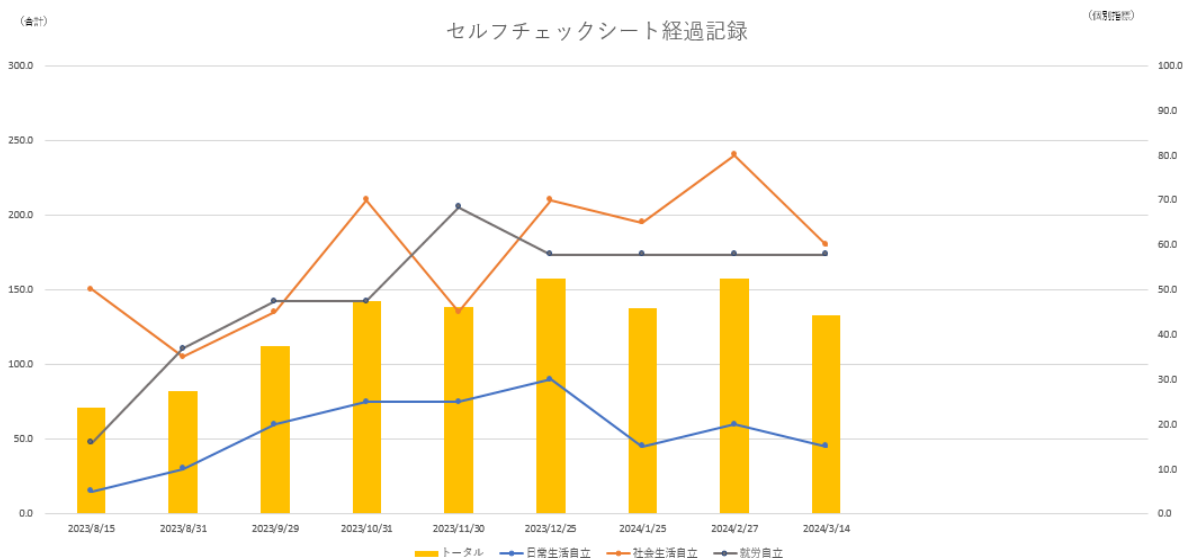
K P S ツールを活用した利用者自己評価結果（GN-25）

2024年2月末

2024年3月末



K P S ツールを活用した利用者自己評価結果（TS-59）



Q O L を活用した生活水準の推移



事業アドバイザーのコメント

<R5年度>

Q O I 評価について、事業開始時とほぼ同じ水準で推移していた。症状のコントロールについて、医療機関との連携が必要であると思われる。

事例 28

地 区	福岡地区	支援機関名	ハートフルACE
性 別	女	年 齢	30代
紹介機関等	WDホームページ		
支援開始年月日	2023/8/22日～2024年1月10日 障害福祉サービスへ移行		
就労困難要因	難病その他の病気、障がい者		
学 歴	短大・高専・専門学校卒		
就労経験	正社員経験あり		
無業期間(年)	0年	通算勤務年数(年)	15年
具体的な職歴 就労経験(備考)	高齢者介護（デイサービス、訪問介護）通算15年 線維筋痛による体調変化に友成、事業所を転々としている 週4日（3～6時間）の働き方		

困っていたこと	診断名：線維筋痛症、自律神経失調症 ・6年前より線維筋痛症による痛みがあり、介護の仕事がきつくなった ・難病指定ではないため、痛みの辛さが判りづらい ・長時間労働ができない
課 題	痛みがあっても働ける仕事を見つけない
支援内容・詳細	・ビジネスマナー、Excel講座受講、タイピング練習 ・医療機関と連携し専門職員による健康管理 ・週1回の振り返り面談
事業所での活動に期待していること	・職場（企業）実習をしたい ・職業訓練プログラムを受けたい
支援状況 1カ月目 (2023年9月19日)	状況 ・週3日（火水金）10：00～15：00 日によって短時間 ・訓練内容：Excel、Word、ビジネスマナー ・健康状態：痛みで眠れない日が多い 痛みが増している 本人の発言 ・クリニックを紹介してもらい、安心できた ・痛みが強いので、自分に合った仕事が見つかるか不安 ・金銭面での不安がある
支援状況 3カ月目 (2023年11月23日)	状況 ・週3日（火水金）10：00～15：00 ・訓練内容：Excel、Word、ビジネスマナー、就職活動準備 ・健康状態：痛みの状態は変わりなく、痛みで睡眠がとれない日がある。体調に大きな変化は無い 本人の発言 ・通所や学習は良い刺激になっている ・応募書類はほぼ完成。面接練習も行っており、就職に向けた準備は十分にしている 支援員の発言 ・周りの事によく目が届き、色々なことに気が付き、周りを見て積極的に動ける

支援状況
4カ月目
(2023年12月20日)

状況
・週3日（火水金）10：00～15：00
・訓練内容：11月25日合同就職相談会に参加

本人の発言
・手帳取得と就職に動いているので不安はない

支援員の発言
・トイレ掃除などを率先して行うなど、周りが良く見えていて気が利くので助かっている

終了面談
5カ月目
(2024年1月10日)

うつ病の診断で障がい者手帳取得し、福祉サービスへ移行。同事業所にて支援を受け、就職活動を実施

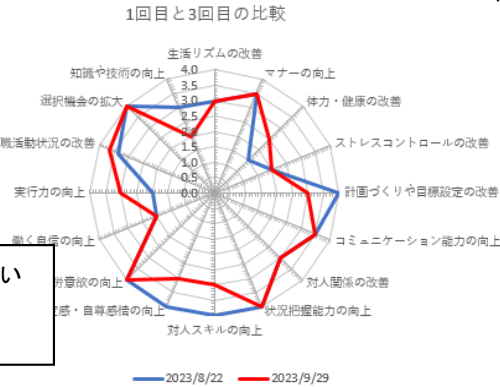
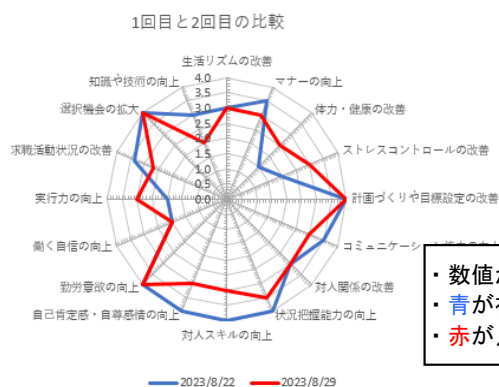
状況
・訓練内容：事務系、軽作業
・健康状態：変化なし（背中や首に痛み在り）

本人の発言
・実践になることばかりで勉強になった
・体調不良時の管理方法やビジネスマナーを学べてよかった
・面接訓練で自分の病気の伝え方を学べた

K P S ツールを活用した利用者自己評価結果（GN-25）

2023年8月末

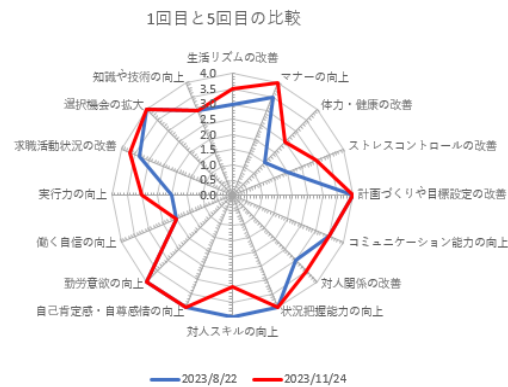
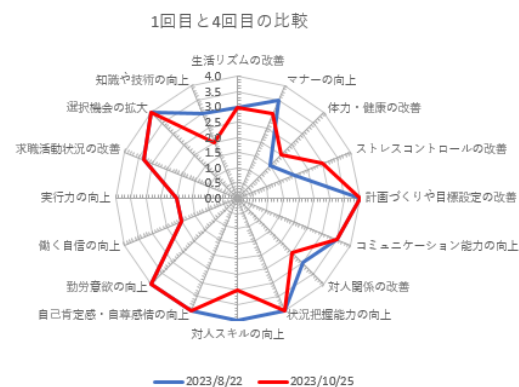
2023年9月末



・数値が大きいほど評価が高い
・青が初回アンケート結果
・赤が月末のアンケート結果

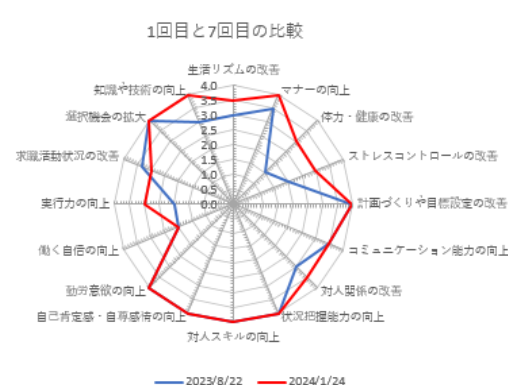
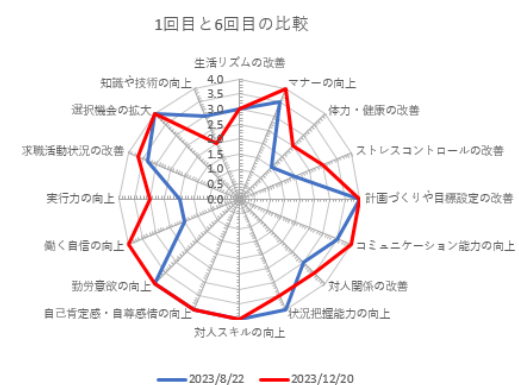
2023年10月末

2023年11月末

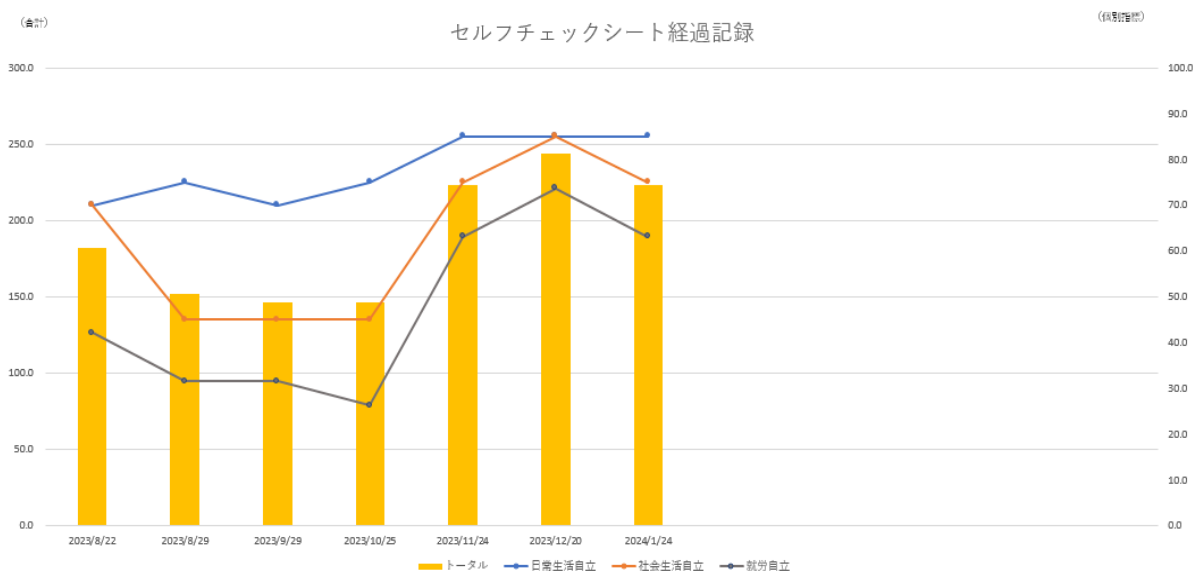


2023年12月末

2024年1月末



K P S ツールを活用した利用者自己評価結果 (TS-59)



Q O L を活用した生活水準の推移



事業アドバイザーのコメント

<R5年度>

Q O L 評価について、身体的領域の低さが目立つが、症状による影響だと思われる。他の領域の Q O L を高めつつ、症状を抱えながらいかに働くかについて検討していく必要がある。

事例 29

地 区	福岡地区	支援機関名	ウイング粕屋
性 別	男	年 齢	50代
紹介機関等	粕屋保健福祉事務所		
支援開始年月日	2023/09/01～2024/03/02 障害福祉サービスへ移行		
就労困難要因	難病その他の病気、障がい者 生活困窮		
学 歴	高校卒		
就労経験	正社員経験あり		
無業期間(年)	26年	通算勤務年数(年)	8年
具体的な職歴 就労経験(備考)	高校卒業後、工作機械の組立の仕事（名古屋） 食料油の会社（福岡） トータルで約8年		

困っていたこと	・就職後1年で発症し、20歳まえにクローン病の診断を受け、その後入退院を繰り返す。腹痛、下痢、発熱等の症状があり長時間の仕事ができない ・難病ではあるが障害者手帳は取得できず ・父親が亡くなり、生活保護受給
課 題	・体調管理をしながら社会との接点をもつ ・どのくらい働けるかを知る
支援内容・詳細	・体調管理をしながら生活リズムを社会にできるリズムに変える ・活動を通して人と関り、環境や人に適用する力をつける ・企業見学や体験を通して、できそうなこと・得意なこと・興味があることを見つけていく
事業所での活動に期待していること	・働く勘を取り戻したい ・訓練実施プログラムを受けたい
支援状況 1カ月目 (2023年10月18日)	状況 ・9月は週4日、10月より週5日 10:00～15:00 ・訓練内容：施設内での内職3～4日 施設外実習1～2日（こんにやく工場、資材整理） 施設外は疲れるのでまだ少なめ ・健康状態：暑かったときはきつかったが、体調は問題ない 本人の発言 ・変わったことは、体を動かすようになった ・大体の作業はなんでもできる ・常に周囲にいろんな人がいて気疲れする 支援員からの発言 ・協調性があり、年代問わず誰とでも接することができる ・周囲に気を遣いすぎたり、無理をすることがある
支援状況 2カ月目 (2023年11月14日)	状況 ・週5日 10:00～15:00 変わりなし ・訓練内容：施設外実習 変わりなし、土曜の外出レクは30分以内のところには参加 ・健康状態：寒くなって少し体調が落ちたが、一番寒くなる1月2月が不安 本人の発言 ・大体のことはできると思う ・就職条件の一番は通勤しやすいところ。あとは体力と求人のタイミング

支援状況 3カ月目 (2023年12月21日)	状況 ・ 日数：変わりなし ・ 訓練内容：変わりなし ・ 健康状態：気温差が激しかったが、いまのところ変わらない 本人の発言 ・ 4カ月経ち、通所することが日常になった ・ 今後WD事業がどうなるのか不安 支援員の発言 ・ 実習先でもしっかりとされて、作業効率を考えて動く ・ 協調性も高く、長いブランクがある方とは思えない
支援状況 5カ月目 (2024年2月20日)	状況 ・ 日数：変更なし ・ 訓練内容：変更なし ・ 健康状態：寝込むまではない。身体的な落ち込みはないが、お腹の具合はよくない 本人の発言 ・ (訓練に来て) 人と話すので、前向きになったなと思う 支援員の発言 ・ 役場に確認し、難病の証明書で障がい福祉サービスの受給者証がとれるとのことだったので、2月末と一緒に手続きに行く予定
利用終了 6カ月目 (2024年3月2日)	3月1日、支援員から連絡 須恵町役場に確認したところ、難病の証明書で障がい福祉サービスの受給者証が取得できたため3月2日をもってWDを終了し、3月5日より福祉サービスに移行。同事業所利用

K P S ツールを活用した利用者自己評価結果 (GN-25)

2023年9月末

1回目と2回目の比較

項目	2023/9/1	2023/9/28
生活リズムの改善	3.5	4.0
マナーの向上	3.0	3.5
体力・健康の改善	2.5	3.0
ストレスコントロールの改善	2.0	2.5
計画づくりや目標設定の改善	1.5	2.0
コミュニケーション能力の向上	1.0	1.5
対人関係の改善	0.5	1.0
状況把握能力の向上	0.0	0.5
対人スキルの向上	0.0	0.5
自己肯定感・自尊感情の向上	0.0	0.5
勤労意欲の向上	0.0	0.5
働く自信の向上	0.0	0.5
実行力の向上	0.0	0.5
求職活動状況の改善	0.0	0.5
選択機会の拡大	0.0	0.5
知識や技術の向上	0.0	0.5

2023年10月末

1回目と3回目の比較

項目	2023/9/1	2023/10/26
生活リズムの改善	3.5	4.0
マナーの向上	3.0	3.5
体力・健康の改善	2.5	3.0
ストレスコントロールの改善	2.0	2.5
計画づくりや目標設定の改善	1.5	2.0
コミュニケーション能力の向上	1.0	1.5
対人関係の改善	0.5	1.0
状況把握能力の向上	0.0	0.5
対人スキルの向上	0.0	0.5
自己肯定感・自尊感情の向上	0.0	0.5
勤労意欲の向上	0.0	0.5
働く自信の向上	0.0	0.5
実行力の向上	0.0	0.5
求職活動状況の改善	0.0	0.5
選択機会の拡大	0.0	0.5
知識や技術の向上	0.0	0.5

2023年11月末

1回目と4回目の比較

項目	2023/9/1	2023/11/29
生活リズムの改善	3.5	4.0
マナーの向上	3.0	3.5
体力・健康の改善	2.5	3.0
ストレスコントロールの改善	2.0	2.5
計画づくりや目標設定の改善	1.5	2.0
コミュニケーション能力の向上	1.0	1.5
対人関係の改善	0.5	1.0
状況把握能力の向上	0.0	0.5
対人スキルの向上	0.0	0.5
自己肯定感・自尊感情の向上	0.0	0.5
勤労意欲の向上	0.0	0.5
働く自信の向上	0.0	0.5
実行力の向上	0.0	0.5
求職活動状況の改善	0.0	0.5
選択機会の拡大	0.0	0.5
知識や技術の向上	0.0	0.5

2023年12月末

1回目と5回目の比較

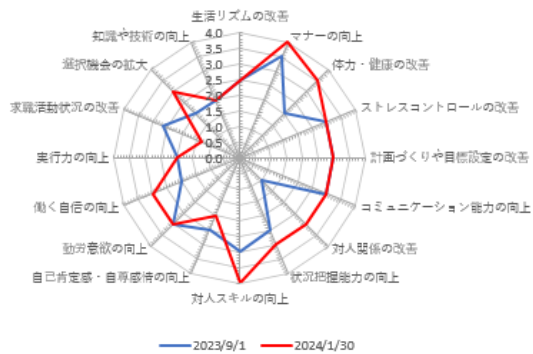
項目	2023/9/1	2023/12/28
生活リズムの改善	3.5	4.0
マナーの向上	3.0	3.5
体力・健康の改善	2.5	3.0
ストレスコントロールの改善	2.0	2.5
計画づくりや目標設定の改善	1.5	2.0
コミュニケーション能力の向上	1.0	1.5
対人関係の改善	0.5	1.0
状況把握能力の向上	0.0	0.5
対人スキルの向上	0.0	0.5
自己肯定感・自尊感情の向上	0.0	0.5
勤労意欲の向上	0.0	0.5
働く自信の向上	0.0	0.5
実行力の向上	0.0	0.5
求職活動状況の改善	0.0	0.5
選択機会の拡大	0.0	0.5
知識や技術の向上	0.0	0.5

K P S ツールを活用した利用者自己評価結果（GN-25）

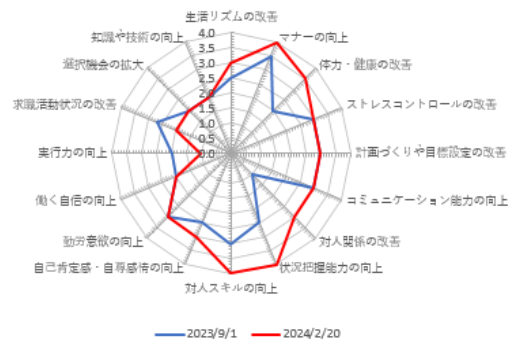
2024年1月末

2024年2月末

1回目と6回目の比較

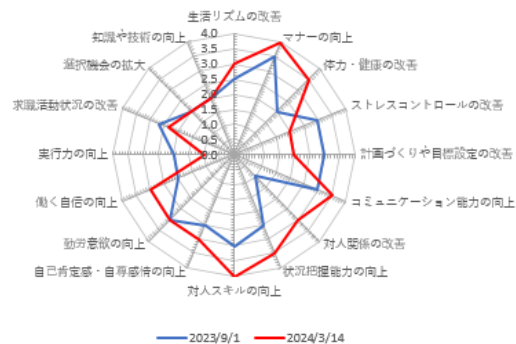


1回目と7回目の比較



2024年3月末

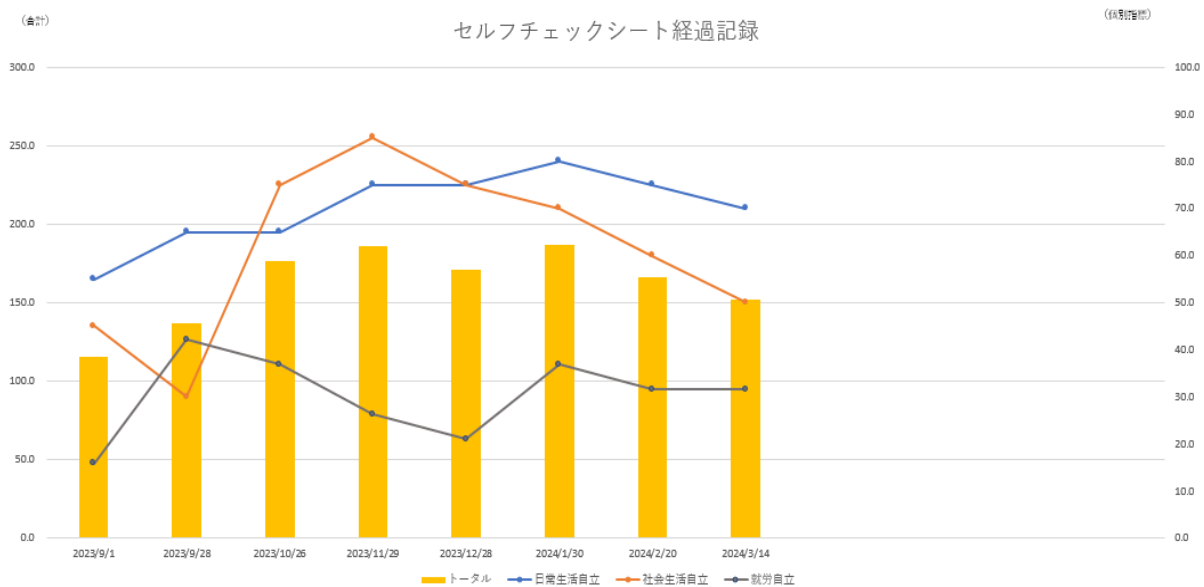
1回目と8回目の比較



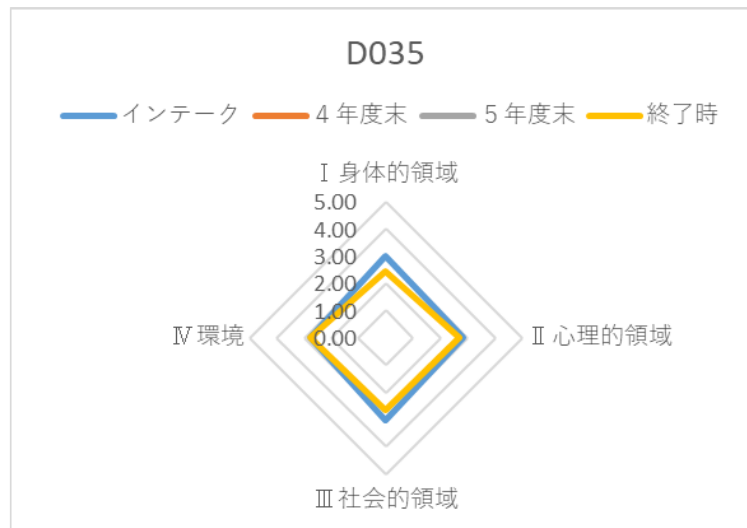
- ・数値が大きいほど評価が高い
- ・青が初回アンケート結果
- ・赤が月末のアンケート結果

K P S ツールを活用した利用者自己評価結果（TS-59）

セルフチェックシート経過記録



QOLを活用した生活水準の推移



事業アドバイザーのコメント

<R5年度>

QOL評価について、事業参加時と比べて社会的領域の低下が認められる。難病は見えづらい障害の一つであり、また、同様の症状に苦しむ人とのつながりも形成しづらい。就労に関する支援の継続に加えて、難病支援センターとの連携を通じて、症状を抱えつつ就労しているロールモデルについて知る機会を設けると良いと考える。

事例30

地 区	北九州地区	支援機関名	インクルとばた
性 別	女	年 齢	40代
紹介機関等	福岡県LINE		
支援開始年月日	2023/09/06～2024/9/20 就職		
就労困難要因	その他の困難要因		
学 歴	大卒以上		
就労経験	正社員経験あり		
無業期間(年)	15年	通算勤務年数(年)	13年
具体的な職歴 就労経験(備考)	市役所の臨時職員、医科大の研究室実験補助		

困っていたこと	・ 人の名前や顔を覚えられない、忘れやすく話についていけない ・ 人間関係がうまくいかない
課 題	・ 自分にあった働き方を見つける ・ 対人スキルを身につける ・ 家事、子育てとの両立 ・ 家族の理解、協力
支援内容・詳細	・ 様々な作業や体験を通して自分の適性を知る ・ 訓練を通して自分に合った働き方、対人スキルを身につける
事業所での活動に期待していること	・ 自信をつけたい ・ 生活習慣を身につけたい ・ 対人スキルを身につけたい ・ 働く勘を取り戻したい ・ 職場（企業）実習をしたい ・ 職業訓練プログラムを受けたい
支援状況 1カ月目 (2023年10月4日)	状況 ・ 週3日 9:30～12:00 ・ 訓練内容：事務系、ピッキング ・ 健康状態：子どものことで睡眠が十分にとれていない 本人の発言 ・ 何とかやれる、やりこなせている感じ ・ 単純作業で短時間であれば出来るんじゃないかなと思う
支援状況 2カ月目 (2023年11月15日)	状況 ・ 通所日数：変更なし ・ 健康状態：睡眠は子どものことを考えて十分にとれてない 本人の発言 ・ 作業のレベルが上がるとミスが増え、自分がどこまでやれるんだろうと思ってやっている ・ これまで周囲が決めてきた仕事や何となく就いた仕事をしてきたので、今度は自分がやりたいと思うことで決めていきたい 支援員の発言 ・ 話しやすいスタッフに仕事以外のことも色々相談している

支援状況 4カ月目 (2024年1月17日)	状況 ・日数：変更なし、週3日（月・水・金）AM、生活上の負担はない ・訓練内容：事務と郵便物の仕分けがメイン ・健康状態：変わりなし 本人の発言 ・ここに来るまで、どこまでできるのか不安だったが、苦手がことが分かってきた。電話やPC操作もできないので、事務で就職は難しいと思う ・自己肯定感が低かったが、WDで自分を受け入れてもらえて、自分を知るきっかけや自分を知る材料が増えた 支援員の発言 ・人と接するのはうまくなり、社会性は上がったと思うが、こだわりが強いところが顕著にみられる ・福祉就労があっていると思うが、本人は受容できてもご主人や両親が理解されるか分からない
支援状況 7カ月目 (2024年4月24日)	状況 ・週日：変更なし、週3日（月・水・金）AM ・健康状態：2月ご主人の車に同乗中交通事故にあい、一時的に精神的に不安定になったが、落ち着いてきている 本人の発言 ・知り合いから教えてもらった市の臨時職員の登録を検討。並行してWDで仕事を探したい
支援状況 8カ月目 (2024年5月24日)	状況 ・週日：変更なし 週3日（月・水・金）午前中 ・健康状態：交通事故の影響はなく、睡眠、食欲良好 本人の発言 ・規則正しい生活ができている ・ハローワーク検索で、清掃やスーパーの惣菜の仕事が気になるが、人より仕事が遅いこととわかっているの、それを周りの人が受け止めてくれるのか心配で動けていない。 支援員の発言 ・結婚後ブランクがあるため、まずはハローワーク登録から進めている
支援状況 9カ月目 (2024年7月3日)	状況 ・週日 変更なし 週3日（月・水・金）午前中 ・訓練内容：6月にクリーニング会社見学後実習。自ら希望し5日の実習予定であったが2日で終了 本人の発言 ・実習に行き、改めてスピードを求められることが苦手、人間関係で左右されることが分かった ・子育てしている人向けの求人があると思うので、マザーズハローワークに行こうと思っている 支援員の発言 ・実習キャンセル後も休まず通所され、体力はついてきている
終了面談 11カ月目 (2024年9月18日)	【就職】 ・9月25日から清掃会社（市の委託事業の清掃業務）にて就労 ・パート職 週3日 月・水：9時～13時 金：9時～11時 ・利用者がハローワークの求人検索で見つけ応募 本人の発言（訓練の感想） ・自信がついた。仕事は遅いが出来ないことはないことが分かった ・受け入れてもらったこと、このままで大丈夫なんだと感じた ・WD実施期間中に就職が決まらなくても、多分仕事を見つけていくだろうなという希望がもてた ・就職できなくても、自分を知ることにつながると思った

K P S ツールを活用した利用者自己評価結果 (GN-25)

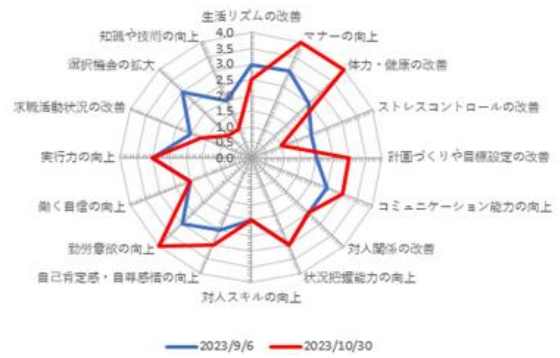
2023年9月末

2023年10月末

1回目と2回目の比較



1回目と3回目の比較



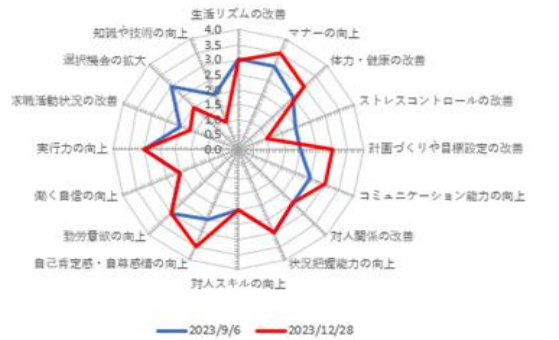
2023年11月末

2023年12月末

1回目と4回目の比較



1回目と5回目の比較



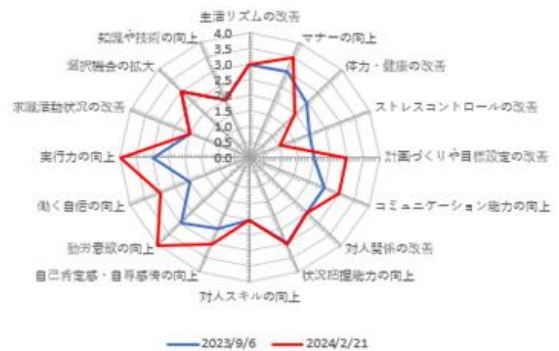
2024年1月末

2024年2月末

1回目と6回目の比較



1回目と7回目の比較



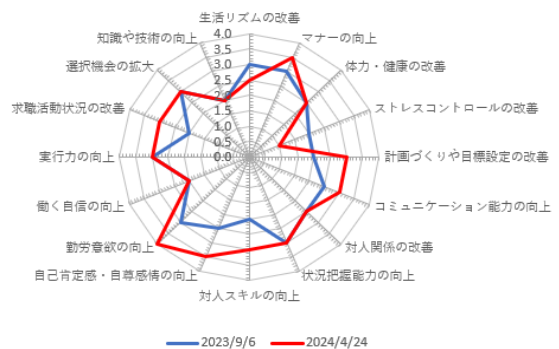
2024年3月末

2024年4月末

1回目と8回目の比較



1回目と9回目の比較

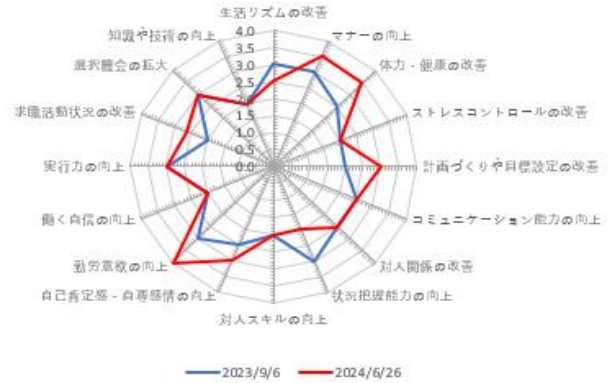
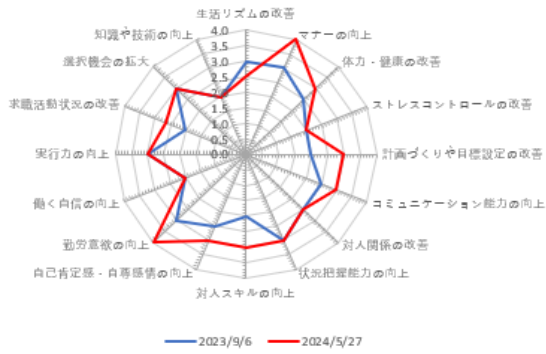


K P S ツールを活用した利用者自己評価結果 (GN-25)

2024年5月末

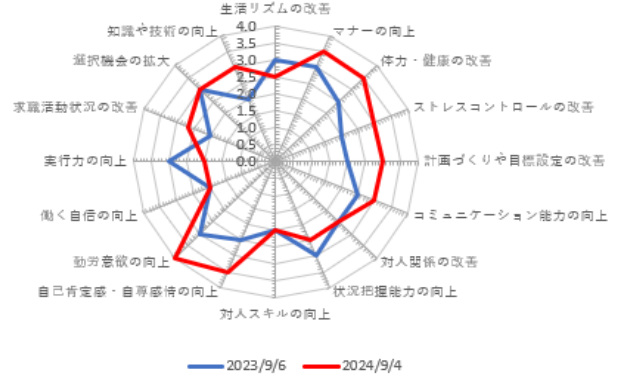
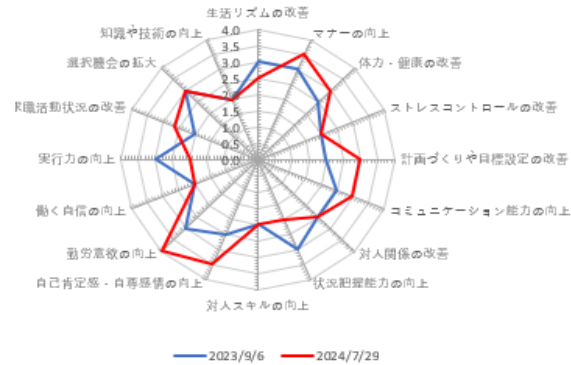
2024年6月末

1回目と10回目の比較

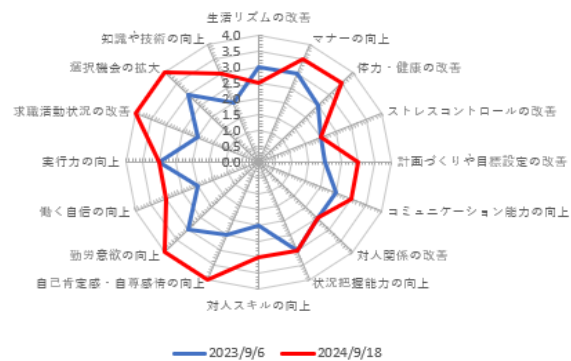


2024年7月末

2024年8月末

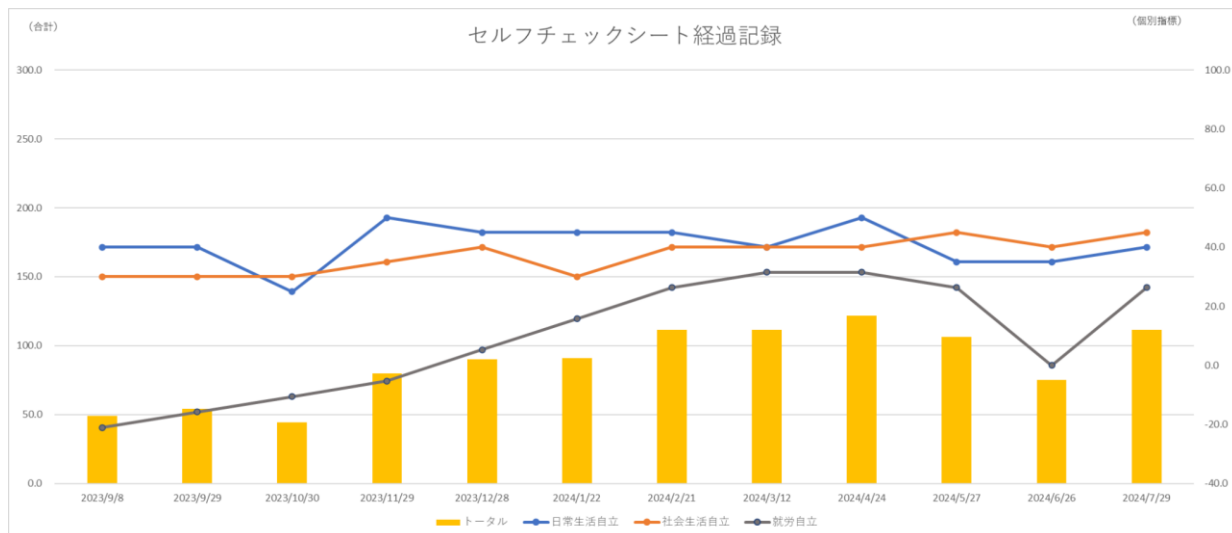


2024年9月末

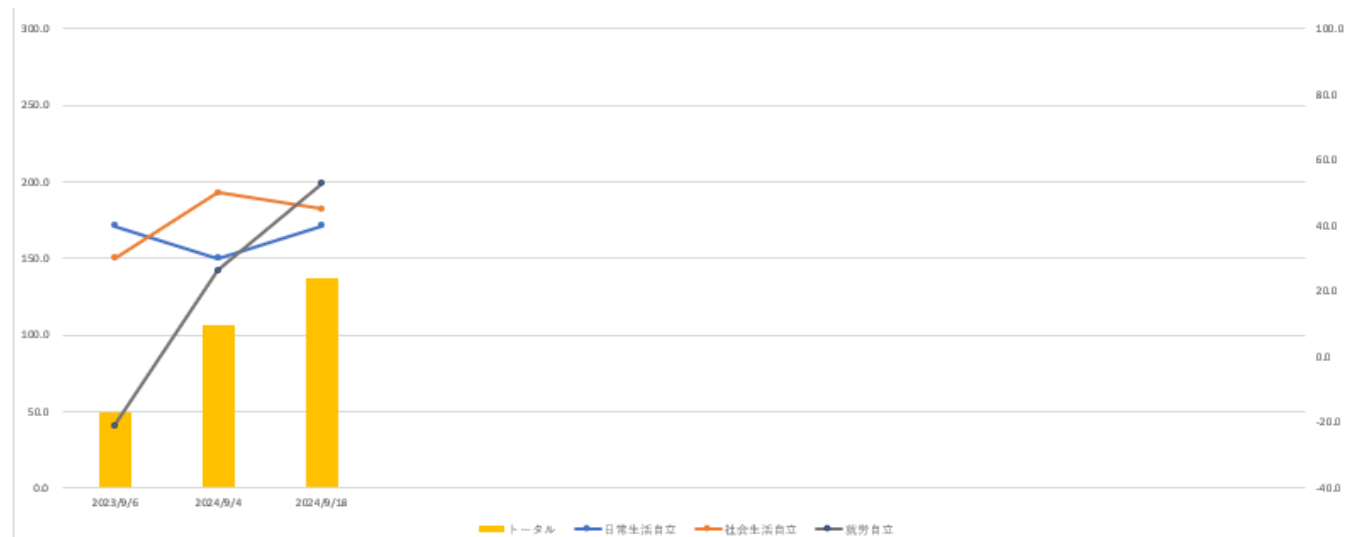


- ・ 数値が大きいほど評価が高い
- ・ 青が初回アンケート結果
- ・ 赤が月末のアンケート結果

K P S ツールを活用した利用者自己評価結果 (TS-59)



K P S ツールを活用した利用者自己評価結果 (TS-59)



Q O L を活用した生活水準の推移



事業アドバイザーのコメント

<R5年度>

Q O L 評価について、事業参加時と比べて全体的な上昇が認められ、特に社会的領域や環境において顕著である。
支援状況より、自己理解の深まりが窺える。

<R6年度>

前年度よりも全面的にQOLが向上した。本人の発言にもあるように、実際に働く中で自信を回復できた事が要因として大きいと考える。